

2013 年度 藁谷郁美研究会

政治演説における ノンバーバルコミュニケーション の日米比較

環境情報学部 4 年
71042335/t10233ak
葛 綾乃

2014/01/20

目次

1. 問題提起・仮説	3
2. 先行研究・研究の位置づけ	3
3. 研究手法・対象	4
4. 比較分析結果	4
4-1 演説の背景	4
4-1-1 オバマ大統領の演説	4
4-1-2 野田元首相の演説	4
4-2 演説の内容	5
4-2-1 オバマ大統領の演説	5
4-2-2 野田元首相の演説	5
4-2 ジェスチャー比較	6
4-2-1 オバマ大統領	6
4-2-2 野田元首相	39
4-3 声調比較	42
4-3-1 オバマ大統領	42
4-3-2 野田元首相	65
4-4 服装分析	92
4-4-1 オバマ大統領	93
4-4-2 野田元首相	99
5. 考察	114
5-1 ジェスチャーに関する考察	114
5-2 声調に関する考察	117
5-2-1 速度	117
5-2-2 強弱	119
5-2-3 沈黙	121

5-3 服装に関する考察	122
6. インタビュー調査結果.....	122
6-1 インタビューの概要.....	122
6-1-1 調査の目的	122
6-1-2 調査対象・方法	123
6-2 ジェスチャーに関する結果・考察	123
6-3 声調に関する結果・考察.....	125
6-4 インタビューに関するまとめ.....	127
7. 今後の展望	127
8. 参考文献.....	127
9. 参考 Web サイト.....	128
付録.....	128
図・グラフリスト	128
アンケート調査票	136

1. 問題提起・仮説

本研究のテーマは政治演説におけるノンバーバルコミュニケーションの日米比較である。われわれ人間は「生活の約75%は何らかのコミュニケーション（話す、聴く、読む、書くなど）で費やす」¹とされている。そのコミュニケーションの中で、本研究では話す際に付随しているノンバーバルコミュニケーションに焦点を当てている。ノンバーバルコミュニケーションとは主にことば以外の形式で表現され、有意な効果を持つ行為や人工的な手がかりと定義される。また、ノンバーバルコミュニケーションはバーバルな部分とも密接に絡まり合っているものとも言われている。² そのようなノンバーバルコミュニケーションにはジェスチャー・声調（高さ・速さ・抑揚）・身体的外観などの多くの種類がある。

このように定義され、種類分けもされているノンバーバルコミュニケーションは言語的・文化的・歴史的背景により使われるコミュニケーションの種類は異なり、受容者がそのコミュニケーションから受ける印象もその受容者の持つバックグラウンド（言語的・文化的・歴史的背景など）により違うのではないだろうか。例えば、欧米ではノンバーバルコミュニケーションの一種であるジェスチャーが話す際に多く使用されているという印象がある。欧米人はそのコミュニケーション方法に慣れており、それから多くの情報を得られるかもしれない。しかし、日本ではジェスチャーはあまり使われないために、ジェスチャーを多く使われると違和感を抱くことが少なくないだろう。だからと言って、日本ではノンバーバルコミュニケーションが使われていないということではない。その時々により、ノンバーバルコミュニケーションは多種多様に使われているのである。

以上のことを研究するため、本研究では政治演説を使い比較・分析を行う。政治家が自らの政策や思想を直接国民に伝達できる場面は限られている。ほとんどはマスメディアによって報道され国民に知らされる。そしてそれに加えて、政治家が発言したこと全てが報道されるわけではなく、マスメディアが自由に取捨選択したのちに報道することがほとんどである。その点で目の前に聴衆がいて、たいいていの場合全てが公開される政治演説は政治家のすべての思いが表現できる限られた場である。そのため、演説内容やことばだけでなく、ノンバーバルコミュニケーションも最大限に使い演説を行っていると考えられる。政治演説のその点に着目し、前述したノンバーバルコミュニケーションに関して、ジェスチャー・声調（速さ・強弱・沈黙）・服装と項目を設定し、比較・分析を行う。

2. 先行研究・研究の位置づけ

ノンバーバルコミュニケーションに関する研究や書籍は様々に発行されている。しかし、政治演説に特化して研究されているものは少ない。そしてその研究・書籍の全てが、演説やスピーチではこのようなジェスチャーを使うと良いというような指南書やハウツー本で

¹ J・B・ベンジャミン(1990)

² J・B・ベンジャミン(1990)

ある。また、政治家の演説における研究もなされている。けれど、それは演説内容やことばに関するものばかりで、政治演説におけるノンバーバルコミュニケーションに着目している研究はない。つまり、政治演説におけるノンバーバルコミュニケーションの比較分析を行っている研究は無いに等しい。

本研究では、今までになされなかった政治演説において使用されるノンバーバルコミュニケーションを比較分析する。そして、その人その人が持つ言語的・文化的・歴史的背景などの違いにより使用するノンバーバルコミュニケーションの種類に差が出るのかを考察する。

3. 研究手法・対象

言語的・文化的・歴史的背景の異なる政治的演説を対象に、それぞれのコンテンツをデータとして比較・分析する。その際、身振りについては動画データを、音声はテキストデータとして文字化したと、音声解析ソフトにより可視化した波形グラフを使用する。

比較対象はアメリカの2009年1月20日に行われたオバマ大統領就任演説(2,414words、約19分)と日本の2011年9月13日に行われた野田内閣総理大臣所信表明演説(9,844文字、約23分)とする。

また、この研究結果をもとに、実際に演説を見聞きした人はどのような印象を抱くのかをインタビュー調査する。

4. 比較分析結果

4-1 演説の背景

4-1-1 オバマ大統領の演説

オバマ氏は2008年11月4日に全米で行われたアメリカ合衆国大統領選挙にて歴史的な勝利を収めた。アメリカの建国以来232年の歴史の中で初めての黒人系大統領の誕生とあって、世界からも大きな注目を集めた。また、2008年にはリーマンショックが起これ、100年に一度と呼ばれるほどの金融危機に陥った。たくさんの失業者を出すなどしており、オバマ大統領の就任には大きな期待を持っていたと予測できる。そして勝利同日、シカゴにて約20万人の支持者を前にして勝利演説を行った。日本でも話題となった”Yes, we can.”というフレーズを巧みに用いたのはこの時である。今回比較の対象とするのはそのおよそ2か月後に行われた大統領就任演説である。2009年1月20日ワシントンD.C.にておよそ200万人の国民を前に行われた。

4-1-2 野田元首相の演説

野田氏は2011年8月29日に行われた民主党代表選挙において逆転勝利を収め、第9代民主党代表に就任した。この投票前にいわゆる「ドジョウ」演説が行われた。2011年は日本

にとって最悪な一年であり、前菅総理のリーダーシップの欠如に日本全体が政治不信に陥っている中で就任であった。どちらかと言うと新総理に期待が満ち溢れているというよりは、諦めムードさえ漂う雰囲気であった。そして、今回比較の対象とするのは就任後の9月13日の第百七十八回国会にて行われた内閣総理大臣所信表明演説である。実際に国民を前に行っているわけではないがテレビ中継が行われていた。

4-2 演説の内容

4-2-1 オバマ大統領の演説

1. 祖先の理想に忠実に、建国の文書に忠実に
2. いつか試練に打ち勝つことができる
3. 神からの約束を前進させる時が来た
4. アメリカ国民のために先人たちが成し遂げたこと
5. 経済、インフラ、医療、エネルギー問題への取組
6. 私たちが問うべきなのは、政府の大きさではなく政府が機能しているかどうか
7. 国防・安全保障への考え
8. 新たな脅威にはこれまで以上の努力と国家間の協力、理解が必要
9. 私たちが受け継いできた多様性は弱みではなく強みである
10. これからは私たち全員が奉仕の精神を持たなければならない
11. 私たちに必要とされているのは新しい時代の責任
12. 建国の父が残した言葉

4-2-2 野田元首相の演説

1. はじめに 東日本大震災の被害者・被災者へのお悔やみ
2. 東日本大震災からの復旧・復興
(復旧・復興の加速)
(原発事故の収束と福島再生に向けた取組)
3. 世界的経済危機への対応
(エネルギー政策の再構築)
(大胆な円高・空洞化対策の実施)
(経済成長と財政健全化の両立)
4. 希望と誇りある日本に向けて
(分厚い中間層の復活と社会保障改革)
(世界に雄飛し、国際社会と人類全体に貢献する志)
(政治・行政の信頼回復)
5. 新たな時代の呼びかけにこたえる外交・安全保障
(我が国を取り巻く世界情勢と安全保障環境の変化)

- (日米同盟の深化・発展)
- (近隣諸国との二国間関係の強化)
- (多極化する世界とのつながり)

4-2 ジェスチャー比較

本章では、本研究で設けたノンバーバルコミュニケーションの項目の一つ目のジェスチャーに関する比較を行っていく。動画をキャプチャした画像の下にその時のセリフ（和訳付）一文を付している。下線部がそのジェスチャーをした瞬間のセリフである。そしてそのさらに下の矢印（➤）が動作の説明である。全て時系列に載せている。

4-2-1 オバマ大統領

図 オバマ 1



Thank you.

- 正面から手のひらを観衆に見せる㊦

図 オバマ 2

図 オバマ 3



~~because 2We 3the People have remained faithful to the ideals of our forbearers, and true to our founding documents.

「我ら合衆国の人民」が先祖の理想に忠実で、建国の文書に誠実であったためだ。

- 2 胸の高さまで軽く握った拳をあげる㊦
- 3 胸の高さまで軽く握った拳をあげる㊦

図 オバマ 4



So it must be **with this generation** of Americans.

現世代の米国人もそうでなければならない。

➤ 胸の高さまで軽く握った拳をあげる㊦

図 オバマ 5



Homes have been lost; jobs shed; businesses shuttered.

家は失われ、仕事は奪われ、企業は破綻した。

➤ 手のひらを観衆に見せる㊦

図 オバマ 6



Our health care is too costly;

健康保険はコストがかかりすぎ

➤ 手のひらを観衆に見せる㊦

図 オバマ 7



and **each day** brings further evidence that the ways we use energy strengthen our adversaries and threaten our planet.

我々のエネルギーの消費の仕方は敵を強化し、地球を脅かしていることが、目を追うごとに鮮明になっている。

➤ 胸の高さまで少し強めの拳をあげる㊦

図 オバマ 8

図 オバマ 9



These are the 8indicators of crisis,9subject to data and statistics.

これらはデータや数字で表れる危機の指標だ。

- 8 両手を握り上下に拍子を取る
- 9 軽い拳を胸まで上げて手を崩す㊦

図 オバマ 10

図 オバマ 11



10Less measurable but no less profound is a sapping of confidence across our land - a 11nagging fear that America's decline is inevitable,

同様に甚大な問題でありながら、より把握しにくいのは、米全土で徐々に広まっている自信喪失だ。

- 10 軽い拳を胸まであげ上下動㊦
- 11 軽い拳を胸まであげる㊦

図 オバマ 12



Today I say to you that the challenges we face are real.

今日、我々が直面している試練は現実のものだ。

- 指差しを胸の高さで㊦

図 オバマ 13



They are **serious** and they are many.

それらは深刻で多岐にわたる。

- 手の平を胸の高さに上げ上下動㊦

図 オバマ 14



They will not be met **easily** or in a short span of time.

簡単に短期間で解決できるものではない。

- 拳を胸の高さまであげる㊦

図 オバマ 15

図 オバマ 16



15 **But know this, America** - they will 16 **be met.**

しかしアメリカよ、これらは必ず解決できる。

- 15 手の平を胸の高さまであげる㊦
- 16 手平を胸まであげ、指差し㊦

図 オバマ 17

図 オバマ 18



17 **On this day**, we gather because we have chosen hope over fear, 18 **ity of purpose** over conflict and discord.

今日この日、我々は恐れより希望を、争いや仲たがいがいより目的を共有することを選んだ結果、こうして集まった。

- 17 拳を胸の高さまであげる㊦
- 18 拳を胸の高さまであげる㊦

図 オバマ 19



On this day, we come to proclaim an end to the petty grievances and false promises, the recriminations and worn out dogmas, that for far too long have strangled our politics.

今日この日、我々の政治を長い間、窒息させてきたつまらない不平や間違った約束、非難合戦、使い古された教義などの終わりを宣言するために集まった。

- 手の平を胸の高さまであげる㊥

図 オバマ 20 図 オバマ 21



20 **We remain a young nation**, but in the words of Scripture, 21 **the time has come** to set aside childish things.

我々は若い国家であり続けるが、聖書の言葉を借りれば、子供じみたことはやめる時が来た。

- 20 小刻みに拳を上下に動かす㊥
- 21 手の平を胸の高さまであげる㊥

図 オバマ 22 図 オバマ 23



22 **The time has come** to reaffirm our enduring spirit; 23 **to choose our better history**;

不朽の精神を再確認し、歴史の良い部分を振り返り

- 22 小刻みに拳を上下に動かす㊥
- 23 小刻みに拳を上下に動かす㊥

図 オバマ 24

図 オバマ 25

図 オバマ 26



24to carry forward that 25precious gift, that noble idea, passed on 26from generation to generation:

代々受け継がれてきた貴重な贈り物、高貴な理念、神の約束を前進させる

- 手の平を上下左右に動かし、最後に軽い拳㊦
- 手の平を広げ上下動、軽い拳を握る㊦
- 手の平を90度に折り曲げた形で上下㊦

図 オバマ 27

図 オバマ 28

図 オバマ 29



27the God-given promise that 28all are equal, all are free, 29and all deserve a chance to pursue their full measure of happiness.

「すべての人が対等で、自由で、最大限の幸福を追求する機会を持つ」

- 27 両手を向かい合わせる
- 28 軽い拳を上下動㊦
- 29 指差し㊦

図 オバマ 30

図 オバマ 31



30In reaffirming the greatness of our nation, we understand that 31greatness is never a given.

我々はこの国の偉大さを再確認するとき、偉大さが決して当然のことではないと理解している。

- 30 軽い拳を上下動㊦
- 31 両手を向かい合わせる

図 オバマ 32



Our journey has never been one of **short-cuts** or settling for less.

我々の旅路は近道や妥協であったことはない。

- 軽い拳をあげる㊦

図 オバマ 33

図 オバマ 34

図 オバマ 35

図 オバマ 36



Rather, it has been the **33risk-takers**, the doers, the **34makers of things** - some celebrated but more often **35men**

and women obscure in their labor, who have carried us **36up the long**, rugged path towards prosperity and freedom.

むしろリスクをとり、行動し、物を作り出す人々が繁栄と自由への長いでこぼこ道を導いてきてくれたのだ。その中には高名な人もいるが、多くは無名の働く男女だ。

- ①軽い拳を上げる㊦
- ②両手を向かい合わせる
- ③胸の高さで指差し小刻みに上下動㊦
- ④手の平を広げる㊦

図 オバマ 37

図 オバマ 38



37For us, they packed up their **38few worldly possessions** and traveled across oceans in search of a new life.

彼らは私たちのためにわずかな所持品をかばんにしまい、海洋を旅し、新しい生活を探してくれた。

- 37 軽い拳を胸の下まで上げる㊦
- 38 手の平を90度に折り曲げる

図 オバマ 39

図 オバマ 40

図 オバマ 41

図 オバマ 42



39**For us**, they toiled in sweatshops and 40**settled the West**; endured the 41**lash of the whip** and 42**plowed the hard earth**.

彼らは私たちのために工場ですべて汗を流して働き、西部を開拓し、むち打ちに耐え、硬い大地を耕してくれた。

- 39 軽い拳を胸の高さで上下に動かす㊦
- 40 軽い拳を胸まで上げる㊦
- 41 軽い拳を胸まで上げる㊦
- 42 軽い拳を胸まであげる㊦

図 オバマ 43



For us, they fought and died, in places like Concord and Gettysburg; Normandy and Khe Sahn.

彼らは私たちのために（独立戦争の）コンコード、（南北戦争の）ゲティスバーグ、（第二次大戦の）ノルマンディー、（ベトナム戦争の）ケサンのようなところで戦い、命を落とした。

- 軽い拳を胸の高さで2拍 ㊦

図 オバマ 44

図 オバマ 45



44**Time and again these men and women** struggled and 45**sacrificed and worked till their hands were raw** so that we might live a better life.

これらの男女は私たちがよりよい暮らしを送れるよう何度も何度も苦闘し、犠牲を払い、手が腫れるまで働いてくれた。

- 44 軽い拳を胸の高さで2拍 ㊦
- 45 拳を胸の高さで3拍 ㊦

図 オバマ 46

図 オバマ 47



They saw America as 46**bigger** than the sum of our individual ambitions; 47**greater** than all the differences of birth or wealth or faction.

彼らの目に映る米国は、1人ひとりの大望の集積もさらに大きいものだった。生まれや富や党派の違いを超越した国だった。

- 46 両手を向かい合わせる
- 47 両手を向かい合わせる

図 オバマ 48



This is the journey we continue today.

これが今日も我々が続けている旅だ。

- 下に向かった矢印を2回上下に動かす

図 オバマ 49

図 オバマ 50



49**Our minds** are no less inventive, our goods and services no less needed than they were 50**last week or last month or last year.**

創造性が低下したわけではない。我々の商品やサービスへの需要が先週、先月、昨年より減ったわけではない。

- 49 手のひらを軽く開いて平を自分の方に向けて上下動 ㊦
- 50 手のひらを広げて縦にして上下右に㊦

図 オバマ 51



Our capacity remains undiminished.

我々の能力は衰えていない。

- 軽い拳を上下動㊦

図 オバマ 52 図 オバマ 53



52**But our time** of standing pat, of protecting narrow interests and putting off unpleasant decisions - 53**that time has surely passed.**

しかし、現状維持、狭い権益の保護、不快な決断を先送りする時代は間違いなく過ぎ去った。

- 52 指を聴衆に向かって一回指す㊦
- 53 拳を上下動㊦

図 オバマ 54 図 オバマ 55 図 オバマ 56



54**Starting today**, we must pick ourselves up, dust ourselves off, 55**and begin again the work of remaking** 56**America.**

今日から我々は立ち上がり、ほこりを振り払い、米国を再生する作業をもう一度始めなくてはならない。

- 54 拳を一回下に振り下ろす㊦
- 55 指をさし上下に3回、
- 56 拳に変える㊦

図 オバマ 57



The state of the economy calls for action.

経済の現状は大胆で迅速な行動を求めている。

- 両手を向かい合わせる

図 オバマ 58 図 オバマ 59



58 **and we will act** - 59 **not only to create new jobs**, but to lay a new foundation for growth.

成長の新しい基盤を築くために我々は行動する。

- 58 軽い拳を上下動 ㊦
- 59 指差し ㊦

図 オバマ 60



We will build the roads and bridges, **the electric grids and digital lines** that feed our commerce and bind us together.

我々は商業の糧となり、我々を結びつける道路や橋、送電網や通信網を造る。

- 手のひらを広げて微動 ㊦

図 オバマ 61



We will restore science to **its rightful place, and wield technology's wonders to raise health care's quality** and lower its cost.

科学を本来あるべき地位に引き上げ、医療の質の向上とコストを抑えるために素晴らしい技術を駆使する。

- 軽い拳を上下動 ㊦

図 オバマ 62

図 オバマ 63



62 We will harness the sun and the winds and the soil to 63 fuel our cars and run our factories.

太陽、風、大地を使い自動車を動かし、工場を稼働させる。

- 62 手のひらを広げて上下動㊦
- 63 手のひらを広げて上下動㊦

図 オバマ 64

図 オバマ 65



And we will transform our 64 schools and colleges and 65 universities to meet the demands of a new age.

新しい世代の需要に合うように学校や大学を変革していく。

- 64 手のひらを広げて上下動㊦
- 65 軽く拳を握っていく㊦

図 オバマ 66



All this we can do.

これらはすべて実現可能だ。

- 手のひらを広げる㊦

図 オバマ 67



And all this **we will do.**

そして我々はこれらをすべてやる。

- 軽い拳を上下動 ㊦

図 オバマ 68

図 オバマ 69



68**Now**, 69**there are some who question** the scale of our ambitions - who suggest that our system cannot tolerate too many big plans.

さて、我々の志の大きさについて疑問を持つ人々がいる。彼らは我々のシステムがあまりに多くの大計画に耐えられないと主張する。

- 68 指差し㊦
- 69 拳に変える㊦

図 オバマ 70

図 オバマ 71

図 オバマ 72



70**What the cynics fail to understand** is that the ground has shifted beneath them - that 71**the stale political** arguments that have consumed us for so long 72**no longer apply.**

皮肉屋は足元で地殻変動が起きていることを理解していない。時間を浪費しすぎたつまらない政治論争はもはや通用しないのだ。

- 70 手のひらを上げて一回下におろし、拳に変える㊦
- 71 手のひらを上げて下に向け右にスライドさせる㊦
- 72 軽い拳を上下動㊦

図 オバマ 73

図 オバマ 74



73 The question we ask today is not whether our government is 74 too big or too small, but whether it works.

我々が今日、問うているのは、政府が大きすぎるか、小さすぎるかではなく、機能しているか否かということだ。

- 73 手のひらを広げ平を自分の方に向けて上下動㊦
- 74 軽い拳を上下動させる㊦

図 オバマ 75



whether it helps families find jobs at a decent wage, care they can afford, a retirement that is dignified.

まともな収入を得る仕事、手が届く保険、尊厳ある老後の生活。これらを各家庭が手に入れられるように、政府が手をさしのべているかだ。

- 手のひらを軽く広げ平を聴衆に向けて上下動㊦

図 オバマ 76

図 オバマ 77



76 Where the answer is yes, 77 we intend to move forward.

答えがイエスな部分については、我々は前進させる。

- 76 手のひらを広げる㊦
- 77 指差し上下動㊦

図 オバマ 78



Where the **answer is no, programs will end.**

答えがノーな部分については、その事業を中止する。

- 手のひらを広げ上下動㊦

図 オバマ 79



And those of us who manage the public's dollars **will be held to account - to spend wisely, reform bad habits, and do our business in the light of day - because only then can we restore** the vital trust between a people and their government.

公金を管理するすべての者は説明責任を負う。使うべきところには賢く使い、悪い習性を改め、誰からも見えるように仕事をしてこそ、初めて国民と政府の間の信頼を取り戻せるのだ。

- 拳を胸の高さで上下動㊦

図 オバマ 80 図 オバマ 81



80 **Nor** is the question before us 81 **whether the market is a force** for good or ill.

市場が善か悪かという問題でもない。

- 80 手のひらを広げ上下動㊦
- 81 軽い拳を上下動㊦

図 オバマ 82

図 オバマ 83

図 オバマ 84



Its power to generate wealth and expand freedom is unmatched, 82**but this crisis has reminded us that without a watchful eye**, the market can 83**spin out of control** - and that a 84**nation cannot prosper long when it favors** only the prosperous.

市場ほど富を生み、自由を広げる力を持つものはない。しかし今回の危機は、市場に対する監視の目がなければ、市場が制御不能に陥ることを思い出させた。国家は成功した者だけを引き立てていては成功できない。

- 82 軽い拳を上下動㊦
- 83 手の平を広げ平を聴衆に向けて右にスライド㊦
- 84 手のひらを広げて平を自分に向けて上下動㊦

図 オバマ 85

図 オバマ 86

図 オバマ 87

図 オバマ 88



85**The success of our economy has always depended** not just on the size of our Gross Domestic Product, but 86**on the reach** of our prosperity; on 87**our ability to extend opportunity to every willing heart** - not out of charity, but 88**because it is the surest route** to our common good.

我々の経済の成功は、単に国内総生産（GDP）の規模だけでなく、繁栄の広がり、意欲あるすべての人に機会を提供する能力にかかってきた。そうするのは、慈悲としてではなく、共通の利益への最も確実な道だからだ。

- 85 指差し上下動 ㊦
- 86 両手を向かい合わせてそれぞれ左右に広げる
- 87 軽い拳で上下動㊦
- 88 手のひらを広げる㊦

図 オバマ 89

図 オバマ 90



89 As for our common defense, we 90 reject as false the choice between our safety and our ideals.

共同の防衛について言えば、安全と理想をてんびんにかける誤った選択を拒絶する。

- 89 軽い拳を小刻みに上下動㊦
- 90 軽い拳を小刻みに上下動㊦

図 オバマ 91

図 オバマ 92

図 オバマ 93



91 Our Founding Fathers, 92 Our Founding Fathers faced with perils we can scarcely imagine, drafted a charter

to assure the 93 rule of law and the rights of man, a charter expanded by the blood of generations.

建国の父たちは想像を絶する危険に直面しながらも、法による支配や人権を確約する憲章を書き上げた。憲章はその後、何世代もが血を流したことにより拡充されてきた。

- 91 指差し㊦
- 92② 軽い拳を上下動㊦
- 93③ 軽い拳を上下動㊦

図 オバマ 94



Those ideals still light the world, and we will not give them up for expedience's sake.

その理想は今でも世界を照らし、我々は時々の都合で放棄したりしない。

- 手の平を90度に曲げる㊦

図 オバマ 95

図 オバマ 96

図 オバマ 97



95 And so 96 to all other peoples and governments who are watching today, from the grandest capitals to 97 the small village where my father was born: know that America is a friend of each nation and every man, woman, and child who seeks a future of peace and dignity, and that we are ready to lead once more.

だから、今日（就任式を）見ているすべての（外国の）人々と政府に言いたい。そこが巨大な首都であれ、私の父が生まれた小さな村であっても。

- 95 手のひらを広げる㊦
- 96 手のひらを広げて平を下に向けて一回右にスライド㊦
- 97 手のひらを広げて平を下に向けて一回右にスライド㊦

図 オバマ 98

図 オバマ 99



98 know that America is a friend of each nation and every man, woman, and child who seeks a future of peace and dignity, and that 99 we are ready to lead once more.

米国は平和と尊厳の未来を志すあらゆる国とあらゆる男性、女性、子供の友人である。そして我々は再び先頭に立つ用意ができています。

- 98 軽い拳を上下動㊦
- 99 手のひらを広げて上下動㊦

図 オバマ 100

図 オバマ 101

図 オバマ 102



100 Recall that earlier generations faced down 101 fascism and communism not just with missiles and tanks, but with 102 sturdy alliances and enduring convictions.

先人らがファシズムや共産主義にミサイルや戦車だけでなく、強固な同盟と永続する信念で立ち向かったのを思い起こしてほしい。

- 100 指差しからすぐに拳に変える㊦
- 101 軽い拳 ㊦
- 102 軽い拳 ㊦

図 オバマ 103 図 オバマ 104



They 103understood that our power alone cannot protect us, nor does it entitle us to 104do as we please.

彼らは力のみでは自分自身を守れないこと、力があるからといって好き勝手に振る舞う資格がないことを理解していた。

- 103 両手を向かい合わせる
- 104 指差し左右に小刻みに揺らす㊦

図 オバマ 105 図 オバマ 106



105Instead, they knew that our power grows through its prudent use; our security emanates from the justness of our cause, 106the force of our example, the tempering qualities of humility and restraint.

その代わり彼らは深慮をもって力を行使すれば、その力が増すことを知っていた。我々の安全は、大義の公正さ、模範の持つ力、謙虚さと自制がもたらす静寂から生じるものだということも知っていた。

- 105 軽い拳を上下動㊦
- 106 手の平を 90 度、拳に変え上下動 ㊦

図 オバマ 107



We are the keepers of this legacy.

我々はこの遺産の守護者だ。

- 軽い拳上下動 ㊦

図 オバマ 108



Guided by these principles once more, **we can meet** those new threats that demand even greater effort - even greater cooperation and understanding between nations.

この原則に再び導かれることで、我々はより困難な脅威、今まで以上に国家間の協力と理解が求められる新たな脅威に立ち向かうことができる。

- 手のひらを広げ上下動㊦

図 オバマ 109



図 オバマ 110



109 **We will begin to responsibly leave Iraq** to its people, and 110 **forge a hard-earned peace** in Afghanistan.

我々は責任を持ってイラクを同国民に返し、苦勞しながらアフガニスタンに平和をもたらす。

- 109 手のひらを広げ上下動㊦
- 110 手のひらを広げ上下動㊦

図 オバマ 111



図 オバマ 112



111 **With old friends and former foes, we will work tirelessly to lessen** the nuclear threat, and 112 **roll back** the specter of a warming planet.

旧友やかつての敵と手を携え、たゆまぬ努力で核の脅威を削減し、地球温暖化の恐れを逆戻りさせる。

- 111 軽い拳で上下動から手のひらを広げて上下動㊦
- 112 手のひらを広げ左にスライドさせ胸の高さまで上にあげる㊦

図 オバマ 113

図 オバマ 114



113 **We will not apologize for our way of life**, nor will we waver in its defense, and for those who seek to advance their aims by 114 **inducing terror** and slaughtering innocents,

我々は自分たちの生き方について謝らないし、それを守ることを躊躇（ちゅうちょ）しない。自らの目的を達成するために、テロを使い、無実の人たちを殺害する者にいま告げる。

- 113 軽い拳から指差しに変える㊦
- 114 手のひらを広げて1拍上下動㊦

図 オバマ 115

図 オバマ 116

図 オバマ 117



115 **we say to you now that our spirit is** 116 **stronger and cannot be broken;** 117 **you cannot outlast us, and we will defeat you.**

我々の精神はあなた方より強く、決して砕けない。あなた方は我々より長続きすることは不可能であり、我々は必ずあなた方を打ち負かす

- 115 指差し ㊦
- 116 拳に変える ㊦
- 117 最後にもう一度指を指す ㊦

図 オバマ 118

図 オバマ 119

図 オバマ 120



118 **For we know** that our patchwork heritage is a 119 **strength**, 120 **not a weakness**. 米国の先祖伝来の多様性は弱みではなく、強みだ。

- 118 軽い拳を上げる ㊦
- 119 両手を手の平を上に向けて腹のあたりまで上げる
- 120 指差し ㊦

図 オバマ 121

図 オバマ 122



We are a nation of Christians and Muslims, 120Jews and Hindus -121 and non-believers.

我々の国にはキリスト教徒、イスラム教徒、ユダヤ教徒、ヒンズー教徒、無宗教の人がいる。

- 120 軽い拳 ㊦
- 121 指差し ㊦

図 オバマ 123

図 オバマ 124

図 オバマ 125



We are shaped by every language and culture, drawn from every end of this Earth; and because we have tasted 123the bitter swill of civil war and segregation, 124and emerged from that dark chapter stronger and 125more united.

地球上のあらゆる場所から集まった言語と文化によって形作られた。米国は内戦や人種差別の苦汁を味わい、その暗い歴史から、より強く、より団結し再浮上した。

- 123 拳を胸まで挙げる ㊦
- 124 軽い拳を胸まで ㊦
- 125 指を差す ㊦

図 オバマ 126



we cannot help but believe that the old hatreds shall someday pass; that the lines of tribe shall soon dissolve;

だからこそ、我々はどうしても信じた。古い憎しみがいつの日か過ぎ去り、部族の線引きがやがて消えることを。

- 手の平を地面に向けて横にスライドさせる ㊦

図 オバマ 127

図 オバマ 128



127that as the world grows smaller, our common humanity shall reveal itself; 128and that America must play its role in ushering in a new era of peace.

世界が狭くなるにつれ、共通の人類愛が浮き彫りになることを。そして米国が新しい平和の時代をもたらすために、役割を果たさなければならないことを。

- 127 手の平を広げ縦に拍子を取る ㊦
- 128 手の平を広げ縦に拍子を取る ㊦

図 オバマ 129

図 オバマ 130



129To the Muslim world, we seek a new way forward,130based on mutual interest and mutual respect.

イスラム世界に言いたい。我々は互いの利益と互いへの尊敬に基づいた新しい道を求める。

- 129 手の平を広げ縦に拍子を取る ㊦
- 130 拳をあげて拍子を取る ㊦

図 オバマ 131

図 オバマ 132



131To those leaders around the globe who 132seek to sow conflict, or blame their society's ills on the West - know that your people will judge you on what you can build, not what you destroy.

我々は互いの利益と互いへの尊敬に基づいた新しい道を求める。対立を助長したり、自国社会の問題を西洋に責任転嫁したりする世界の指導者に言いたい。あなたの国の国民は、あなたが何を壊すかによってではなく、何を築くかによってあなたを判断する。

- 131 指差し ㊦
- 132 軽い拳を握る ㊦

図 オバマ 133

図 オバマ 134

図 オバマ 135

図 オバマ 136



133 To those who cling to power through corruption and deceit and the silencing of dissent, know that you are on the
134 wrong side of history; but that we will 135 extend a hand 136 if you are willing to unclench your fist.

汚職とウソ、口封じによって権力にすがりつく指導者よ、あなたは歴史の間違った側にいる。しかし、その握りしめた拳を開けば、我々は手をさしのべる。

- 133 指差し ㊦
- 134 軽い拳 ㊦
- 135 拳を広げる ㊦ 「握りしめた拳を開けば」
- 136 軽い拳 ㊦

図 オバマ 137



To the people of poor nations, we pledge to work alongside you to make your farms flourish and let clean waters flow; to nourish starved bodies and feed hungry minds.

貧しい途上国の人々に言いたい。畑が豊かになり、きれいな水が流れるようになるようあなたがたとともに取り組んでいく。飢えた体を養い、向上心のある脳を満たしていく。

- 指差し ㊦

図 オバマ 138

図 オバマ 139



And to those nations like ours that 138 enjoy relative plenty, 139 we say we can no longer afford indifference to suffering outside our borders; nor can we consume the world's resources without regard to effect.

米国のような豊かな国は、もはや国境の外の苦しみに無関心ではいられない。何の考慮もなしに資源を無駄遣いすることも、もうできない。世界が変わったため、我々もそれに合わせて変わらなければならない。

- 138 軽い拳を挙げる ㊦

- 139 軽い拳を挙げる ㊦

図 オバマ 140 図 オバマ 141



For the ① **world has changed**, and ② **we must change** with it.

世界が変わったため、我々もそれに合わせて変わらなければならない。

- 140 軽い指差し ㊦
- 141 軽い指差し ㊦

図 オバマ 142



As we **consider** the road that unfolds before us, we remember with humble gratitude those brave Americans who, at this very hour, patrol far-off deserts and distant mountains.

我々の前に開かれた道を考えるとき、私たちはこの瞬間にもはるか遠くのか遠くのか砂漠や山々を警備している勇敢な米国人たちを謙虚な感謝とともに思い出す。

- 指差し ㊦

図 オバマ 143 図 オバマ 144 図 オバマ 145 図 オバマ 146



We honor them 143 **not only because** they are guardians of our liberty, but because they 144 **embody** the spirit of service; 145 **a willingness** 146 **to find meaning in something greater than** themselves.

彼らは私たちの自由を守っているだけでなく、奉仕の精神や、自分自身より偉大な何かに意味を見いだそうとする意志を体現しており、我々は彼らを誇りに思う。

- 143 拳を握る ㊦
- 144 軽い拳を握る ㊦
- 145 手の平を下にして拍子を取る ㊦
- 146 拳に変える ㊦

図 オバマ 147

図 オバマ 148

図 オバマ 149



147**And yet, at this moment - a moment that will define a generation** - it is 148**precisely** this spirit that 149**must inhabit us all.**

そして、いまの世代への評価が決まるこの局面で、この（奉仕の）精神こそが我々みんなが持たなくてはいけないものだ。

- 147 軽い拳で拍子を取る ㊦
- 148 拳で拍子を取る ㊦
- 149 軽い拳で拍子を取る ㊦

図 オバマ 150

図 オバマ 151

図 オバマ 152



For as ①**much as** government can do and ②**must do**, ③**it is ultimately the faith and determination** of the American people upon which this nation relies.

なぜなら、政府ができること、やらなければならないことはあるが、この国が最後に頼りとするのは米国民の信念と決意だからだ。

- 150 手の平をひろげ下に向け右にスライドさせる ㊦
- 151 手の平を広げ縦にして上下させる ㊦
- 152 軽い拳を上げ拍子を取る ㊦

図 オバマ 153

図 オバマ 154

図 オバマ 155



153**It is the kindness** to take in a stranger when the levees break, the 154**selflessness** of workers who would rather 155**cut their hours** than see a friend lose their job which sees us through our darkest hours.

堤防が崩れた時に見知らぬ人を受け入れる優しさ、友人が職を失うくらいなら自分の労働時間を短縮する無私の心が、暗黒の時に我々を支えてくれる。

- 153 軽い拳で拍子を取る ㊦
- 154 手の平を広げ縦にして拍子を取る ㊦
- 155 両手の手の平を向かい合わせて拍子を取る

図 オバマ 156 図 オバマ 157



156 It is the firefighter's courage to storm a stairway filled with smoke, but also a parent's willingness to nurture a child, 157 that finally decides our fate.

煙に満ちた階段を駆け上る消防士の勇気、そして子供を育てる親たちの意欲が最終的に我々の運命を決める。

- ① 軽い拳で拍子を取る ㊦
- ② 指を差す ㊦

図 オバマ 158 図 オバマ 159



158 Our challenges may be new. 159 The instruments with which we meet them may be new.

我々が立ち向かう挑戦は新しく、それに立ち向かう手段も新しいかもしれない。

- ① 指差し ㊦
- ② 軽い拳を握る ㊦

図 オバマ 160 図 オバマ 161 図 オバマ 162 図 オバマ 163



図 オバマ 164

図 オバマ 165



160But those values upon which our success depends -161 honesty and hard work, 162courage and fair play, 163tolerance and curiosity, 164loyalty and patriotism - 165these things are old.

しかし我々の成功の礎となる価値観は古い。それは誠実さと勤勉、勇気と公正、寛容さと好奇心、忠誠心と愛国心などだ。

- 160 手の平を広げ縦にして拍子を取る ㊦
- 161 軽い拳で拍子を取る ㊦
- 162 軽い拳を挙げる ㊦
- 163 両手を向かい合わせて拍子を取る
- 164 軽い拳挙げる ㊦
- 165 軽い拳を挙げる ㊦

図 オバマ 166

図 オバマ 167



166These things are true. They have been the quiet force of progress throughout our history. 167What is demanded then is a return to these truths.

これらは普遍の真理である。我々の歴史を通じて前に進む静かな力となってきた。そうであるならば、いま求められているのはこうした真理に立ち戻ることだ。

- ①軽い拳をあげて拍子を取る ㊦
- ②軽い拳を挙げる ㊦

図 オバマ 168

図 オバマ 169



What is 168required of us now is a new era of 169responsibility

いま求められているのは新たな責任の時代だ。

- ①両手の手の平を向かい合わせて拍子を取る
- ②軽い拳で拍子を取る ㊦

図 オバマ 170

図 オバマ 171

図 オバマ 172



- a recognition, on the part of every American, that we have duties to ourselves, our nation, 170and the world, duties that we do not 171grudgingly accept but rather seize gladly, 172firm in the knowledge that there is nothing so satisfying to the spirit,

米国民の1人ひとりが自分自身、自分の国、そして世界に対して義務を負うという認識だ。いやいや請け負う義務ではなく、喜んでつかむ義務だ。

- 170 軽い拳を挙げる ㊦
- 171 指差しをする ㊦
- 172 両手で拳を握る

図 オバマ 173

図 オバマ 174

図 オバマ 175



173so defining of our character, than giving our all to a difficult task. 174This is the 175price and the promise of citizenship.

難しい課題に全力で向かうことほど、精神を満たし、我々らしさを見せることはないからだ。

- 173 手を広げて拍子を取る ㊦
- 174 指を差し拍子を取る ㊦
- 175 指差しから拳を握る ㊦

図 オバマ 176

図 オバマ 177



176This is the source of our confidence – 177the knowledge that God calls on us to shape an uncertain destiny.

これが市民であることの代償であり、約束である。我々の自信の源泉である。未知の運命を自らの手で形

作れと神が呼びかけていることを我々は知っている。

- ①軽い拳を握って拍子を取る ㊥
- ②手の平を広げて縦にして拍子を取る㊥

図 オバマ 178



This is the meaning of our liberty and our creed –

これが我々の自由の意味であり、信条である。

- 軽い拳を握って拍子を取る ㊥

図 オバマ 179

図 オバマ 180

図 オバマ 181

図 オバマ 182



why 179men and women and children of 180every race and 181every faith can join in celebration 182across this magnificent mall,

これがあるからこそ、今日この偉大なモールにあらゆる人種とあらゆる宗教の男性、女性、子供が集まり祝うことができるのだ。

- 179 軽い拳を握って拍子を取る ㊥
- 180 手を広げスライドさせる ㊥
- 181 手を広げスライドさせる ㊥
- 182 手を広げスライドさせる ㊥

図 オバマ 183

図 オバマ 184

図 オバマ 185

図 オバマ 186



183and why a man whose father less than sixty years ago might not have been served at a 184local restaurant 185can now stand before you 186to take a most sacred oath.

これがあるから 60 年前ならレストランで食事をすることもできなかったかもしれない父を持つ男が、最も神聖な宣誓を行うためにあなた方の前に立つことができるのだ。

- 183 軽い拳で拍子を取る ㊦
- 184 指差し ㊦
- 185 手の平を広げ拍子を取り ㊦
- 186 拳を軽く握る ㊦

図 オバマ 187



So let us mark this day with remembrance, of **who we are** and how far we have traveled.

だから、我々が誰なのか、どれだけ長い道のりを歩んできたかを振り返りながら、この日を覚えておこう。

- 手を広げ手の平を自分の方に向ける ㊦

図 オバマ 188

図 オバマ 189



The capital was abandoned. 188 **The enemy was advancing.** 189 **The snow was stained with blood.**

敵は進軍してきた。雪には血がにじんだ。

- 188 手を軽く開いて手の平をしたに向ける ㊦
- 189 軽い拳で拍子を取る ㊦

図 オバマ 190

図 オバマ 191



190 **At a moment when the outcome of our revolution** was 191 **most in doubt**, the father of our nation ordered these words be read to the people:

革命（独立）の行方が最も危ぶまれた時、建国の父は人々にこう読むよう命じた。

- 190 軽い拳で拍子を取り ㊦
- 191 指を差す ㊦

図 オバマ 192

図 オバマ 193

図 オバマ 194

図 オバマ 195



192"**Let it be** told to the future world that in the depth of winter, when nothing but hope and virtue could survive
193**that the city and the country**,194 **alarmed at** one common danger, 195**came forth to meet** [it]."

「将来の世界で語られるようにしよう。希望と美德以外は何一つ生き残ることができない真冬の日に、共通の危機にひんした都市と地方はともにそれに立ち向かった」

- 192 軽い拳を挙げる ㊥
- 193 軽い拳を挙げる ㊥
- 194 手を広げ縦に拍子を取り ㊥
- 195 軽い拳を握る ㊥

図 オバマ 196



America.

アメリカよ。

- 指を差す ㊥

図 オバマ 197

図 オバマ 198

図 オバマ 199



197**In the face of our common** dangers, in this winter of 198**our hardship**, 199**let us remember** these timeless words.

アメリカよ。共通の危機に直面した今、この困難な冬に、我々はこの時を超えた言葉を思い出そうではないか。

- 197 軽い拳を挙げる ㊥
- 198 拳を挙げる ㊥
- 199 拳を挙げる ㊥

図 オバマ 200

図 オバマ 201



200 With hope and virtue, let us brave 201 once more the icy currents, and endure what storms may come.

希望と美德によって、氷のように冷たい流れにもう一度勇敢に立ち向かい、いかなる嵐が訪れようとも耐えようではないか。

- 200 手の平を広げ縦に拍子を取る ㊦
- 201 指を差し、拍子を取る ㊦

図 オバマ 202

図 オバマ 203

図 オバマ 204



and with eyes fixed on the 202 horizon and 203 God's grace upon us, we carried forth that great gift of freedom 204 and delivered it safely to future generations.

地平線に視線を定め、神の慈悲を身に浴びて、我々は自由という偉大な贈り物を運び、将来の世代に安全に送り届けたということ。ありがとう。神の祝福がみなさまにあらんことを。そして、神の祝福がアメリカ合衆国にあらんことを。

- 202 手を広げ縦に拍子を取る ㊦
- 203 手の平を広げ下に向け ㊦
- 204 軽い拳を挙げる ㊦

4-2-2 野田元首相

図 野田 1



➤ 演説を始める前に約 90 度にお辞儀

図 野田 2



➤ 台本を置き、めくる

図 野田 3



この度、私は、内閣総理大臣に任命されました。政治に求められるのは、いつの世も、「正心誠意」の四文字があるのみです。意を誠にして、心を正す。

➤ 台本をめくる

(ただし、以後 30 秒に一度程台本をめくるしぐさがあるため、これより先は割愛させていただきます)

図 野田 4



私は、国民の皆様の声に耳を傾けながら、自らの心を正し、政治家としての良心に忠実に、大震災がもたらした国難に立ち向かう重責を全力で果たしていく決意です。(聴衆から拍手)
➤一瞬顔を少し前に傾けうなづく (聴衆からの拍手に応じて)

図 野田 5



まずは、連立与党である国民新党始め、各党、各会派、そして国民の皆様の御理解と御協力を切にお願い申し上げます。 ➤約 90 度にお辞儀

図 野田 6



省庁の枠組みを超えて被災自治体の要望にワンストップで対応する「復興庁」を設置するための法案を早急に国会に提出します。被災地の復興を加速するため、与野党が一致協力して対処いただくようお願いいたします。 ➤約 90 度にお辞儀

図 野田 7



今年の夏は、国民の皆様による節電のお陰で、計画停電を行う事態には至りませんでした。多大な御理解と御協力、ありがとうございました。➤約 90 度にお辞儀

図 野田 8



与野党が胸襟を開いて話し合い、法案成立に向け合意形成できるよう、社会保障・税一体改革に関する政策協議に各党・各会派の皆様にも御参加いただきますよう、心よりお願いいたします。➤約 45 度のお辞儀

図 野田 9



皆様の御理解と御協力を改めてお願いして、私の所信の表明といたします。ご清聴ありがとうございました。➤約 90 度のお辞儀

4-3 声調比較

本章では声調に関して強弱・速さ・沈黙という項目を設けて比較を行っていく。まず今回の調査で使った波形グラフの見方を説明する。グラフの縦軸がデシベル（dB）を表しており、これは音の強弱を示すものだ。つまり、波が縦に大きく振れているほど強く発生しているということだ。次に、横軸は時間を表している。このグラフは10秒間隔で作成している。波の幅が狭いほど速度を速めているということになる。

また、波形グラフの下には時間に対応したセリフ（和訳付）を付しており、セリフの字体により強弱と速度がわかるようになっている。

4-3-1 オバマ大統領

オバマ大統領の演説も以下のようにセリフの字体によって強弱・速さの違いを表している。

太字=強

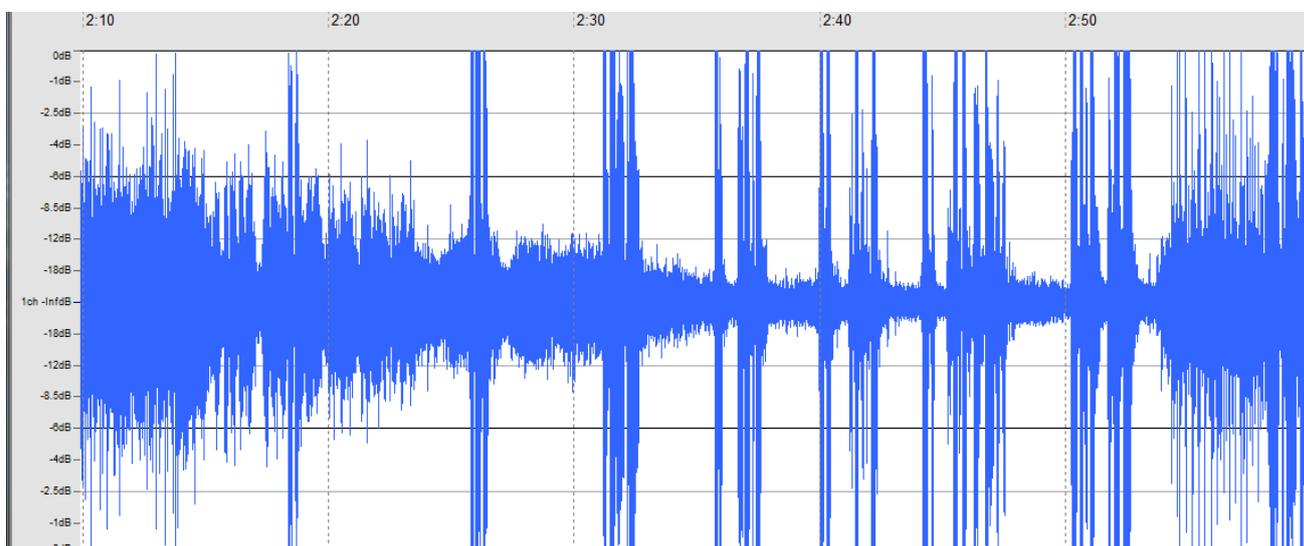
斜体=弱

囲み線=速い

網掛け=遅い

また、沈黙部分は3秒以上の場合のみ「沈黙」と表記。拍手に伴い沈黙している部分は今回は沈黙とは見なしていない。

オバマ波形 1



2:20~ My fellow citizens:

2:30~I stand here today 沈黙 humbled by the task before us, 沈黙

わたしは今日ここに、これから課せられる任務に謙虚に立ち向うとともに、

2:40~grateful for the trust you have bestowed, mindful of the sacrifices borne by our ancestors. 沈黙

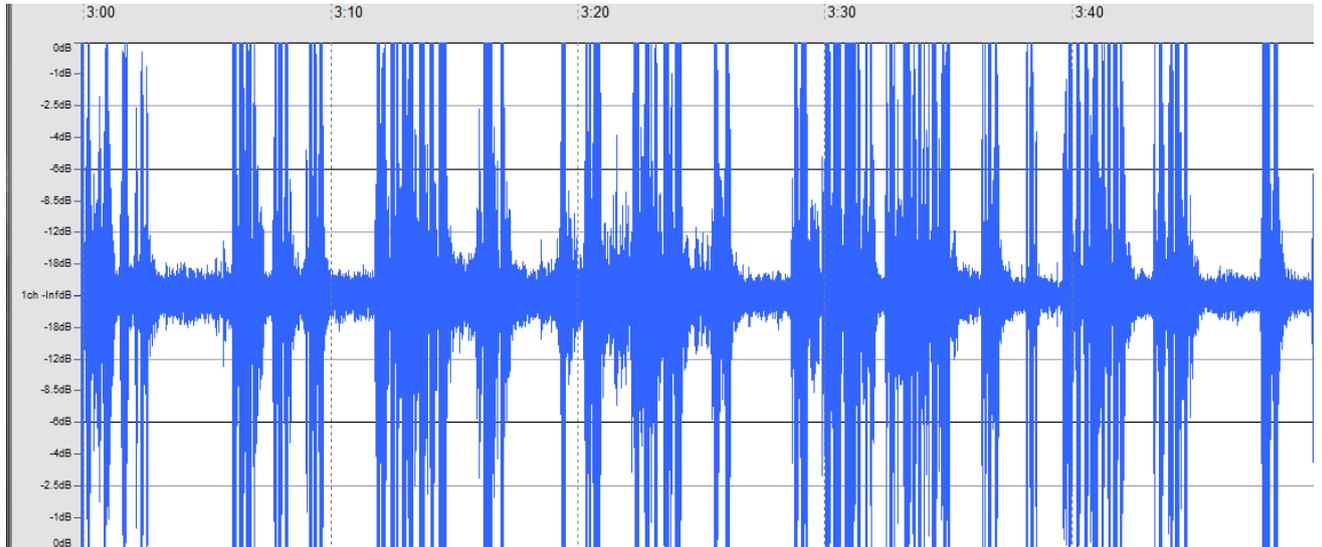
あなたがたが捧げてくれた信頼に感謝し、我々の祖先によりなされた犠牲的行為をここに思い起こして

います。

2:50~I thank President Bush for his service to our nation, as well as the generosity and

わたしはブッシュ大統領の成したわが国への奉仕とともに、

オバマ波形 2



3:00~cooperation he has shown throughout this transition. 沈黙 **Forty-four** Americans have now taken

この（政権）移行期間に彼が示してくれた寛容と協力に感謝します。現在までに44人の米国人が

3:10~the presidential oath. The words have been spoken during rising tides of prosperity and the still waters of peace.

大統領としての宣誓を行いました。その言葉は繁栄の高まりの間に平和の静穏な水とともに語られたものです。

3:20~Yet, every so often the oath is taken amidst gathering clouds and raging storms. 沈黙 At these moments,

しかし、時折その宣誓は立ち込める雲と猛烈な嵐の最中に行われました。その様な時でも、

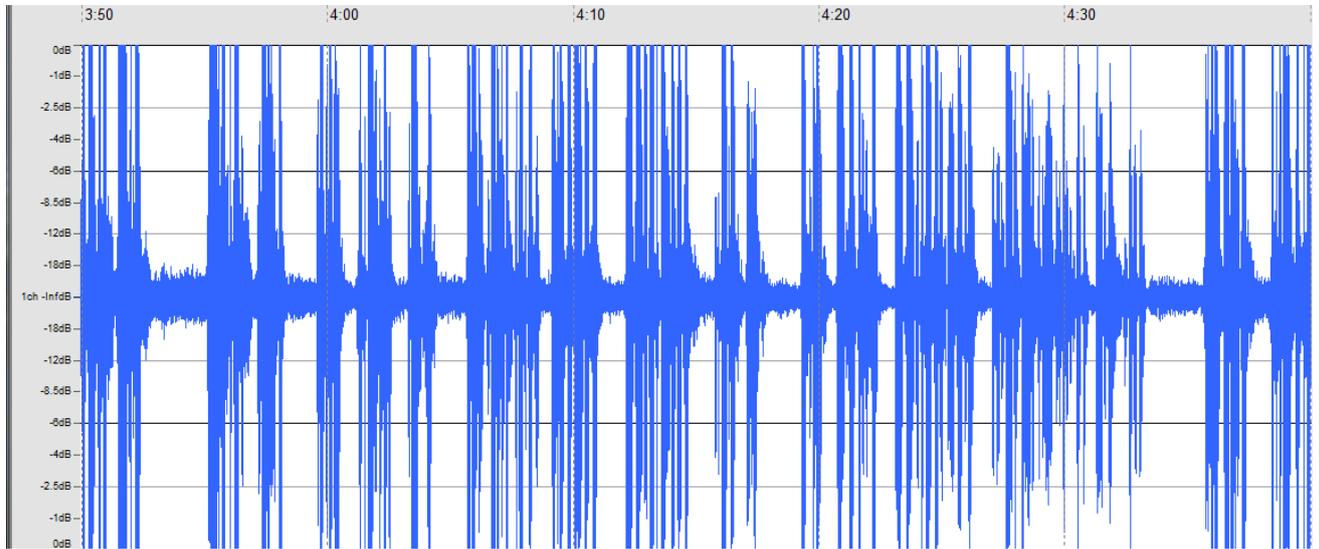
3:30~America has carried on not simply because of the skill or vision of those in high office, but because **We the People**

米国は単に役人の技量やそのビジョンに頼るのではなく、わたし達国民の

3:40~have remained faithful to the ideals of our forbearers, and true to our founding documents. 沈黙 So it has been. So it

祖先の理念への信頼を保ちつつ、我々の建国の文書に忠実である事で乗り越えてきました。今迄はそうでした。

オバマ波形 3



3:50~ must be with this generation of Americans. 沈黙 That we are in the midst of crisis is now well understood.

そして現世代の米国人もそうでなければいけません。今わたし達が危機の真っ只中に居ることは広く知られています。

4:00~ Our nation is at war, against a far-reaching network of violence and hatred. Our economy is badly weakened, a consequence

我が国は戦争中であり、憎悪と暴力の遠大なネットワークに対しています。

4:10~ of greed and irresponsibility on the part of some, but also our collective failure to make hard choices and prepare the nation for a new age. Homes

我々の経済はひどく悪化していますが、それは一部の人々の貪欲さと無責任のせいばかりではなく、困難な選択をして新たな時代へ備えることを怠ったわたしたち自身の過ちでもあります。

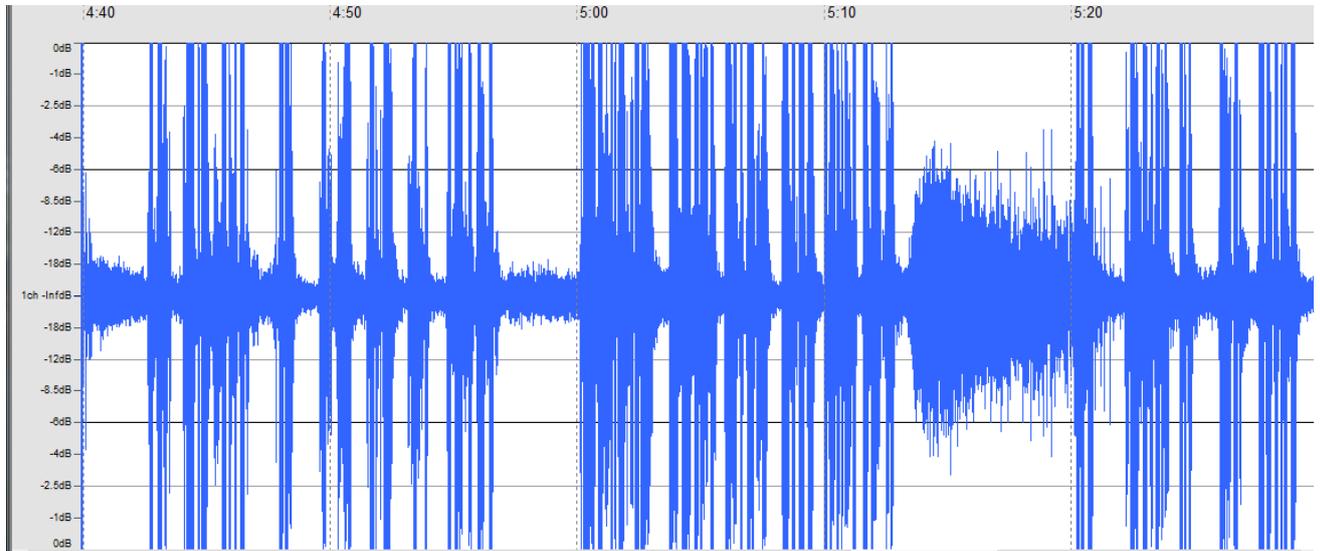
4:20~ have been lost; jobs shed; businesses shuttered. *Our health care is too costly; our schools fail too many; and each day brings further evidence that the ways we use*

家は失われ、職は減り、仕事は行き詰ってしまいました。我々の医療は余りに高価であり、我々の学校は余りに落第であり、

4:30~ energy strengthen our adversaries and threaten our planet. 沈黙 These are the indicators of crisis, subject to data and statistics.

そして我々のエネルギーの使い方が敵対勢力を強化し、わたし達の星を脅かしている事が日々明らかになっています。これらはデータや統計により導かれた危機の指標です。

オバマ波形 4



4:40~ 沈黙 Less measurable but no less profound is a sapping of confidence across our land - a nagging 沈黙

これよりも測定は難しいけれども、同じように深刻なのは、国全体が自信を喪失していることです。

4:50~fear that America's decline is inevitable, and that the next generation must lower its sights. 沈黙

米国の衰退は不可避であり、次の世代は目標を下げなければならない、という恐怖にさいなまれていることです。

5:00~Today I say to you that the challenges we face are real. They are serious and they are many. They will not be met easily or in a short span of time.

今日、私は皆さんにこう申し上げます。私たちが直面しているさまざまな課題は現実のものです。深刻で、多数に及びます。容易に、あるいは短期間に解決できるものではありません。

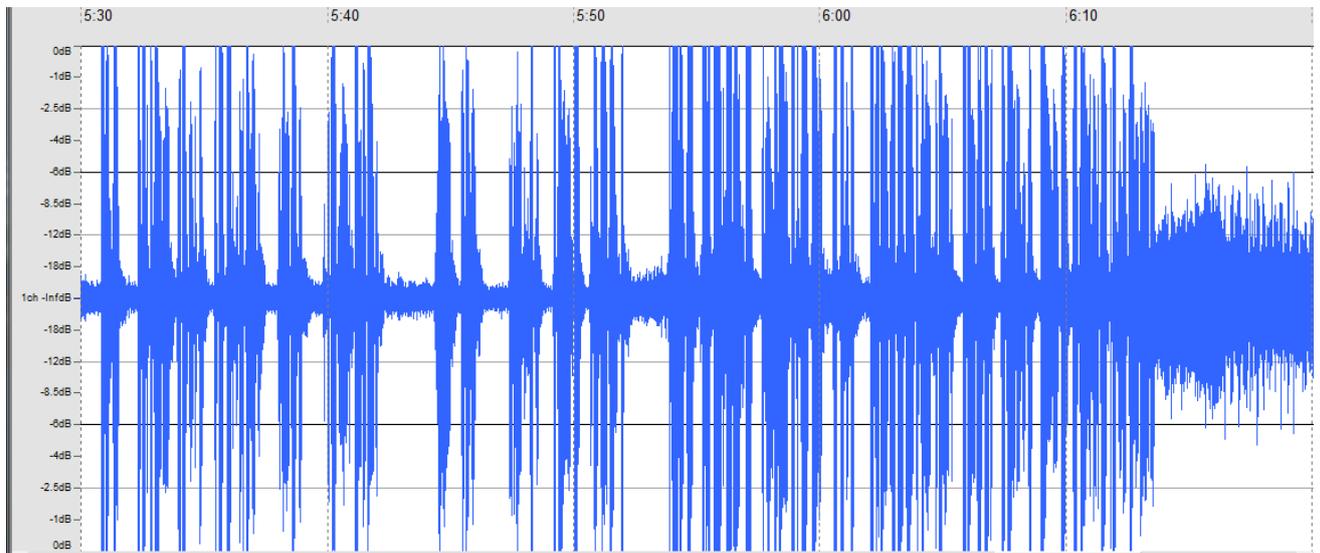
5:10~But know this, America - they will be met.

けれども、米国民の皆さん、これらの課題は解決することができます。

5:20~On this day, we gather because we have chosen hope over fear, unity of purpose over conflict and discord.

今日この日、私たちがここに集まったのは、恐怖ではなく希望を、対立と不和ではなく目標をひとつにすることを選擇したからです。

オバマ波形 5



5:30~**On this day,** we come to proclaim an end to the petty grievances and false promises, the recriminations and worn out dogmas,

今日この日、私たちは、この国の政治をあまりにも長い間抑圧してきた、ささいな不満や偽りの約束、非難や使い古した教義に終わりを告げるためにここにやってきました。

5:40~that for far too long have strangled our politics. 沈黙 **We remain a young nation, but in the words of Scripture, the time has come**

沈黙 米国は今も若い国です。けれども、聖書の言葉にあるように、子供じみたことをやめる時が来たのです。

5:50~**to set aside childish things. The time has come to reaffirm our enduring spirit; to choose our better history; to carry forward**

国の揺るぎない精神を再確認し、より良い歴史を選択し、何世代にもわたって受け継がれてきた貴重な贈り物、

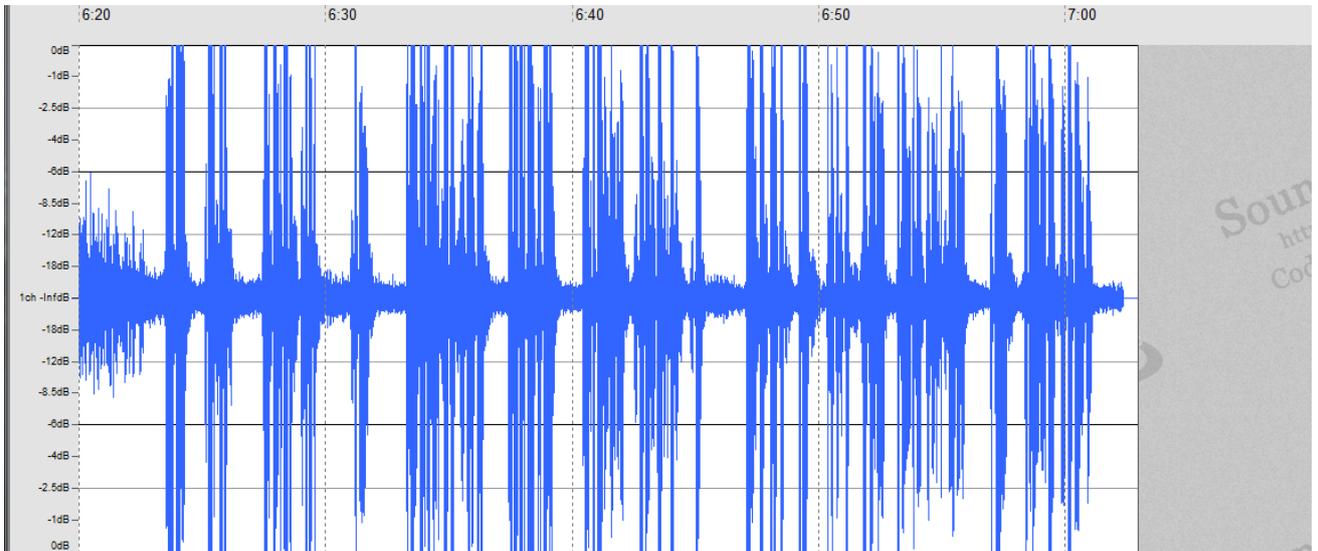
6:00~**that precious gift, that noble idea, passed on from generation to generation: the God-given promise that all are equal, all are free,**

高潔な理念を進める時が来たのです。それは、すべての人は平等かつ自由であり、

6:10~**and all deserve a chance to pursue their full measure of happiness.**

幸福を最大限に追求する機会に値する、という神から与えられた約束です。

オバマ波形 6



6:20~*In reaffirming the greatness of our nation, we understand that greatness is never a given.*

わが国の偉大さを再確認する上で、私たちはその偉大さが天賦のものでないことを理解しています。

6:30~*It must be earned. Our journey has never been one of short-cuts or settling for less. It has not been the path for the faint-hearted*

これは獲得しなければならないものです。私たちが来た道のりが近道であったことは一度もなく、

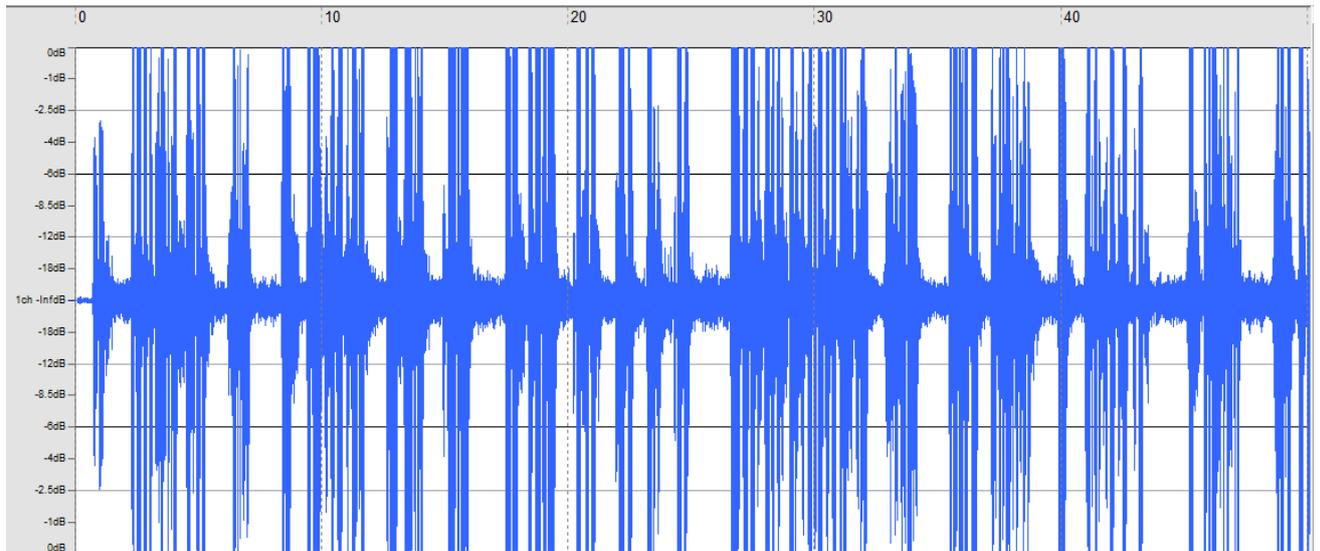
6:40~ *for those who prefer leisure over work, or seek only the pleasures of riches and fame. Rather, it has been the risk-takers, the doers,*

途中で妥協することはありませんでした。それは、労働よりも娯楽を好み、富と名声の喜びだけを求める臆病者が通る道ではありませんでした。く、険しい道を繁栄と自由に向かって進むことができたのは、

6:50~ *the makers of things - some celebrated but more often men and women obscure in their labor, who have carried us up the long, rugged path towards prosperity and freedom.*

危険を冒す者、物事を実行する者、何かをつくり出す者たちのおかげであり、このうちの何人かは称賛されていますが、多くはその苦勞が世に知られていない人たちです。

オバマ波形 7



0:00~For us, they packed up their few worldly possessions and traveled across oceans in search of a new life. For us, they toiled

私たちのために、彼らはわずかな財産を荷物にまとめて、新しい生活を求めて大洋を渡ってきたのです。私たちのために、彼らは悪条件の下、

0:10~in sweatshops and settled the West; endured the lash of the whip and plowed the hard earth. For us, they fought and died,

汗を流して働いて西部に入植し、むち打ちに耐えて、硬い土地を耕しました。私たちのために、

0:20~in places like Concord and Gettysburg; Normandy and Khe Sahn. Time and again these men and women struggled and sacrificed

彼らは（独立戦争の）コンコード、（南北戦争の）ゲティズバーグ、（第2次世界大戦の）ノルマンディー、（ベトナム戦争の）ケサンなどの戦場で戦って死にました。再三にわたり奮闘し、自分を犠牲にし、

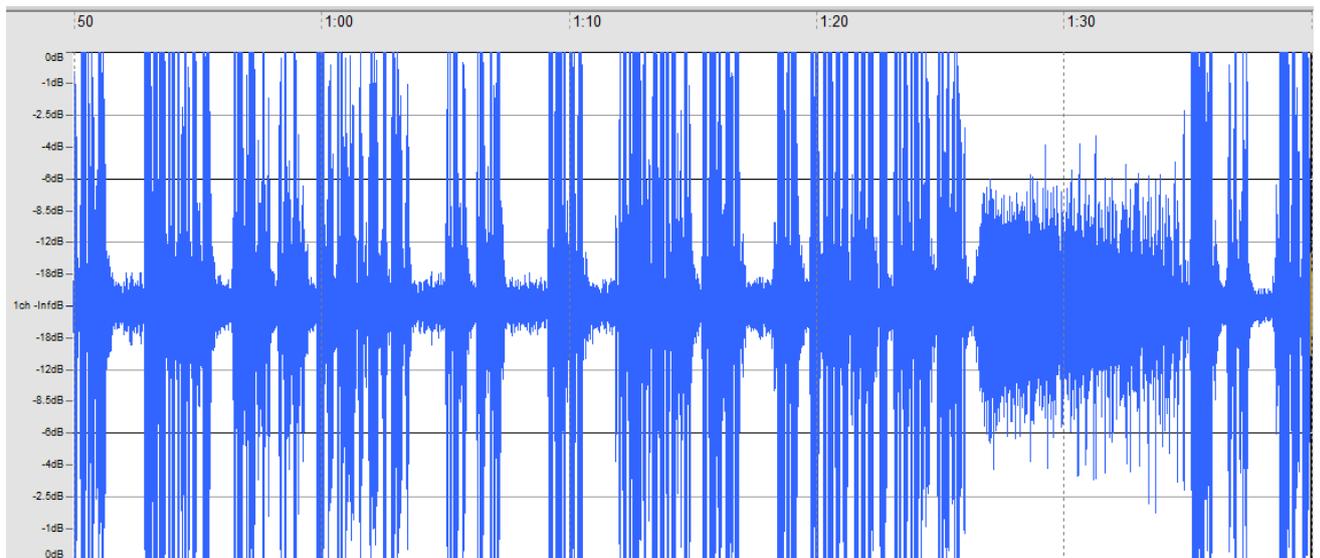
0:30~and worked till their hands were raw so that we might live a better life. They saw America as bigger than the sum of our individual ambitions; greater

彼らは私たちがより良い生活を送ることができるよう、手の皮がむけるまで働いてきました。彼らは米国を、個人の野心をすべて合わせても及ばないほどの大きな存在であり、

0:40~than all the differences of birth or wealth or faction. **This is the journey we continue today.** We remain the most prosperous,

生まれや富や党派によるすべての違いを超えるほど偉大なものだと考えていました。こうした旅を私たちは今日も続けています。米国は今も地球上で最も繁栄した、

オバマ波形 8



0:50~powerful nation on Earth. Our workers are no less productive than when this crisis began. Our minds are no less inventive, our goods and services no less

強い国です。今回の危機が始まったことと比べて、米国人労働者の生産性が落ちたわけではありません。先週、先月、あるいは昨年と比べて、米国人の創造力が劣ったり、

1:00~needed than they were last week or last month or last year. Our capacity remains undiminished. But our time of

米国の製品やサービスが必要とされなくなったりしたわけではありません。私たちの能力は衰えていません。けれども、従来のやり方を変えず、

1:10~standing pat, of protecting narrow interests and putting off unpleasant decisions - that time has surely passed. Starting today,

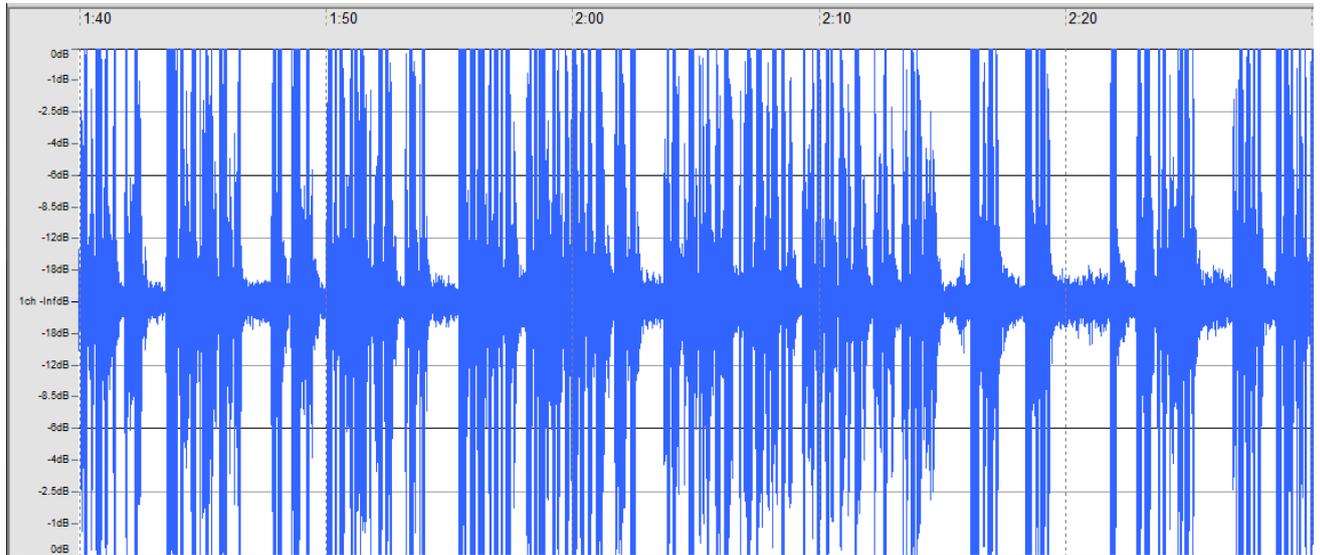
私利私欲を守り、嫌な決定を先延ばしにする時代が終わったことは明らかです。今日から私たちは立ち上がり、

1:20~we must pick ourselves up, dust ourselves off, and begin again the work of remaking America.

体のほこりを払って、米国の再生という仕事を再び始めなければなりません。

1:30~**For everywhere we look**, there is work to be done. The state of the economy
なすべき仕事は至るところにあります。経済状況は

オバマ波形 9



1:40~**calls for action, bold and swift, and we will act - not only to create new jobs, but to lay a new foundation for growth. We will build the roads and bridges,**

大胆で迅速な行動を必要としています。私たちは、新規雇用を創出するためだけでなく、

1:50~**the electric grids and digital lines that feed our commerce and bind us together. We will restore science to its rightful place, and wield technology's wonders to raise health**

新たな成長の基礎をつくるためにも行動します。商業を支え、私たちをひとつに結び付ける道路や橋、送電網、デジタル回線を整備します。科学を正当な地位に戻し、技術の驚異的な力を使って医療の質を向上させ、

2:00~**care's quality and lower its cost. We will harness the sun and the winds and the soil to fuel our cars and run our factories. And we will transform**

コストを下げます。太陽や風や土壌を利用して自動車を走らせ、工場を動かします。そして、学校や大学を改革して、

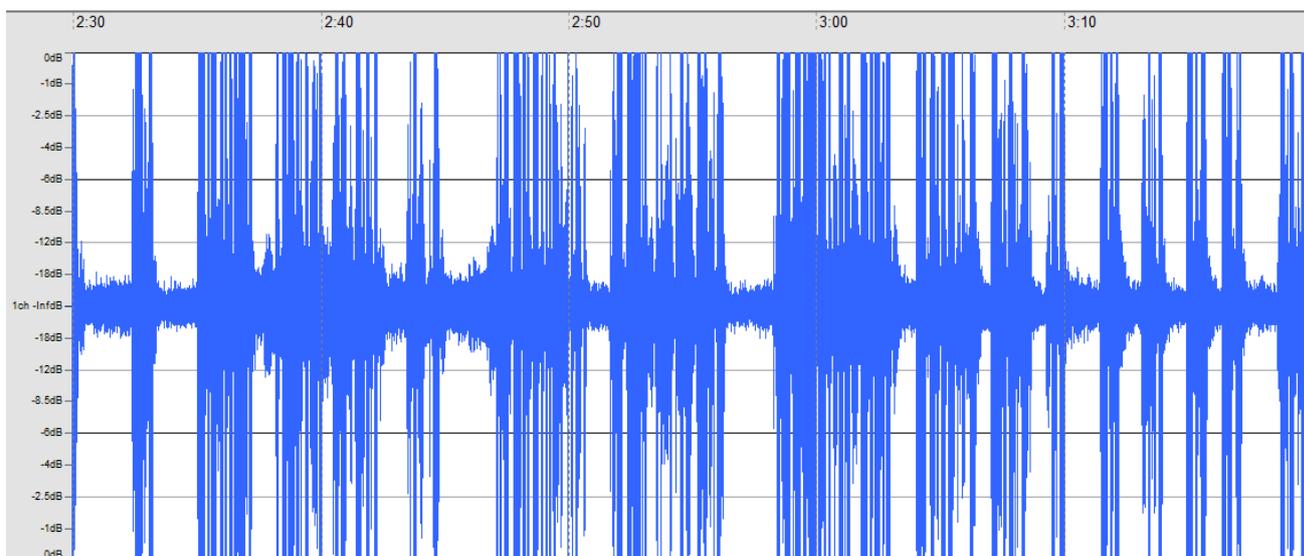
2:10~**our schools and colleges and universities to meet the demands of a new age. All this we can do. And all this we will do.**

新たな時代の要請に応えられるようにします。これらすべてのことを、私たちは実現することができます。これらすべてのことを、私たちは実現します。

2:20~Now, there are some who question the scale of our ambitions - who suggest that our system cannot tolerate too many big plans.

私たちの野心の大きさに疑問を抱き、わが国の制度はあまりに多くの大きな計画に耐えられないと言う人たちがいます。

オバマ波形 10



2:30~沈黙 Their memories are short. 沈黙 For they have forgotten what this country has already done; what free men and women can achieve when

彼らは物事をすぐに忘れてしまう人たちです。なぜなら、この国がすでに何を成してきたか、想像力が共通の目的と、必要性が勇気と結び付いたとき、

2:40~imagination is joined to common purpose, and necessity to courage. **What the cynics fail to understand is that the ground has shifted**

自由な人々が何を成し遂げることができるかを、もう忘れていたからです。こうした皮肉屋たちは、足元の地面が動いたこと、

2:50~beneath them - that the stale political arguments that have consumed us for so long no longer apply. 沈黙 **The question we ask today is not whether our government**

長年にわたり、私たちが消耗させてきた陳腐な政治的議論がもはや通用しないことを理解していません。今日私たちが問うているのは、政府が

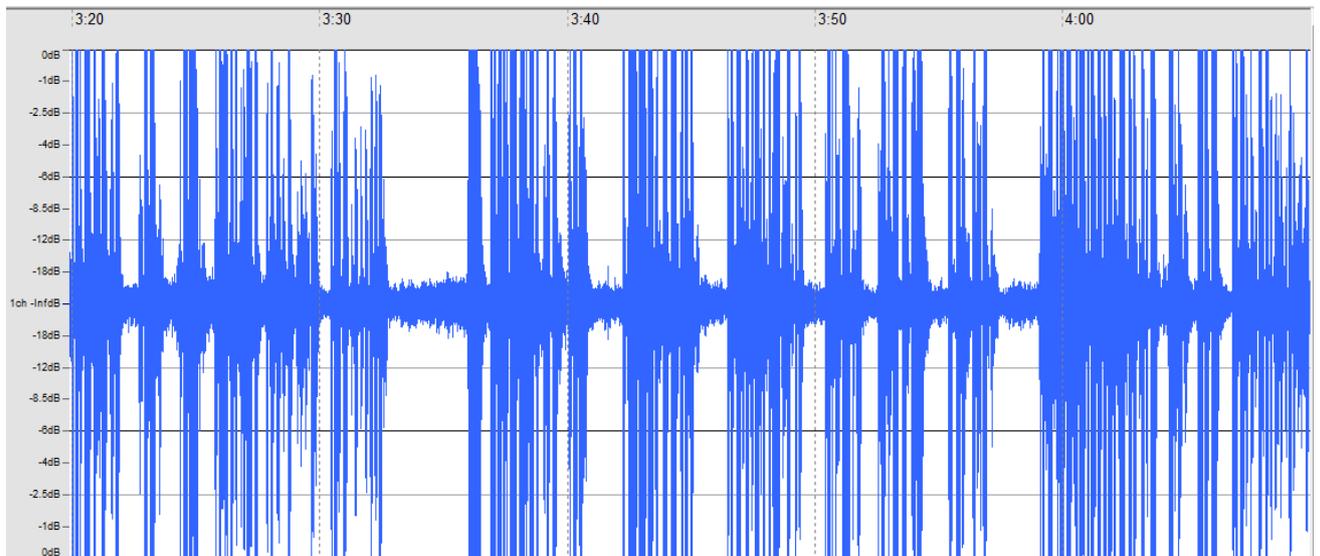
3:00~is too big or too small, but whether it works - whether it helps families find jobs at a decent wage, care they can afford, a retirement that is dignified.

大きすぎるか小さすぎるかではなく、政府が機能するか、つまりそれぞれの家庭が人並みな賃金の仕事を見つけ、費用を負担できる医療を受け、品位ある引退生活を送るために、政府が役に立つかどうかです。

3:10~Where the answer is yes, we intend to move forward. Where the answer is no, programs will end. **And those of us who manage**

答えが「イエス」であれば、その施策を継続します。「ノー」であれば、終わらせます。

オバマ波形 11



3:20~the public's dollars will be held to account - to spend wisely, reform bad habits, and do our business in the light of day - because only then can we restore

そして、公金を管理するものは、説明責任を負うこととなります。つまり、賢明に支出し、悪しき慣習を改め、誰からも見える形で業務を行うのです。

3:30~the vital trust between a people and their government. 沈黙 Nor is the question before us whether the market is a force

なぜなら、国民と政府の間に不可欠な信頼を回復するには、そうするほかないからです。また、市場は善悪どちらを促進する力なのか、を問うているわけでもありません。

3:40~for good or ill. Its power to generate wealth and expand freedom is unmatched, but this crisis has reminded us that without a watchful eye,

富を生み出し自由を拡大する市場の力は並ぶものはありませんが、今回の危機で、監視の目がなければ市場は制御不能になりうること、

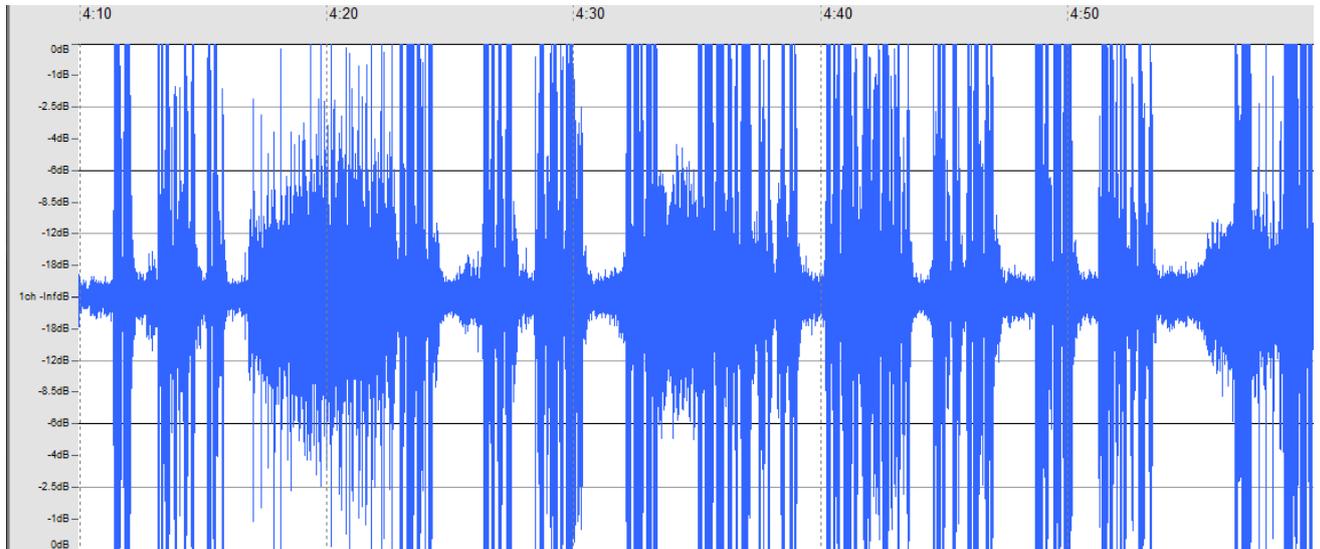
3:50~the market can spin out of control - and that a nation cannot prosper long when it favors only the prosperous. The success of

して富める者だけを優遇する国家は長く繁栄することができないことを再認識しました。米国経済の成功は常に、

4:00~our economy has always depended not just on the size of our Gross Domestic Product, but on the reach of our prosperity; on our ability to extend opportunity to every willing heart

国内総生産の規模だけでなく、繁栄の及ぶ範囲や、やる気のあるすべての人に機会を広げる能力にもよるものでした。

オバマ波形 12



4:10~ not out of charity, but because it is the surest route to our common good.

これは慈善としてではなく、それが私たちの共通の利益に通じる確実な道だからです。

4:20~As for our common defense, we reject as false the choice between our safety and our ideals.

防衛については、安全と理想の間の二者択一を誤りとして拒絶します。

4:30~Our Founding Fathers, faced with perils we can scarcely imagine,

建国の父たちは、私たちが想像もできないような危険に直面しながら、

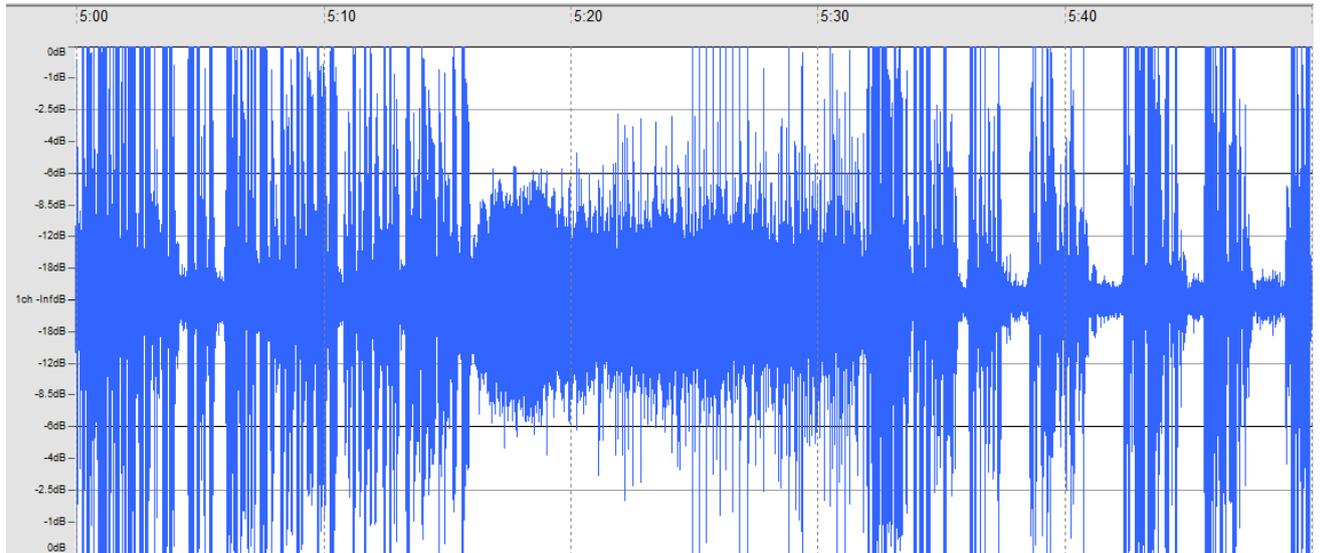
4:40~drafted a charter to assure the rule of law and the rights of man, a charter expanded by the blood of generations. Those ideals still light the world,

法の支配と人権を保障する憲章を起草しました。そしてこの憲章は、その後いくつもの世代が血を流しながら拡充してきました。こうした理想は今も世界を照らしており、

4:50~and we will not give them up for expedience's sake. And so to all other peoples

便宜上の理由でこれを手放すことはありません。ですから、巨大な首都から私の父が生まれた小さな町に至るまで（さまざまな場所で）、

オバマ波形 13



5:00~**and governments who are watching today, from the grandest capitals to the small village where my father was born: know that America is a friend of each nation and every man, woman,**

今日この式典を見ている他国の国民や政府にこう伝えたいと思います。米国はそれぞれの国の友人であり、平和と尊厳のある未来を求めるとすべての男性、女性、子供の友人であることを。

5:10~**and child who seeks a future of peace and dignity, and that we are ready to lead once more.**

そして、再び主導的役割を果たす用意があることを。

5:20~拍手

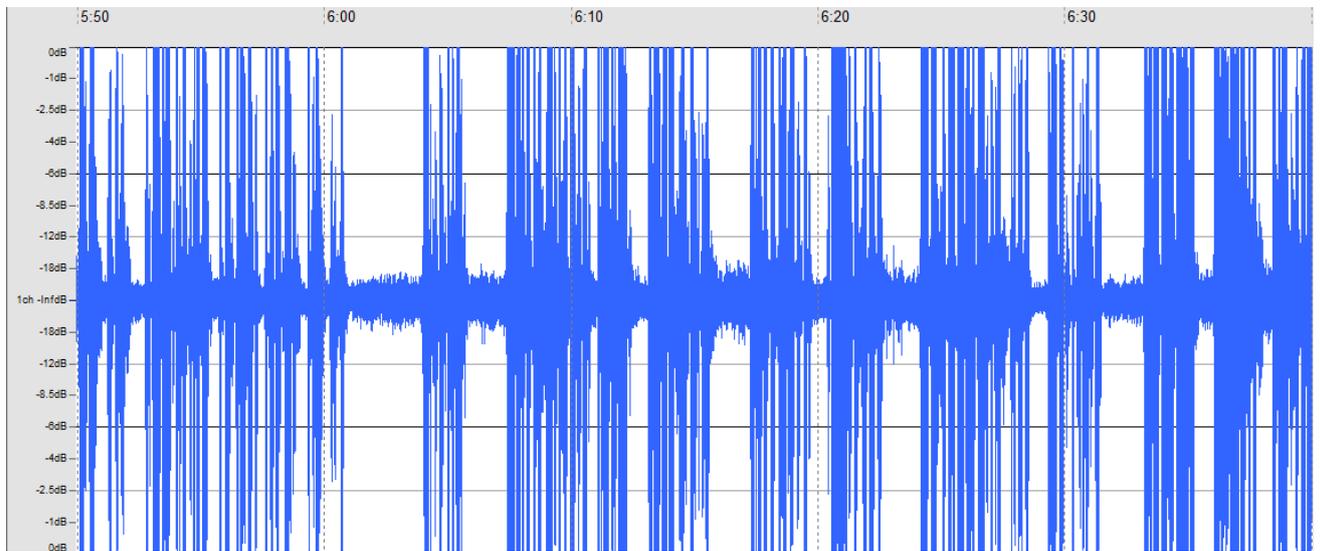
5:30~**Recall that earlier generations faced down fascism and communism not just with missiles and tanks, but with sturdy alliances**

先人たちが、ミサイルや戦車だけでなく、確固たる同盟と揺るぎない信念も武器にして、ファシズムや共産主義に立ち向かったことを思い起こしましょう。

5:40~**and enduring convictions.** They understood that our power alone cannot protect us, nor does it entitle us to do as we please. Instead, they knew that our power grows

彼らは、軍事力だけでは自分たちを守れないことも、軍事力が好きなように振る舞う資格を与えるわけではないことも理解していました。その代わりに、先人たちは、

オバマ波形 14



5:50~through its prudent use; our security emanates from the justness of our cause, the force of our example, the tempering qualities of humility and restraint.

軍事力は慎重に使うことで力が増すこと、私たちの安全は、私たちの大義の正当性や模範を示す力、そして謙虚さや自制心といった気質から生まれることを知っていました。

6:00~We are the keepers of this legacy. 沈黙 Guided by these principles once more, we can meet those new threats

私たちはこの遺産を引き継いでいきます。再度こうした原則に導かれ、なお一層の努力、つまり国家間の一層の協力と理解を必要とする新たな脅威に

6:10~that demand even greater effort - even greater cooperation and understanding between nations. We will begin to responsibly leave Iraq to its people,

立ち向かうことができます。私たちは責任ある形でイラクをイラク国民に委ねる手続きを開始し、苦勞はするでしょうが、

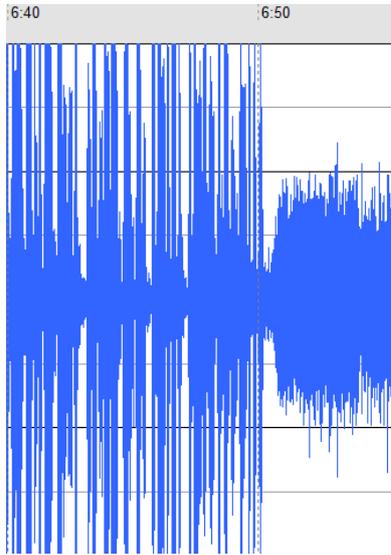
6:20~and forge a hard-earned peace in Afghanistan. **With old friends and former foes, we will work tirelessly to lessen the nuclear threat, and roll back**

アフガニスタンに平和を構築します。古くからの友人やかつての敵と共に、核の脅威を減らし、

6:30~the specter of a warming planet. **We will not apologize for our way of life, nor will we waver in its defense, and for those who seek to advance**

地球温暖化を食い止めるために辛抱強く努力します。私たちは、自らの生き方について謝ることはありませんし、それを守ることに迷うことはありません。

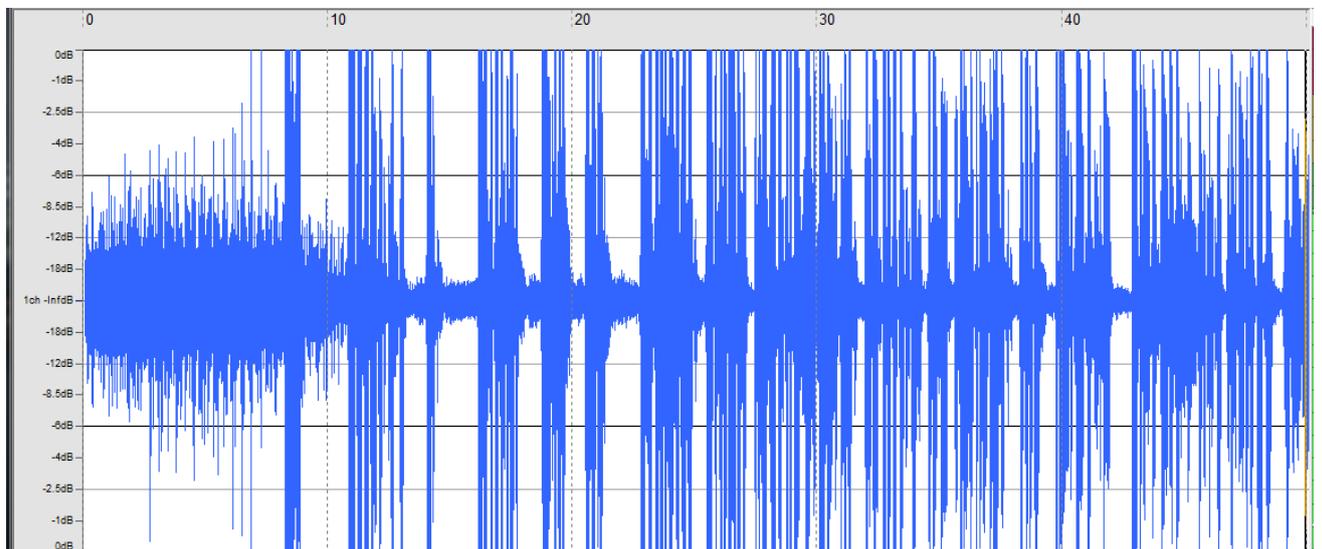
オバマ波形 15



6:40~their aims by inducing terror and slaughtering innocents, we say to you now that our spirit is stronger and cannot be broken; you cannot outlast us, and we will defeat you.

テロを引き起こし、罪のない人々を殺すことによって自分たちの目的を遂げようとする者たちには、こう
言っておきます。私たちの意志の方が強く、これをくじくことはできません。生き残るのは私たちです。
勝つのは私たちです。

オバマ波形 16



0:00~For we know

なぜなら、私たちの

0:10~that our patchwork heritage is a strength, not a weakness. We are a nation of Christians and Muslims, Jews and Hindus –

多様性という遺産が弱点ではなく強みであることを、私たちは知っているからです。私たちの国は、キリ

スト教徒、イスラム教徒、ユダヤ教徒、ヒンズー教徒、

0:20~and non-believers. **We are shaped by every language and culture, drawn from every end of this**

Earth; and because we have tasted the bitter swill

そして無宗教の人々で構成されています。世界各地から集まったあらゆる言語と文化で形作られています。私たちは南北戦争や人種隔離という苦い経験もし、その暗い時代から抜け出して、より強く、より団結するようになったため、

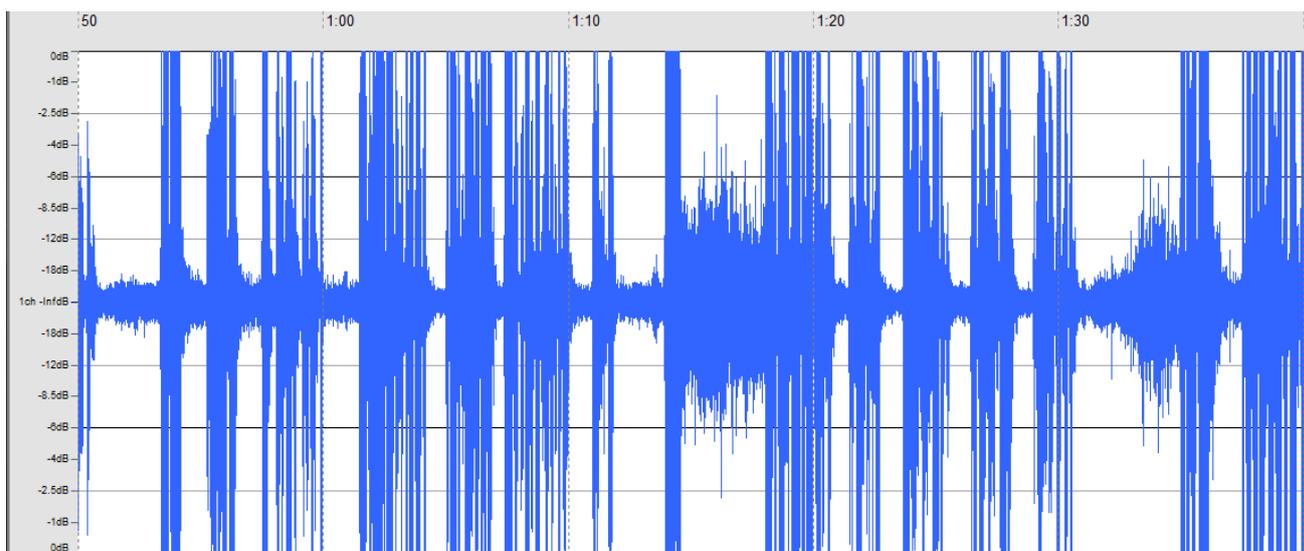
0:30~**of civil war and segregation, and emerged from that dark chapter stronger and more united, we cannot help but believe that the old hatreds shall someday pass;**

どうしてもこう信じてしまいます。かつての憎しみがいつか消え、民族を隔てる境界線もすぐになくなると。

0:40~**that the lines of tribe shall soon dissolve; that as the world grows smaller, our common humanity shall reveal itself; and that America must play its role in ushering in a new era of peace.**

世界が小さくなるにつれ、共通の人間性が現れると。そして、米国が新しい平和の時代を先導する役割を務めなければならないと。

オバマ波形 17



0:50~To the Muslim world, we seek a new way forward, based on mutual interest and mutual respect.

イスラム世界に対しては、私たちは相互の利益と尊敬に基づく新たな道を模索していきます。

1:00~**To those leaders around the globe who seek to sow conflict, or blame their society's ills on the West - know that your people will judge you on what you can build,**

紛争の種をまき、自らの社会の悪を西洋のせいにする世界中の指導者たちは、国民は、あなたが壊すものではなく、あなたが築くことができるものによってあなたを判断する、

1:20~**not what you destroy.** 沈黙 **To those** who cling to power through corruption

ということを知るべきです。腐敗、偽り、そして異論を封じることによって権力にしがみつくる者たちは、

1:30~and deceit and the silencing of dissent, know that you are on the wrong side of history; but that

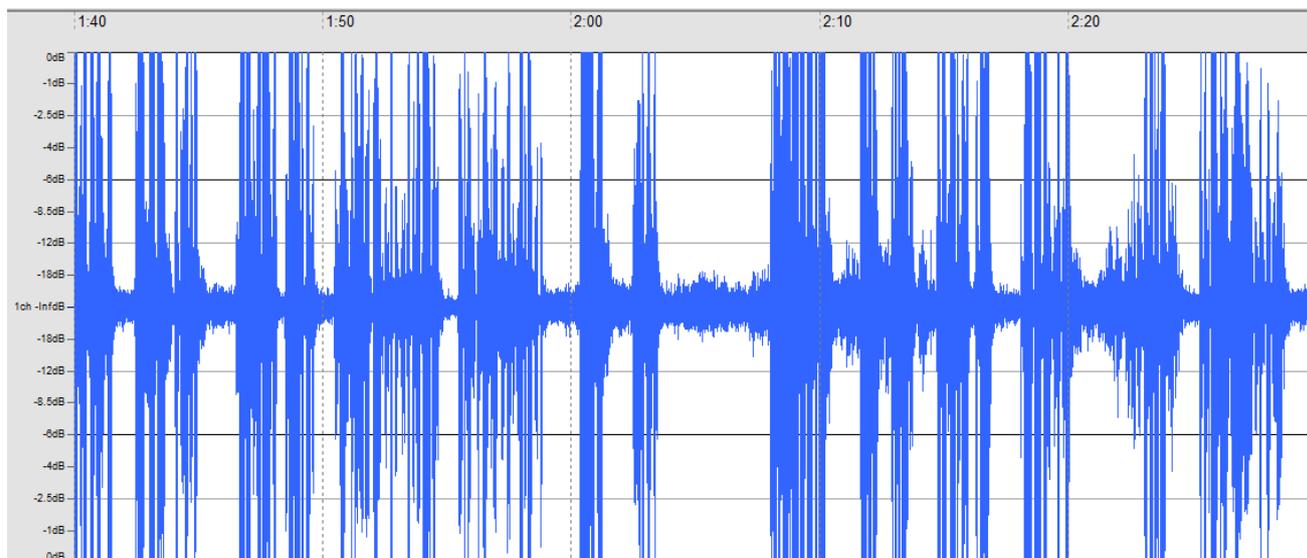
we will extend a hand if you are willing to unclench your fist.

自分たちが歴史の誤った側にいること、そして握ったそのこぶしを開くのならば、私たちが手を差し伸べることを知るべきです。

1:40~To the people of poor nations, we pledge to work alongside you to make your farms

貧しい国の人々に対しては、農場に作物が実り、きれいな水が流れるようにし、

オバマ波形 18



1:40~flourish and let clean waters flow; to nourish starved bodies and feed hungry minds. And to those nations like ours that enjoy relative plenty,

飢えた体と心を満たすために共に努力することを約束します。そして、私たちと同じように比較的豊かな国に対しては、

1:50~we say we can no longer afford indifference to suffering outside our borders; nor can we consume the world's resources without regard to effect.

もはや国外の苦難に関心できないことはできないし、その影響を考慮することなく世界の資源を消費することもできない、と言いたいと思います。

2:00~For the world has changed, and we must change with it. 沈黙 As we consider the road that unfolds before us,

世界が変化したのですから、それと共に私たちも変化しなければならないのです。目の前に開ける道を考えるとき、

2:10~we remember with humble gratitude those brave Americans who, at this very hour, patrol far-off deserts and distant mountains.

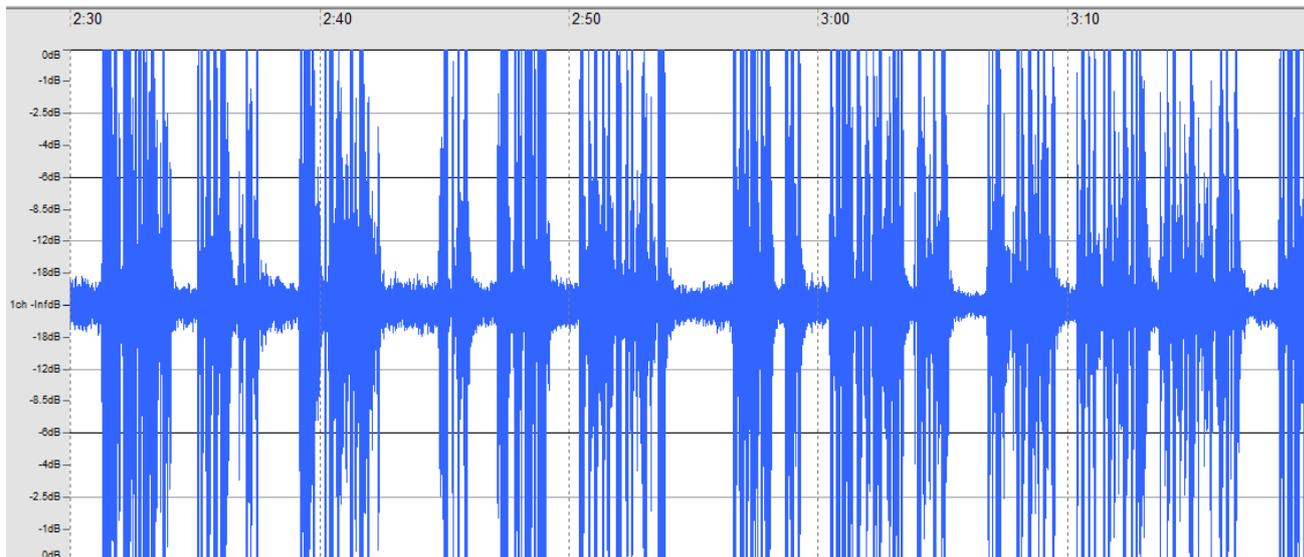
謙虚な感謝の気持ちを持って、今この瞬間もはるかかなたの砂漠や遠く離れた山をパトロールしている勇敢な米国人のことを思い起こします。

2:20~They have something to tell us today, just as the fallen heroes who lie in Arlington *whisper*

through the ages.

彼らは、アーリントン墓地に眠る、亡くなった英雄たちが時代を超えてささやきかけるように、私たちに何かを語りかけています。

オバマ波形 19



2:30~We honor them not only because they are guardians of our liberty, but because they embody the spirit of service; a willingness

私たちは彼らを誇りに思いますが、それは彼らが私たちの自由を守ってくれているからだけでなく、彼らが奉仕の精神、

2:40~to find meaning in something greater than themselves. 沈黙 And yet, at this moment - a moment that will define a generation

つまり自分自身よりも大きな何かに意味を見出そうとする意志を体現しているからでもあります。そして、ひとつの世代を定義付けようとするこの時に私たちが持たなければならないのは、

2:50~ it is precisely this spirit that must inhabit *us* all. 沈黙 For as much as government can do and must do,

まさにこの精神なのです。政府はできること、やらなければならないことをしますが、

3:00~it is ultimately the faith and determination of the American people upon which this nation relies.

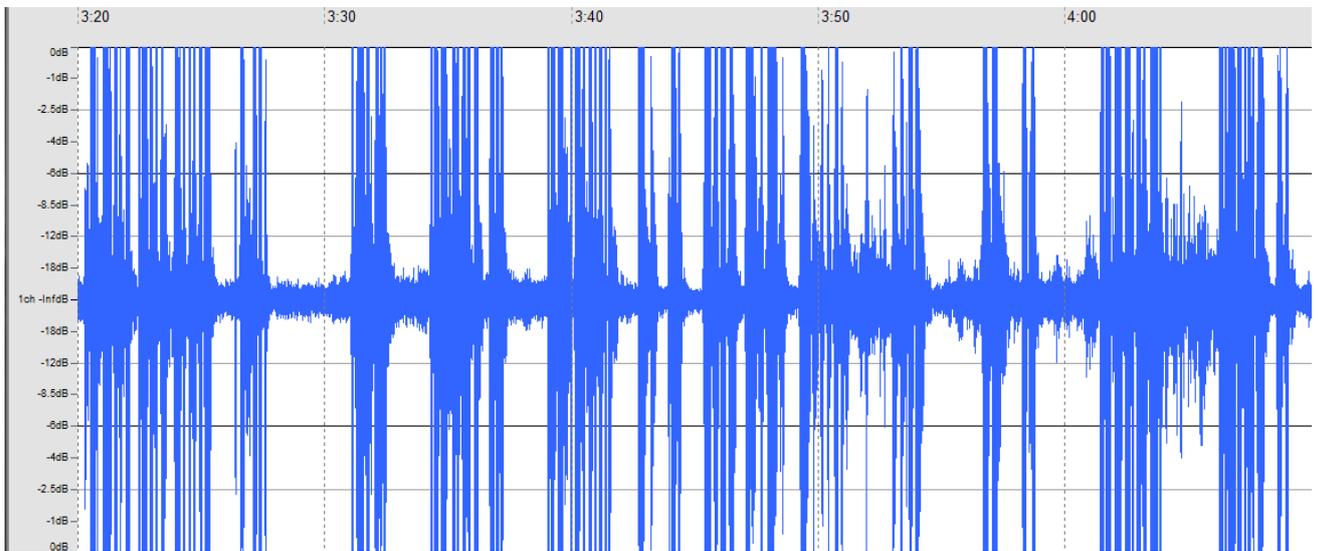
It is the kindness to take in a stranger when the levees break,

詰まるところ、国民の信念と決意です。最も難しい局面を乗り政府はできること、やらなければならないことをしますが、切ることができるのは、堤防が決壊したときに見知らぬ人を助ける親切心や、

3:10~the selflessness of workers who would rather cut their hours than see a friend lose their job which sees us through our darkest hours. It is the firefighter's courage

友人が職を失うのを見るよりは自分の労働時間を削る無私の心があるからです。最終的に私たちの運命を決めるのは、煙に覆われた階段を駆け上る消防士の勇気であるとともに、

オバマ波形 20



3:20~to storm a stairway filled with smoke, but also a parent's willingness to nurture a child, that finally decides our fate.

子供を喜んで育てようとする親の意志です。

3:30~Our challenges may be new. The instruments with which we meet them may be new. 沈黙 But those values upon

私たちの課題は新しいものかもしれません。それに立ち向かう手段も新しいかもしれません。しかし、私たちの成功の可否を左右する、

3:40~which our success depends - hard work and honesty, courage and fair play, tolerance and curiosity, loyalty、正直さと勤勉、勇気と公正、寛容と好奇心、忠誠心と愛国心といった価値観は、

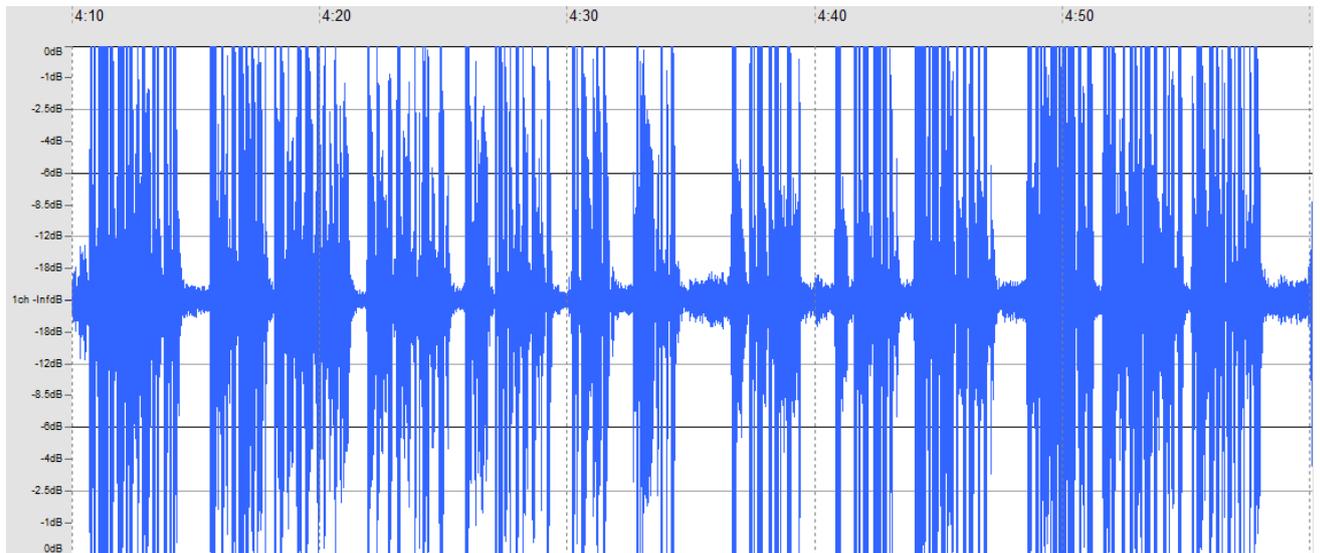
3:50~and patriotism - these things are old. These things are true. 沈黙

古くからあるもので、真実です。

4:00~They have been the quiet force of progress throughout our history. What is demanded then is a return to these truths.

これらは米国の歴史を通じて、前進するための静かな原動力となってきました。必要とされているのは、こうした真実に立ち返ることです。

オバマ波形 21



4:10~**What is required of us now is a new era of responsibility - a recognition, on the part of every American, that we have duties to ourselves,**

今私たちに求められているのは、新たな責任の時代です。米国人一人ひとりが、

4:20~**our nation, and the world, duties that we do not grudgingly accept but rather seize gladly, firm in the knowledge that there is nothing so satisfying to the spirit,**

自分自身、国、そして世界に対して義務を負っていると認識することです。そして、全力を尽くして困難な仕事に取り組むことほど心を満たし、

4:30~so defining of our character, than giving our all to a difficult task. **沈黙** **This is the price and the promise of citizenship.**

米国人らしさを示すものはないと確信して、この義務をいやいやではなく、喜んで引き受けることです。これが市民であることの代償であり、約束です。

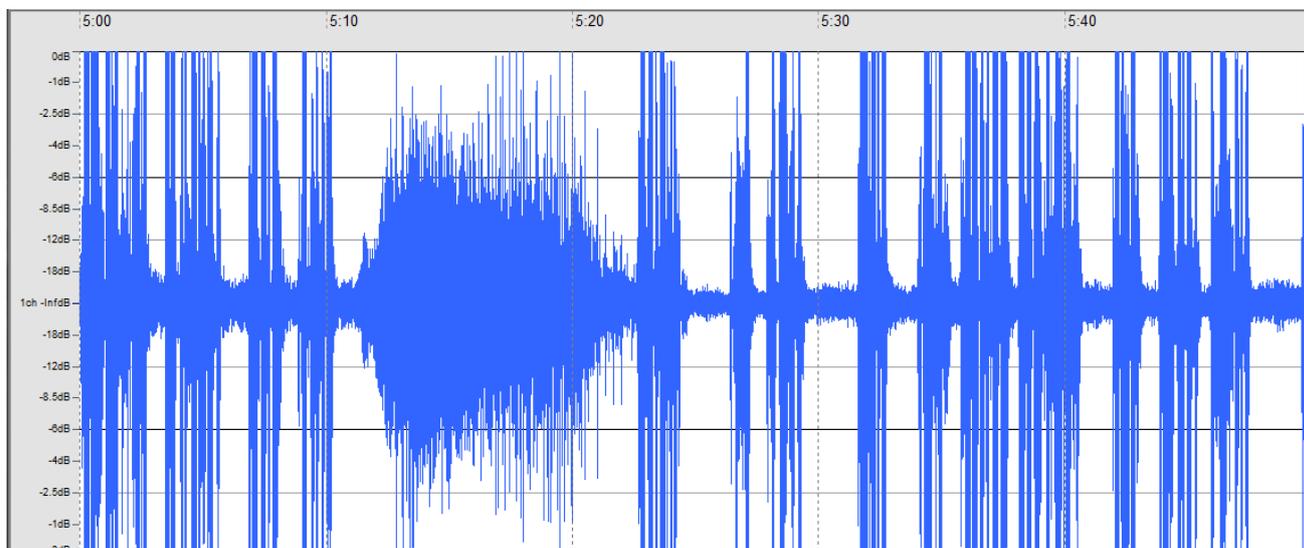
4:40~**This is the source of our confidence -**

これが私たちの自信の源です。

4:50~**the knowledge that God calls on us to shape an uncertain destiny. This is the meaning of our liberty and our creed - why men and women and children of every race and every faith can join in celebration across this magnificent mall,** **沈黙**

神が、定かではない運命に方向性を与えるように、私たちに求めているのです。これが私たちの自由と信条の意味なのです。これが、あらゆる人種や信仰の男女や子供たちが、この巨大なモール（広場）に集まって祝うことができる理由、

オバマ波形 22



5:00~and why a man whose father less than sixty years ago might not have been served at a local restaurant can now stand before you to take a most sacred oath.

そして、60年足らず前に地元のレストランで食事することを許されなかったかもしれない父親を持つ男が、今、極めて神聖な宣誓を行うために皆さんの前に立つことができる理由です。

5:10~20 拍手

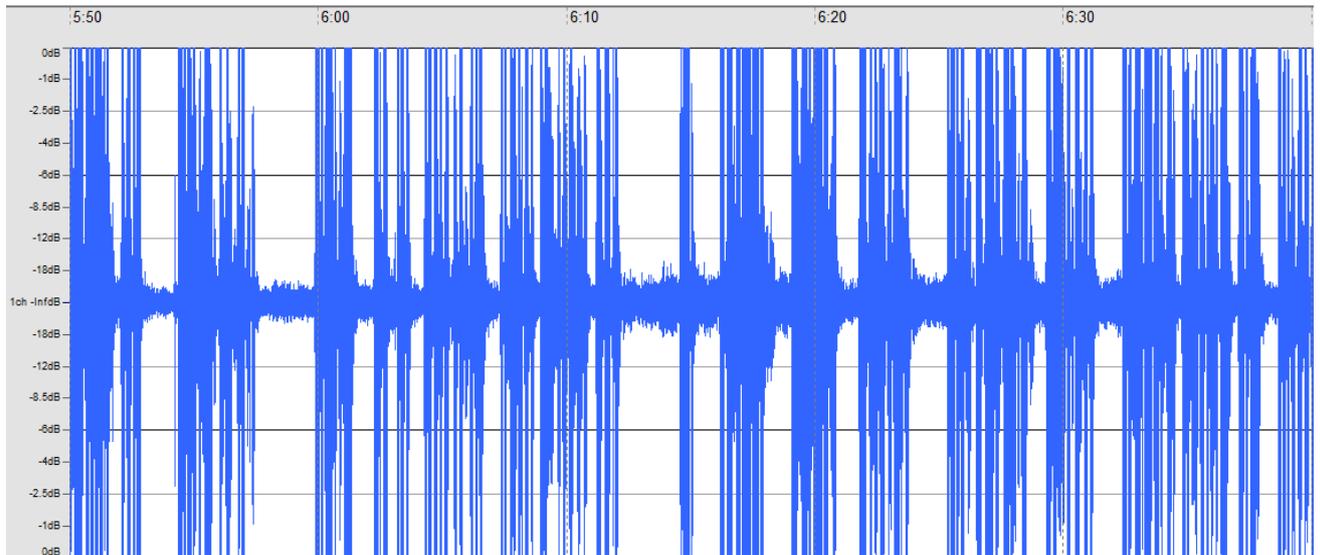
5:20~So let us mark this day with remembrance, 沈黙 of who we are and how far we have traveled. 沈黙

5:30~In the year of America's birth, in the coldest of months, a small band of patriots huddled by dying campfires on the shores of an icy river.

から、私たちが誰で、どれだけ遠くから旅してきたかを思い起こして、この日を心に刻みましょう。建国の年、最も寒い季節に、愛国者の小さな一団は、凍った川の岸辺で消えそうなたき火のそばで身を寄せ合いました。

5:40~The capital was abandoned. The enemy was advancing. The snow was stained with blood. 沈黙
首都は見捨てられ、敵が進軍していました。雪は血に染まっていました。

オバマ波形 23



5:50~At a moment when the outcome of our revolution was most in doubt, the father of our nation ordered these words be read to the people: 沈黙

革命の結果が最も危ぶまれたとき、国民の父（ジョージ・ワシントン）はこの言葉を人々に読み聞かせるよう命じました。

6:00~"Let it be told to the future world...that in the depth of winter, when nothing but hope and virtue could survive...that the city and the country, alarmed at one common

未来の世界にこう語られるようにしよう。極寒の中、希望と美徳しか生き残れなかったときに、共通の危険にさらされた都会と地方が、

6:10~danger, **came forth to meet [it]**. 沈黙 " **America. In the face of our common dangers, in this winter of**

それに立ち向かうために立ち上がったと」 アメリカよ。共通の危険に直面したこの苦難の冬の時期に、

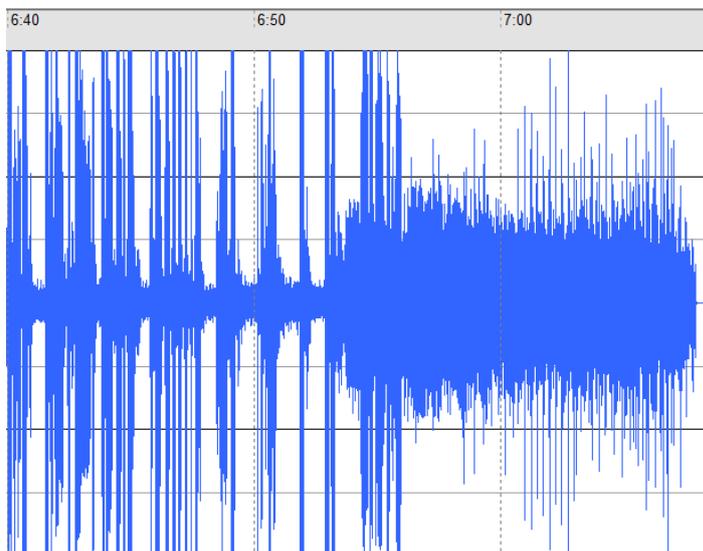
6:20~**our hardship**, let us remember these timeless words. With hope and virtue, let us brave once more the icy currents, and endure

時を超えたこの言葉を忘れないでいましょう。希望と美徳を持って、再びこの氷のように冷たい流れに勇敢に立ち向かい、いかなる嵐が来ようともそれに耐えようではありませんか。

6:30~**what storms may come. Let it be said by our children's children that when we were tested we refused to let this journey end, that we did not turn back**

そして、私たちの子孫にこう言われるようになりましょう。試練にさらされたとき、

オバマ波形 24



6:40~nor did we falter; and with eyes fixed on the horizon and God's grace upon us, we carried forth that great gift of freedom and delivered it safely

私たちはこの旅を終わらせることを拒み、後戻りすることもたじろぐこともなく、地平線と神の恩恵をしっかりと見つめ、自由という偉大な贈り物を

6:50~to future generations.

未来の世代に無事に届けたのだと。

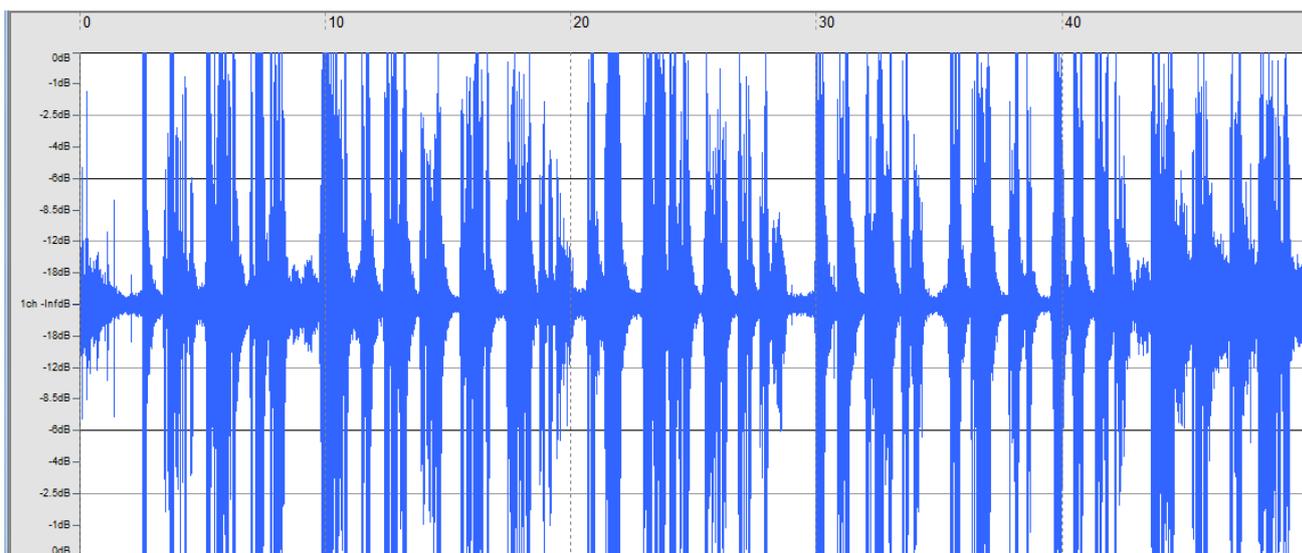
4-3-2 野田元首相

前章と同じく次のようにセリフの字体によって強弱の違いを表してる。

太字=強 太字かつ下線=特に強

斜体=弱 斜体かつ下線=特に弱

野田波形 1



0:00~第七十八回国会の開会に当たり、東日

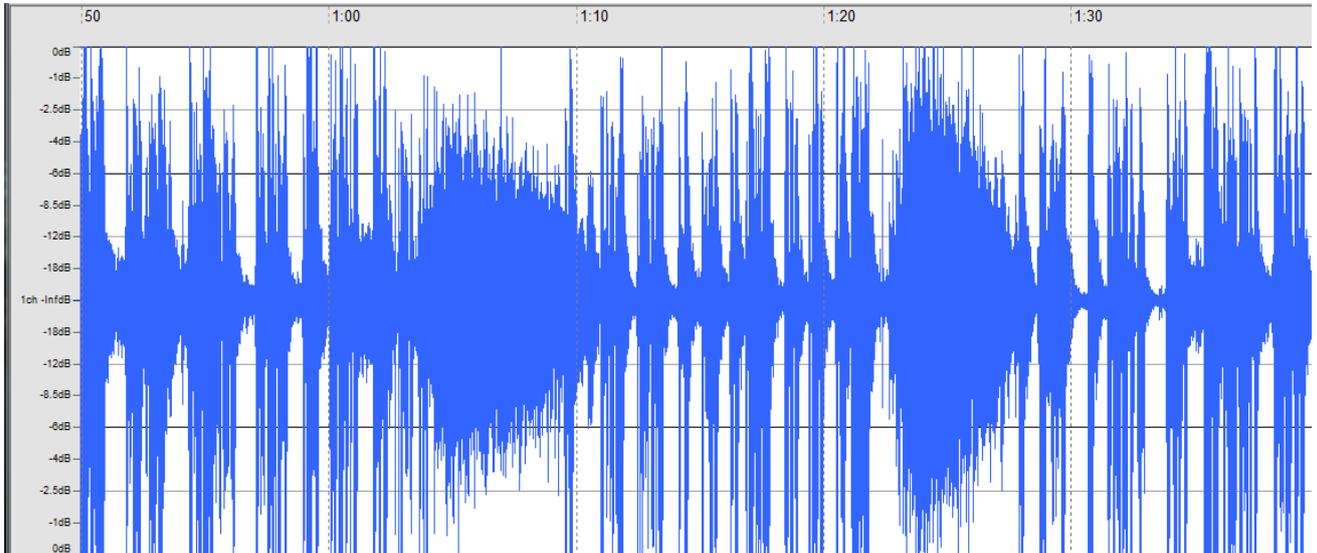
0:10~本大震災、そしてその後も相次いだ集中豪雨や台風の災害によって亡くなられた方々の御冥福をお祈りします。

0:20~また、被害に遭われ、不自由な暮らしを余儀なくされている被災者の方々に、改めてお見舞いを申し上げます。

0:30~この度、私は、内閣総理大臣に任命されました。政治に求められるのは、いつの世も、「正心

0:40~誠意」の四文字があるのみです。意を誠にして、心を正す。私は、国民の皆様の声に耳を

野田波形 2



0:50~傾けながら、自らの心を正し、政治家としての良心に忠実に、大震災がもたらした国難に

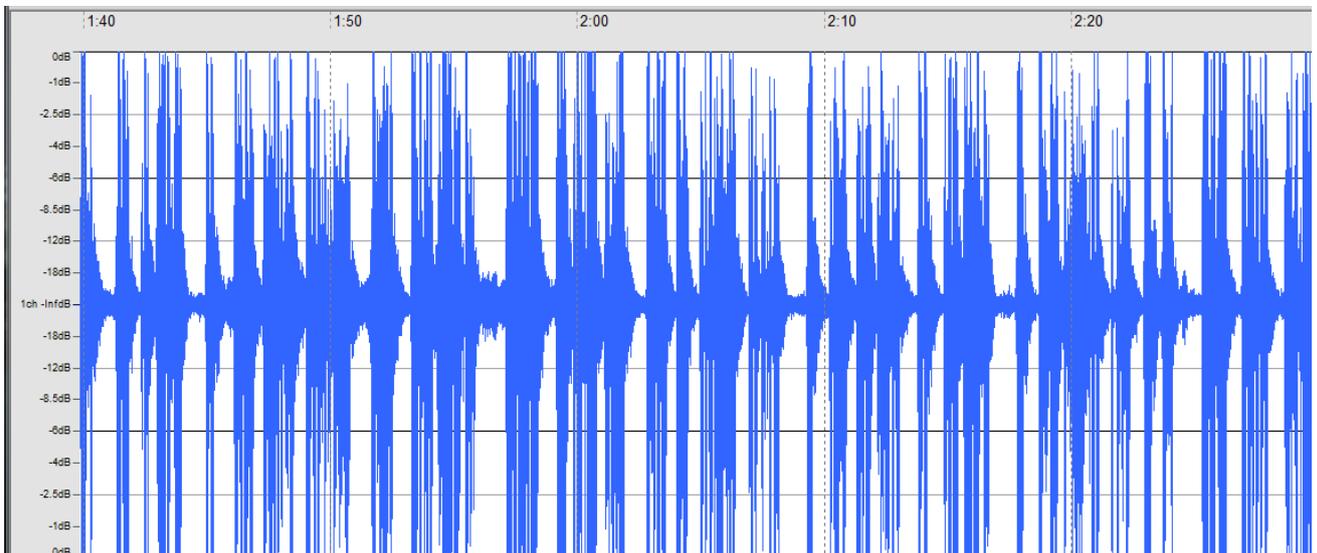
1:00~立ち向かう重責を全力で果たしていく決意です。(拍手)

1:10~まずは、連立与党である国民新党始め、各党、各党派、そして国民の皆様の御理解と御協力を

1:20~切にお願い申し上げます。(拍手) あの三月十一日から、

1:30~はや半年の歳月を経ました。多くの命と穏やかな故郷での暮らしを奪った大震災の爪跡は、いま

野田波形 3



1:40~だ深く被災地に刻まれたままです。そして、大震災と東京電力福島第一原子力発電所の

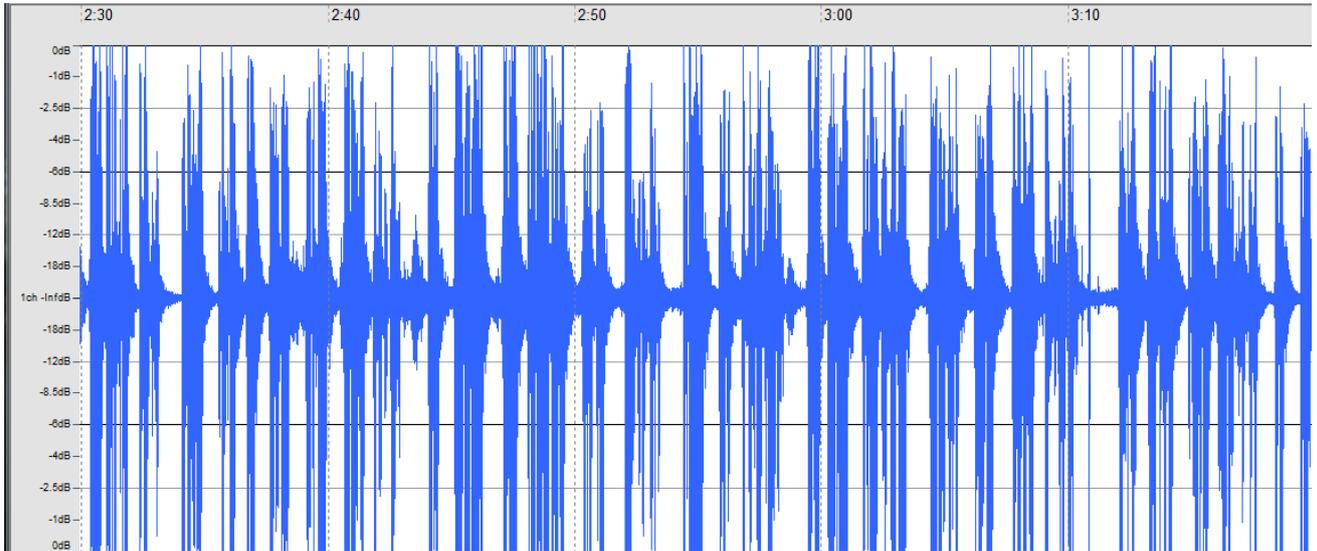
1:50~事故は、被災地のみならず、日本全国に甚大な影響を与えています。日本の経済社会が長年抱えて

2:00~きた課題は残されたまま、大震災により新たに解決が迫られる課題が重くのしかかっています。この

2:10~国難のただ中を生きる私たちが、決して、忘れてはならないものがあります。それは、大震災の絶望

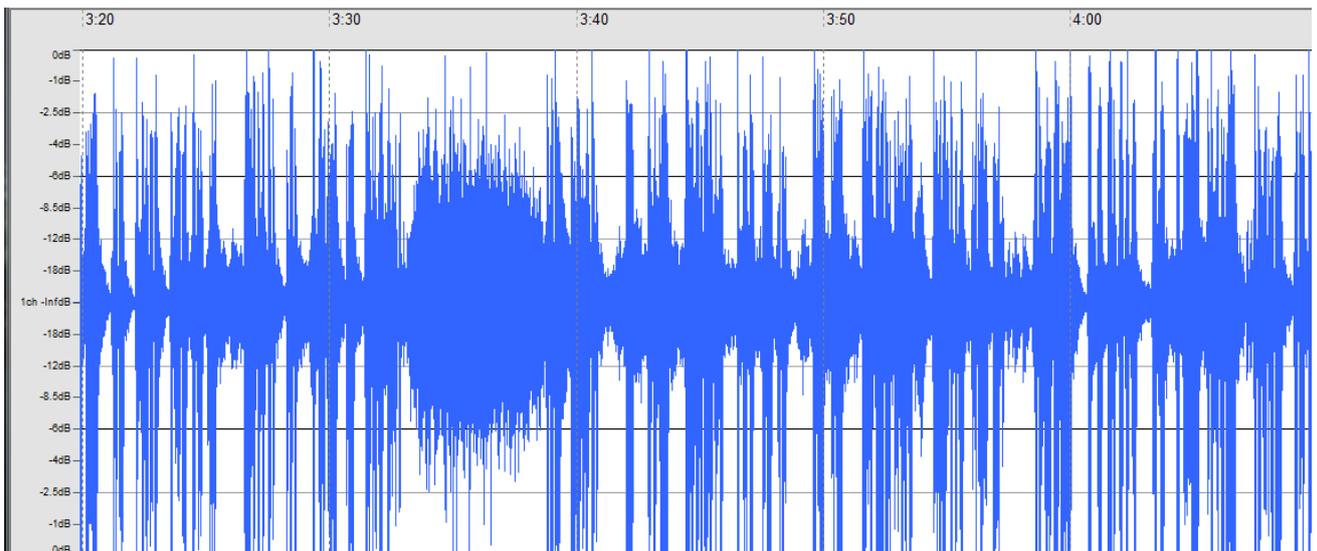
2:20~の中で示された日本人の気高き精神です。南三陸町の防災職員として、住民に高台への

野田波形 4



2:30~避難を呼び掛け続けた遠藤未希さん。防災庁舎の無線機から流れる彼女の声に、勇気づけられ、
2:40~救われた命が数多くありました。恐怖に声を震わせながらも、最後まで呼び掛けをやめなかった彼女は、
2:50~津波に飲まれ、帰らぬ人となりました。生きておられれば、今月、結婚式を迎えるはずでした。被災地
3:00~の至るところで、自らの命さえ顧みず、使命感を貫き、他者をいたわる人間同士の深い絆が
3:10~ありました。彼女たちが身をもって示した、危機の中で「公」に尽くす覚悟。そして、互いに助け

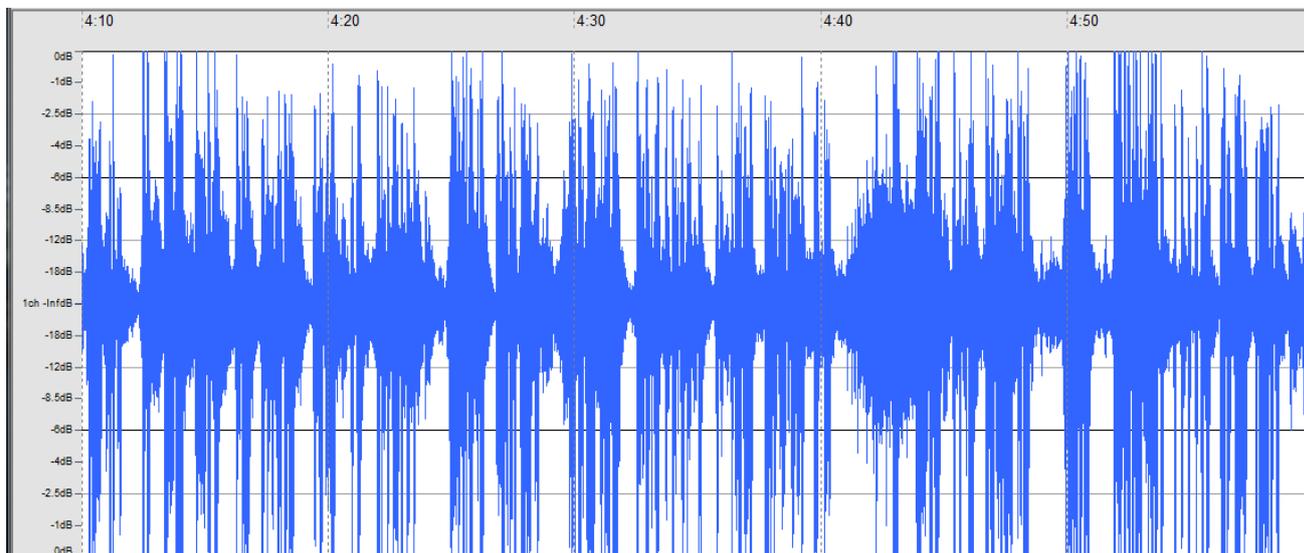
野田波形 5



3:20~合いながら、寡黙に困難を耐えた数多くの被災者の方々。(ヤジ) 日本人として生きていく「誇り」と明日への「希望」が、
3:30~ここに見出せるのではないのでしょうか。(拍手) 忘れてはならないも

3:40~のがあります。それは、原発事故や被災者支援の最前線で格闘する人々の姿です。先週、
3:50~私は、原子力災害対策本部長として、福島第一原発の敷地内に入りました。二千人を超える方々が
4:00~マスクと防護服に身を包み、被曝と熱中症の危険にさらされながら、事故収束のために黙々と

野田波形 6



4:10~作業を続けています。そして大震災や豪雨の被災地では、自らが被災者の立場にありながらも、人命救助や

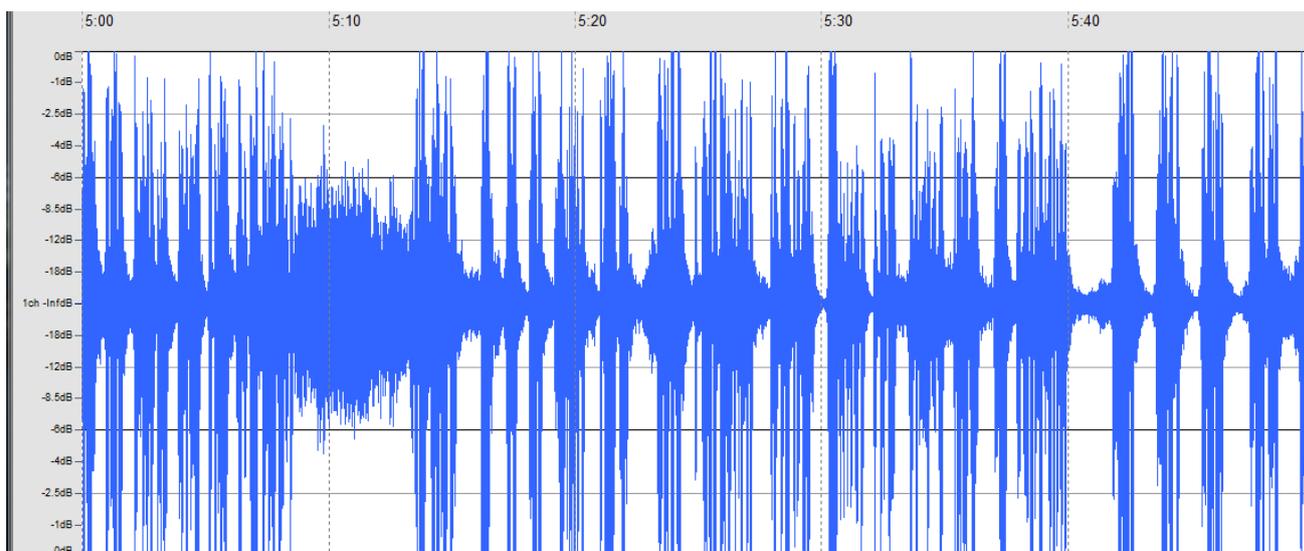
4:20~復旧、除染活動の先頭に立ち、住民に向き合い続ける自治体職員の方々がいます。御家族を

4:30~亡くされた痛みを抱きながら、豪雨対策の陣頭指揮を執り続ける那智勝浦町の寺本真一町長も、その

4:40~一人です。今この瞬間にも、原発事故や災害との戦いは、続いています。様々な

4:50~現場での献身的な作業の積み重ねによって、日本の「今」と「未来」は支えられています。私たちは、

野田波形 7



5:00~激励と感謝の念とともに、こうした人々にもっと思いを致す必要があるのではないのでしょうか。(拍

手)

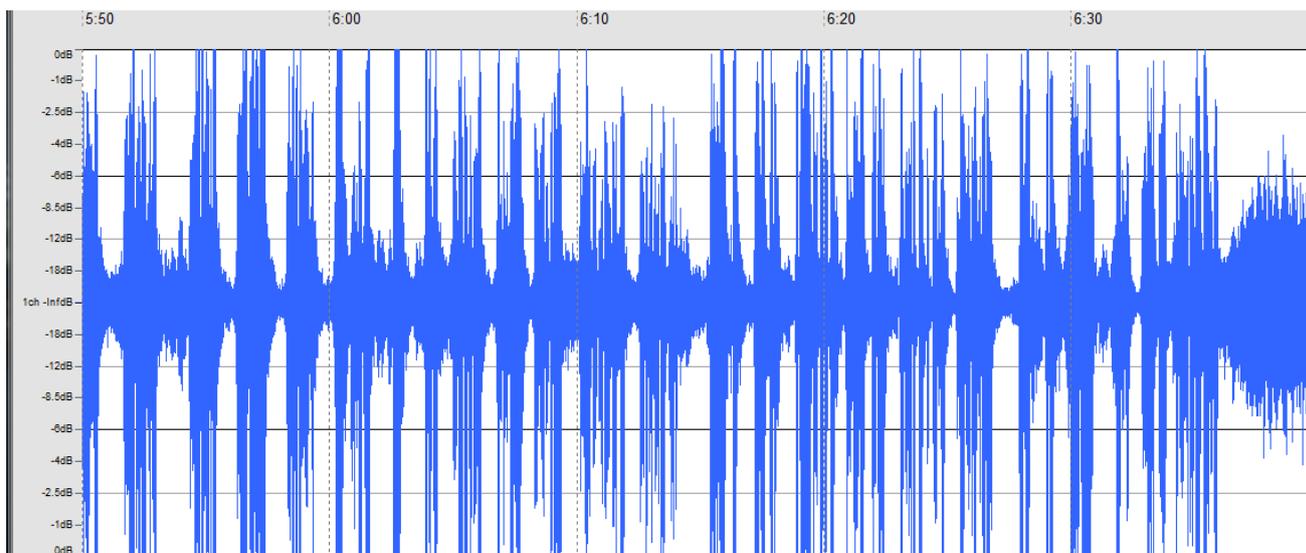
5:10~忘れてはならないものがあります。それは、被災者、とりわけ福島の方々の

5:20~抱く故郷への思いです。多くの被災地が復興に向けた歩みが始める中、依然として先行きが見えず、

5:30~見えない放射線の不安と格闘している原発周辺地域の方々の思いを、福島の高校生たちが教えてくれています。

5:40~「福島に生まれて、福島で育って、福島で働く。福島で結婚して、福島で

野田波形 8



5:50~子どもを産んで、福島で子どもを育てる。福島で孫を見て、福島でひ孫を見て、福島で最期を過ごす。

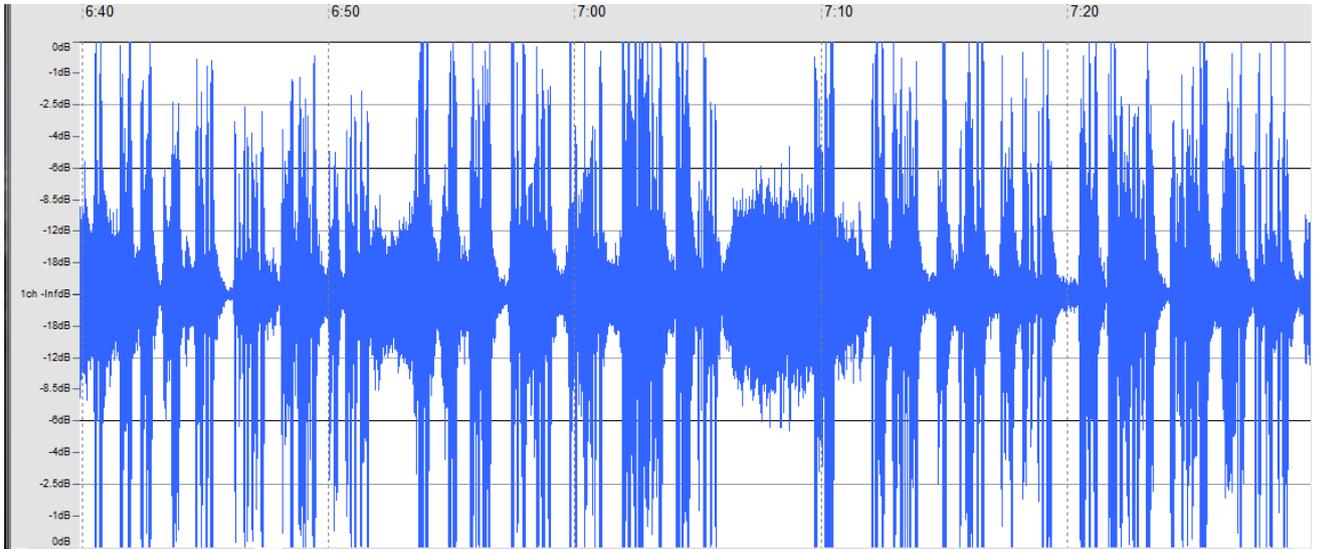
6:00~それが私の夢なのです。 これは、先月、福島で開催された全国高校総合文化祭で、

6:10~福島の高校生たちが演じた創作劇中の言葉です。悲しみや怒り、不安やいらだち、諦めや無力感と

6:20~いった感情を乗り越えて、明日に向かって一歩を踏み出す力強さがあふれています。こうした若い情熱の

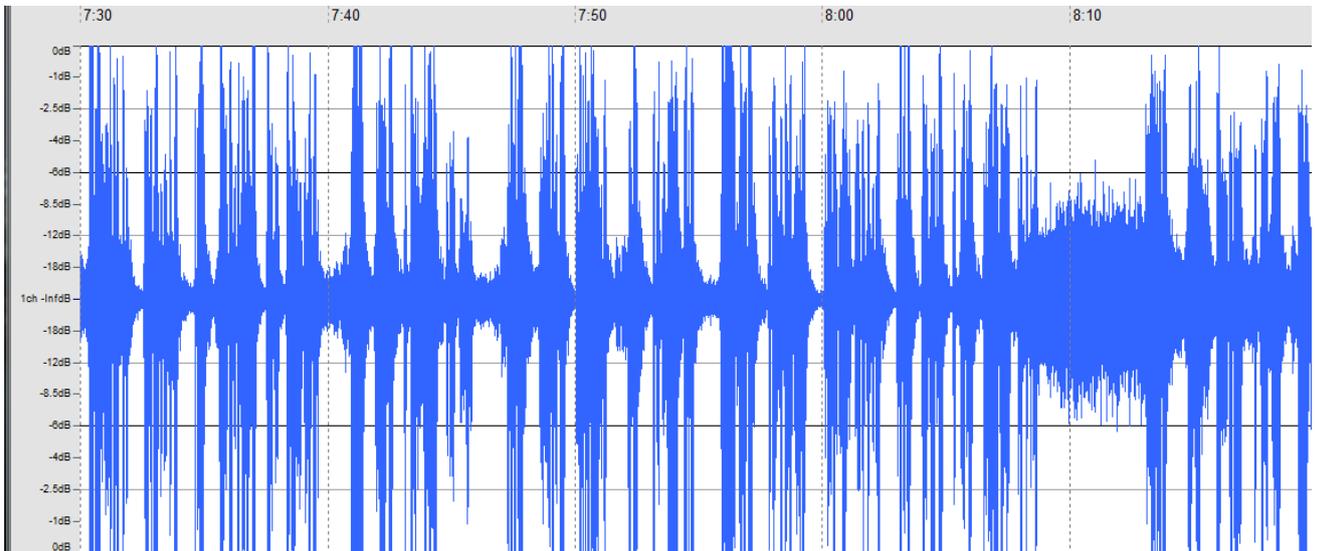
6:30~中に、被災地と福島の復興を確信できるのではないのでしょうか。

野田波形 9



6:40~今般、被災者の心情に配慮を欠いた不適切な言動によって辞任した閣僚が出たことは、
6:50~誠に残念でなりません。失われた信頼を取り戻すためにも、内閣が一丸となって、原発
7:00~事故の収束と被災者支援に邁進することを改めてお誓いいたします。大震災
7:10~後も、世界は歩みを止めていません。そして、日本への視線も日に日に厳しく変化しています。
7:20~日本人の気高い精神を賞賛する声は、この国の「政治」に向けられる厳しい見方にかき消されつつあ
ります。

野田波形 10



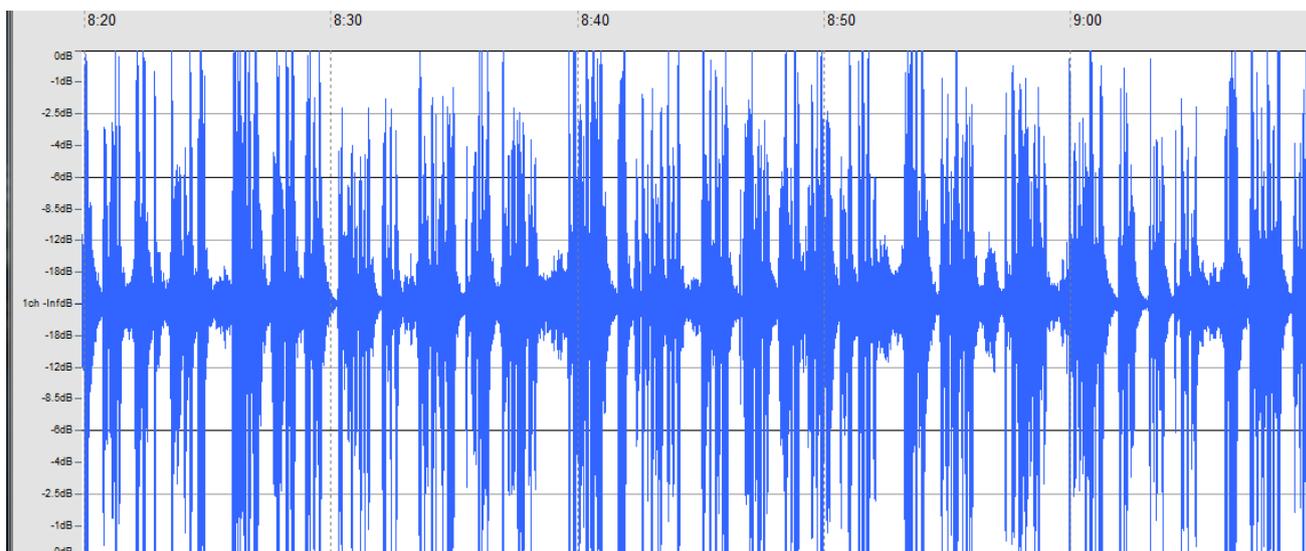
7:30~「政治が指導力を発揮せず、物事を先送りする」ことを「日本化する」と表現して、やゆする海外の
論調があります。
7:40~これまで積み上げてきた「国家の信用」が今、危機にひんしています。 私たちは、厳しい現実を
7:50~受け止めなければなりません。そして、克服しなければなりません。目の前の危機を乗り越え、国民

の生活を守り、

8:00~希望と誇りある日本を再生するために、今こそ、行政府も、立法府も、それぞれの役割を果たすべき時です。

8:10~（拍手）言うまでもなく、東日本大震災からの復旧・復興は、この内閣が

野田波形 11



8:20~取り組むべき最大、かつ最優先の課題です。これまでにも政府は、地元自治体とも協力して、

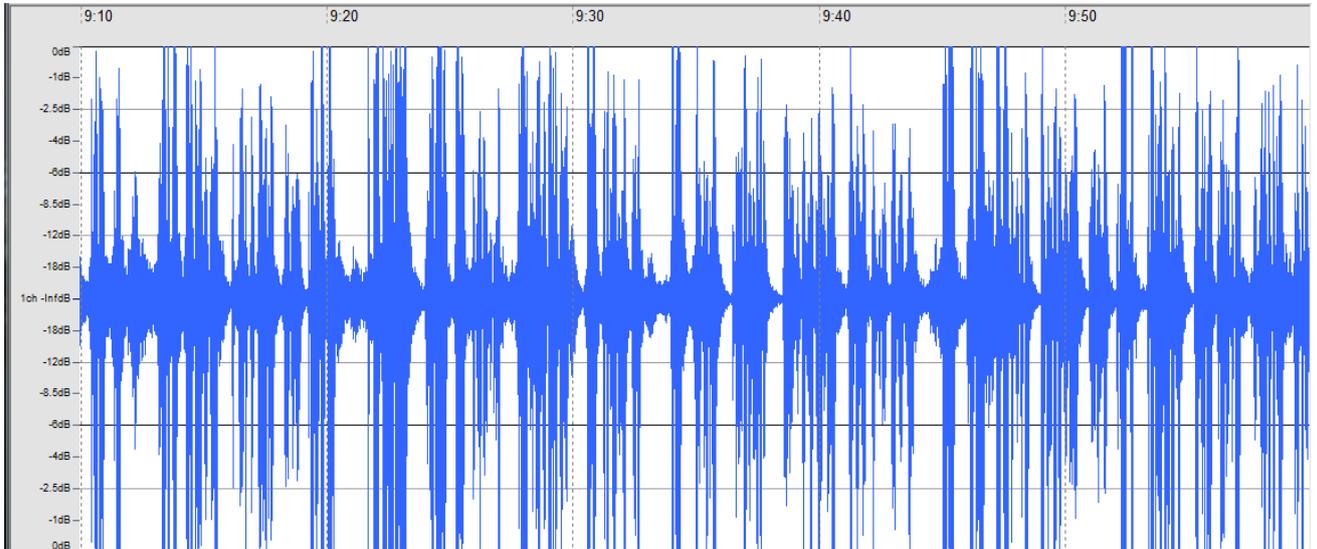
8:30~仮設住宅の建設、がれき撤去、被災者の生活支援などの復旧作業に全力を挙げてきました。発災当初

8:40~から比べれば、かなり進展してきていることも事実ですが、迅速さに欠け、必要な方々に支援の手が行き届いていない

8:50~という御指摘もいただいています。この内閣がなすべきことは明らかです。「復興基本方針」に基づき、一つ

9:00~ひとつの具体策を、着実に、確実に実行していくことです。そのために、第三次補正予算の準備作業を

野田波形 12



9:10~速やかに進めます。自治体にとって使い勝手のよい交付金や、復興特区制度なども早急に具体化して

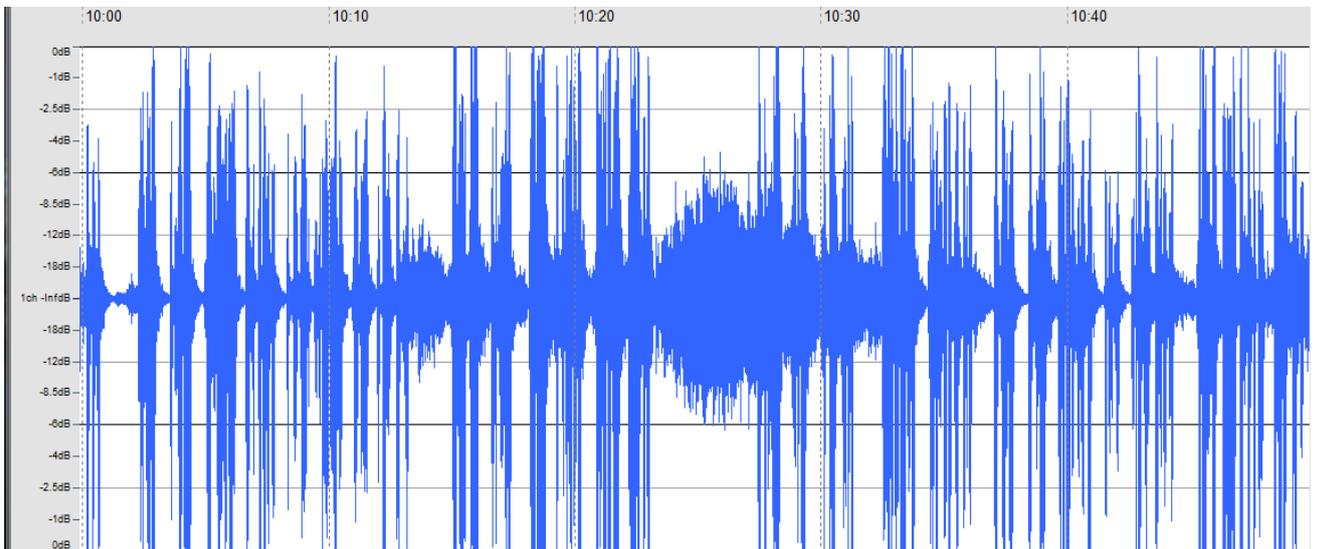
9:20~まいります。復旧・復興のための財源は、次の世代に負担を先送りすることなく、今を生きる世代全体で連帯し、

9:30~負担を分かち合うことが基本です。まずは、歳出の削減、国有財産の売却、公務員人件費の見

9:40~直しなどで財源を捻出する努力を行います。その上で、時限的な税制措置について、現下の経済状況

9:50~を十分に見極めつつ、具体的な税目や期間、年度ごとの規模などについての複数の選択肢を多角的に

野田波形 13



10:00~検討します。省庁の枠組みを超えて被災自治体の要望にワンストップで対応する「復興庁」を設置するための

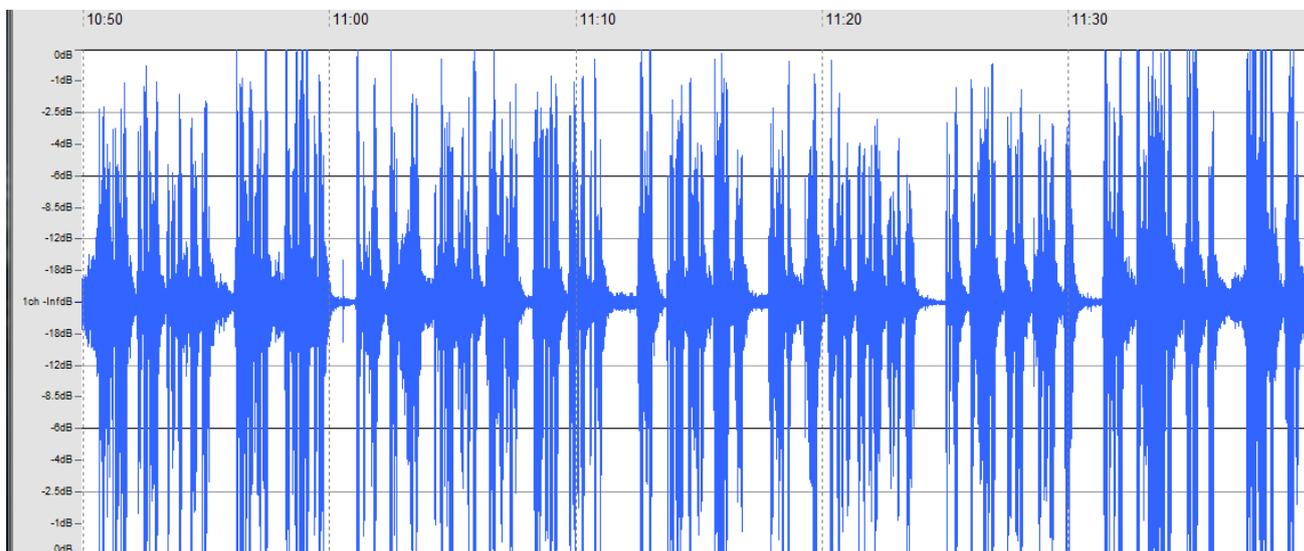
10:10~法案を早急に国会に提出します。被災地の復興を加速するため、与野党が一致協力して

10:20~対処いただくようお願いいたします。原発事故の収束は、

10:30~「国家の挑戦」です。**福島**の再生なくして、日本の信頼回復はありません。大気や土壌、海水への放射性

10:40~物質の放出を確実に食い止めることに全力を注ぎ、作業員の方々の安全確保に**最大限**努めつつ、

野田波形 14



10:50~事故収束に向けた工程表の着実な実現を図ります。**世界の英知を集め、技術的な課題も乗り越えます。**

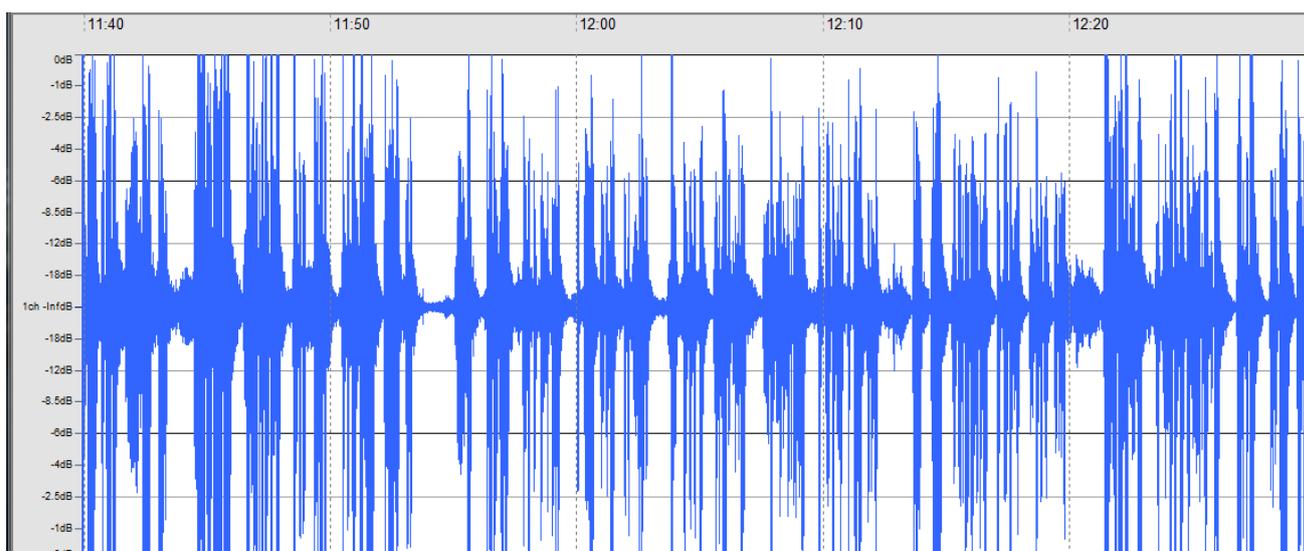
11:00~原発事故が再発することのないよう、国際的な視点に立って事故原因を究明し、情報公開と予防策

11:10~を徹底します。被害者の方々への賠償と仮払いも急務です。長期にわたって不自由な

11:20~避難生活を余儀なくされている住民の方々。家畜を断腸の思いで処分された畜産業者の方々。

11:30~農作物を廃棄しなければならなかった農家の方々。風評被害によって、故なく

野田波形 15



11:40~廃業に追い込まれた中小企業の方々。厳しい状況に置かれた被害者の方々に対して、迅速、公平か

つ

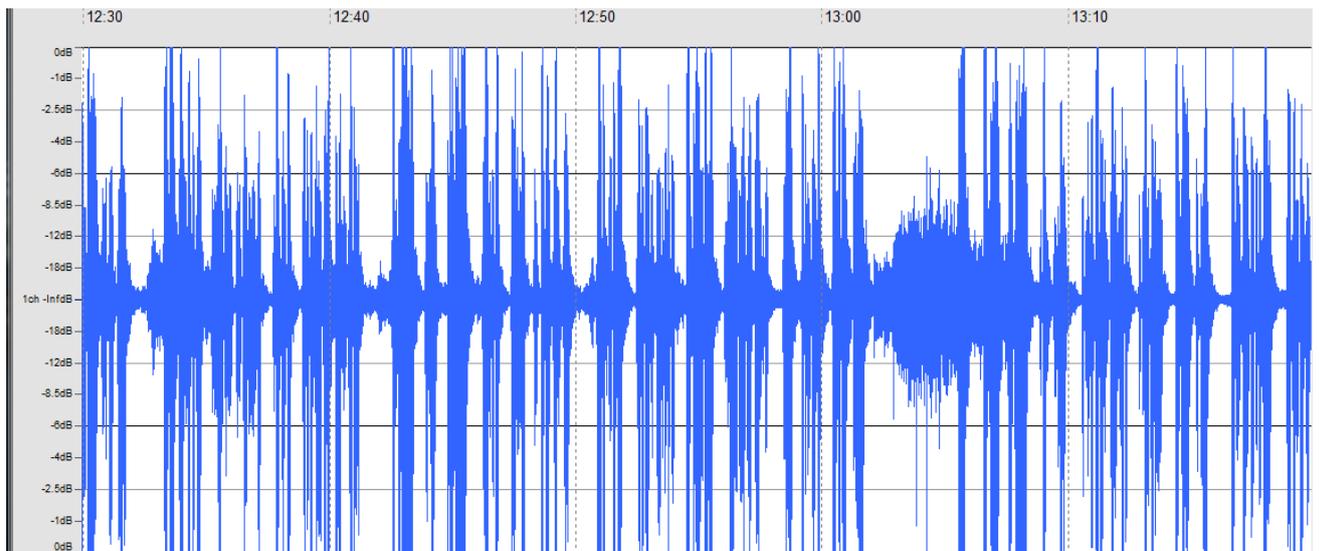
11:50~適切な賠償や仮払いを進めます。住民の方々の不安を取り除くとともに、

12:00~復興の取組を加速するためにも、既に飛散してしまった放射性物質の除去や周辺住民の方々の健

12:10~健康管理の徹底が欠かせません。特に、子どもや妊婦の方を対象とした健康管理に優先的に取り組みます。

12:20~毎日の暮らしで口にする食品の安全・安心を確立するため、農作物や牛肉等の検査体制の

野田波形 16



12:30~更なる充実を図ります。福島第一原発の周辺地域を中心に、依然として放射線量の

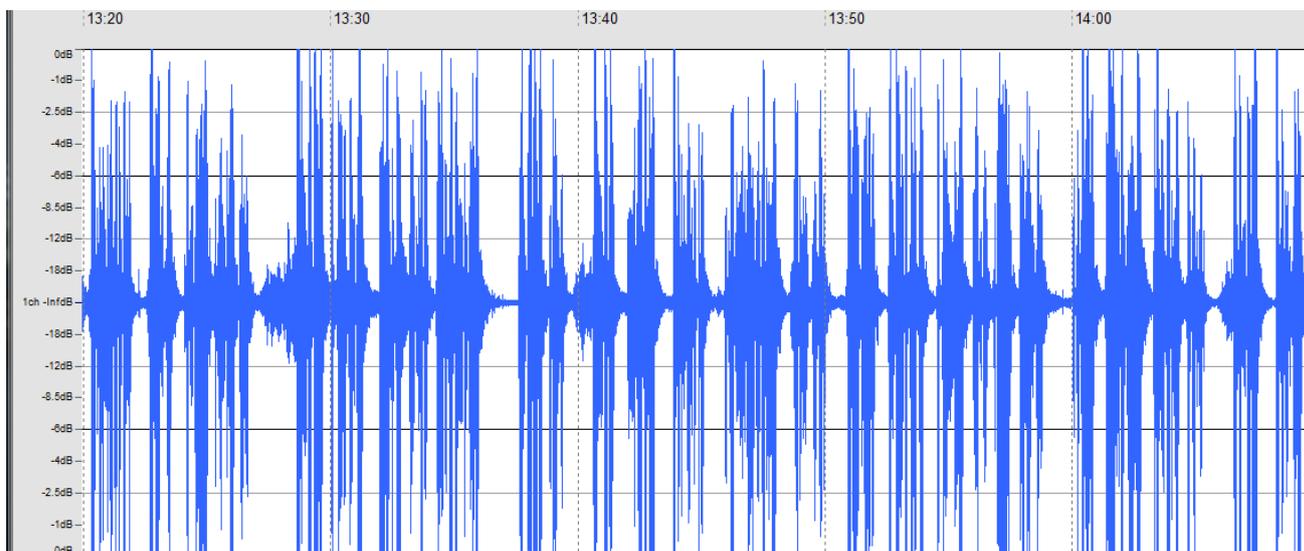
12:40~大変高い地域があります。先祖代々の土地を離れざるを得ない無念さと悲しみをしっかりと胸に刻み、

12:50~生活空間にある放射性物質を取り除く大規模な除染を、自治体の協力も仰ぎつつ、国の責任として（拍手）

13:00~全力で取り組みます。また、大規模な自然災害や事件・事故など

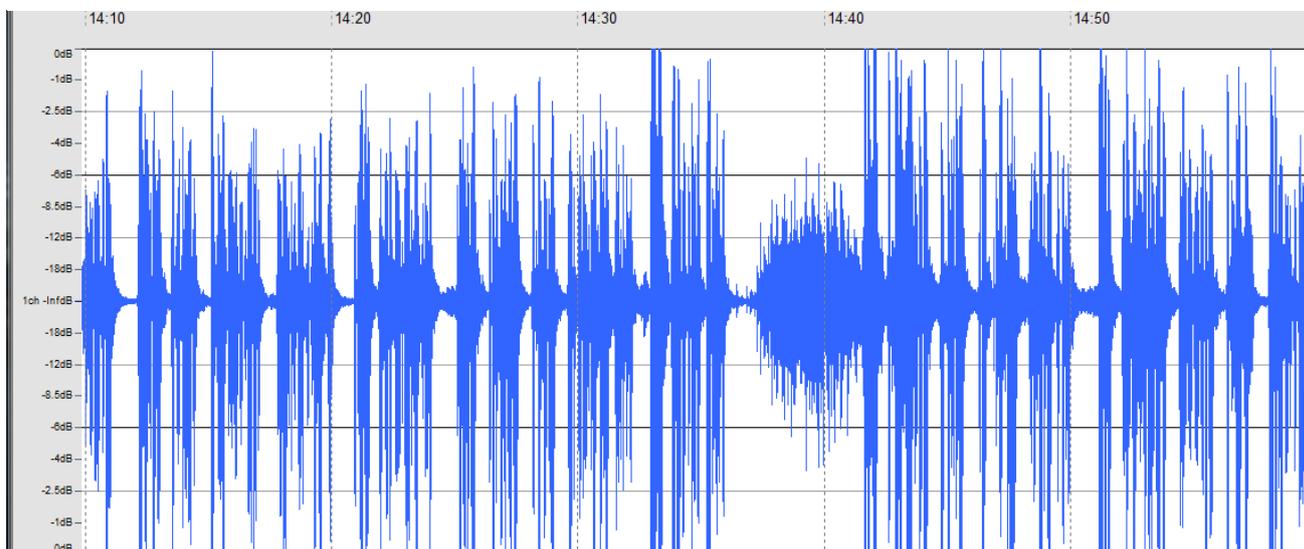
13:10~国民の生命・身体を脅かす危機への対応に万全を期すとともに、大震災の教訓も踏まえて、防災に関する

野田波形 17



13:20~政府の取組を再点検し、災害に強い持続可能な国土づくりを目指します。大震災からの
13:30~復旧・復興に加え、この内閣が取り組むべき、もう一つの最優先課題は、日本経済の建て直しです。
13:40~大震災以降、急激な円高、電力需給のひっ迫、国際金融市場の不安定化などが複合的に生じて
13:50~います。産業の空洞化と財政の悪化によって、「国家の信用」が大きく損なわれる瀬戸際にあります。

野田波形 18



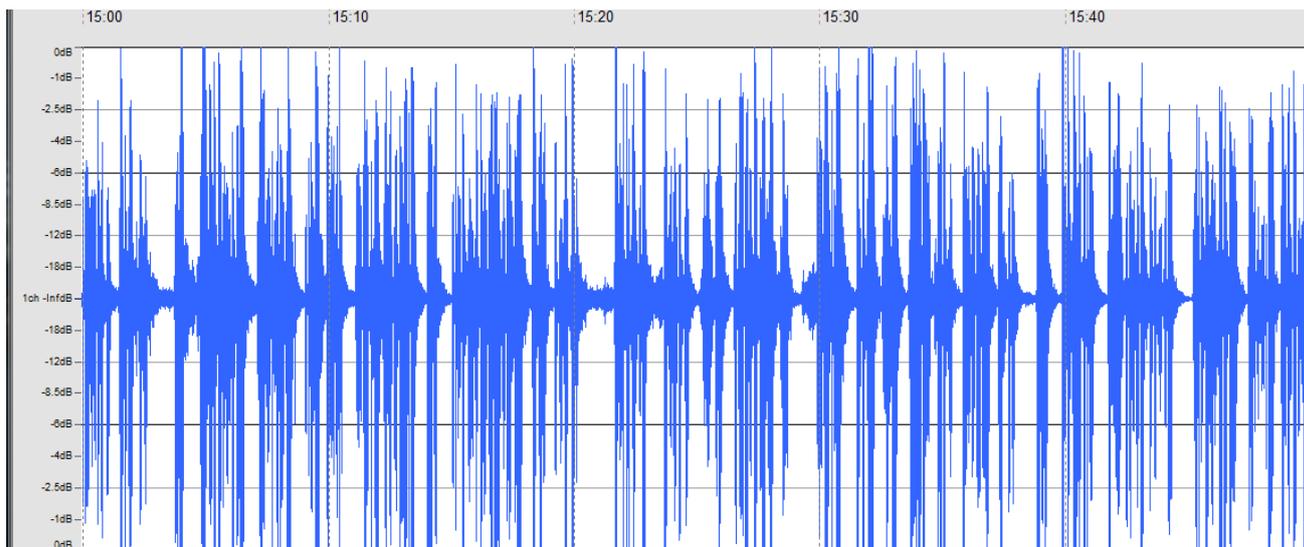
14:00~日本経済の建て直しの第一歩となるのは、エネルギー政策の再構築です。原発事故を受けて、電力
の需給がひっ迫する
14:10~状況が続いています。経済社会の「血液」とも言うべき電気の安定的な供給がなければ、豊かな国
民生活の基盤が揺るぎ、
14:20~国内での産業活動を支えることができません。 今年の夏は、国民の皆様による節電のお陰で、計
画停電を

14:30~行う事態には至りませんでした。多大な御理解と御協力、ありがとうございました。(拍手)

14:40~「我慢の節電」を強いられる状況から脱却できるよう、ここ一、二年にかけての需給対策を実行します。

14:50~同時に、二〇三〇年までをにらんだエネルギー基本計画を白紙から見直し、来年の夏を目途に、新しい

野田波形 19



15:00~戦略と計画を打ち出します。その際、エネルギー安全保障の観点や、費用分析などを踏まえ、国民が安心できる

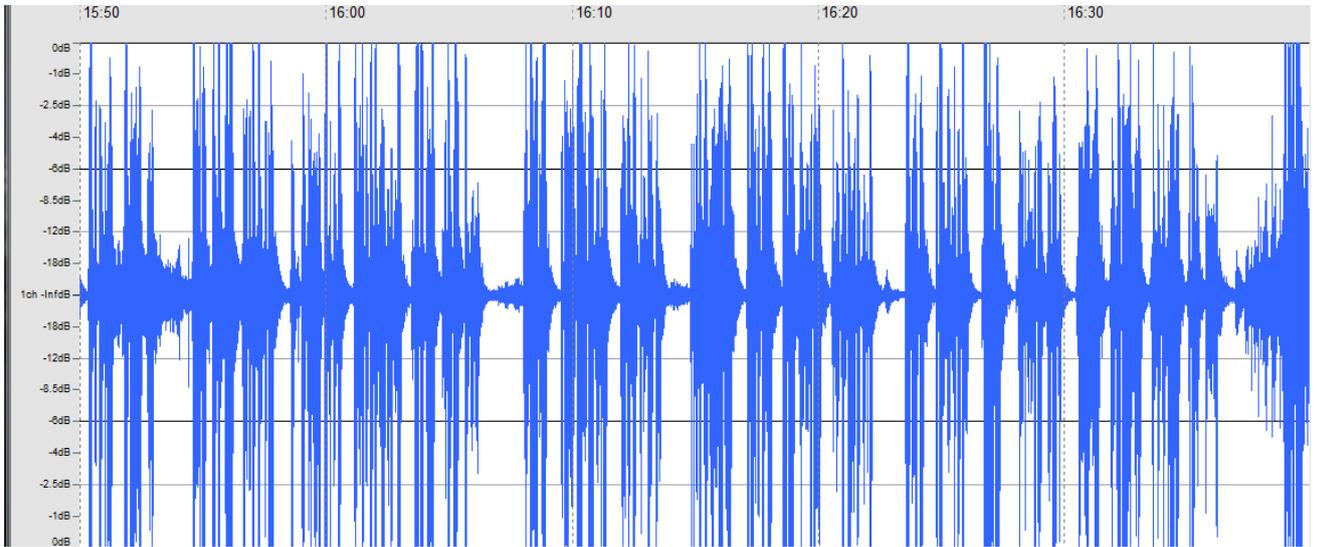
15:10~中長期的なエネルギー構成の在り方を、幅広く国民各層の御意見を伺いながら、冷静に検討してまいります。

15:20~原子力発電について、「脱原発」と「推進」という二項対立で捉えるのは不毛です。中長期

15:30~的には、原発への依存度を可能な限り引き下げていく、という方向性を目指すべきです。同時に、安全性を

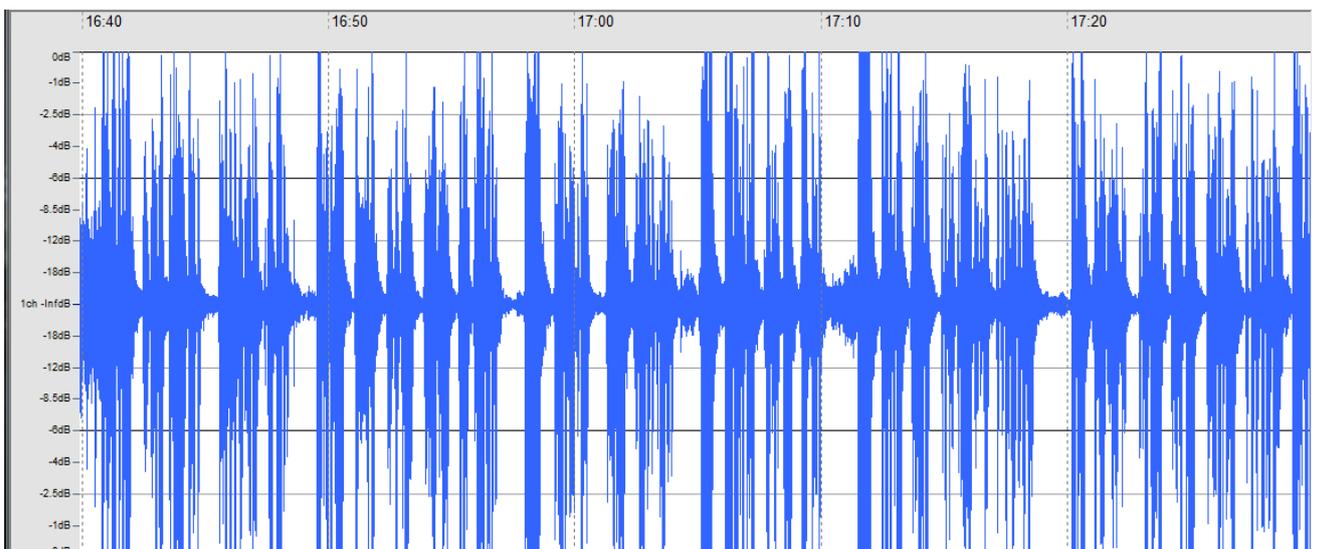
15:40~徹底的に検証・確認された原発については、地元自治体との信頼関係を構築することを大前提として、

野田波形 20



15:50~定期検査後の再稼働を進めます。原子力安全規制の組織体制については、環境省の外局として、
16:00~「原子力安全庁」を創設して規制体系の一元化を断行します。人類の歴史は、新しいエネルギー
16:10~開発に向けた挑戦の歴史でもあります。化石燃料に乏しい我が国は、世界に率先して、新たなエネルギー社会を
16:20~築いていかなければなりません。我が国の誇る高い技術力をいかし、規制改革や普及促進策を組み合わせ、
16:30~省エネルギーや再生可能エネルギーの最先端のモデルを世界に発信します。(拍手) 歴史的な

野田波形 21



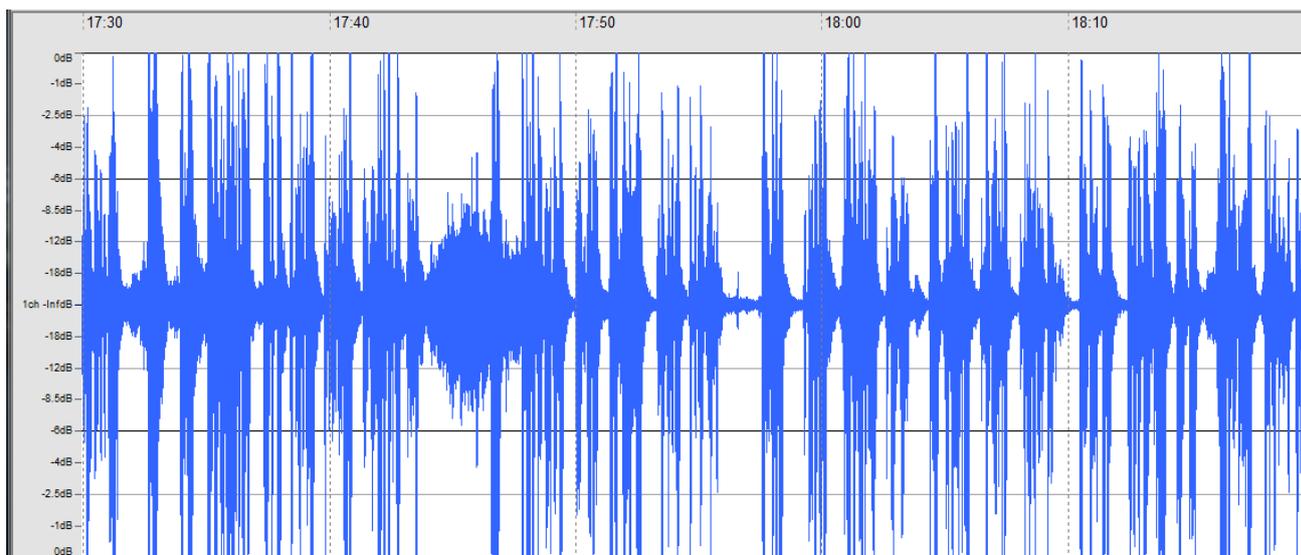
16:40~水準の円高は、新興国の追い上げなどあいまって、空前の産業空洞化の危機を招いています。我が国の
16:50~産業をけん引してきた輸出企業や中小企業が正に悲鳴を上げています。このままでは、国内産業が

17:00~衰退し、雇用の場が失われていくおそれがあります。そうなれば、デフレからの脱却も、被災地の復興もままなりません。

17:10~欧米やアジア各国は、国を挙げて自国に企業を誘致する立地競争を展開しています。

17:20~我が国が産業の空洞化を防ぎ、国内雇用を維持していくためには、金融政策を行う日本銀行と連携し、あらゆる

野田波形 22



17:30~政策手段を講じていく必要があります。まずは、予備費や第三次補正予算を活用し、思い切って立地補助金を

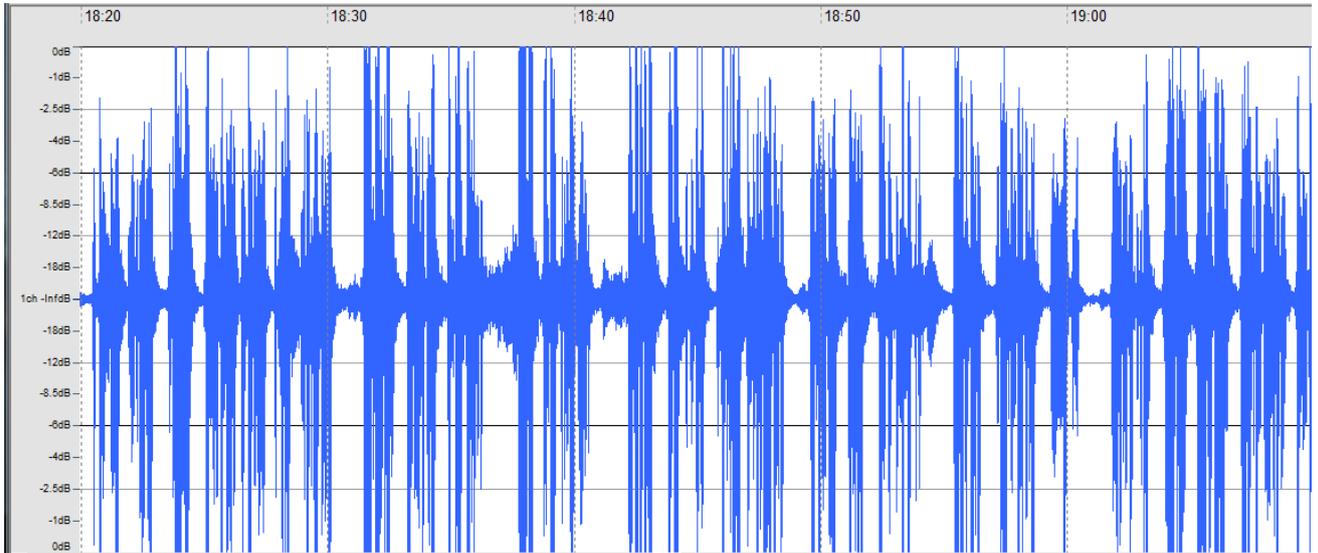
17:40~拡充するなどの緊急経済対策を実施します。(拍手) さらに、円高メリットを活用して、

17:50~日本企業による海外企業の買収や資源権益の獲得を支援します。大震災前から、日本の財政は、

18:00~国の歳入の半分を国債に依存し、国の総債務残高は一千兆円に迫る危機的な状況にありました。

18:10~大震災の発生により、こうした財政の危機レベルは更に高まり、主要先進国の中で最悪の水準にあります。

野田波形 23



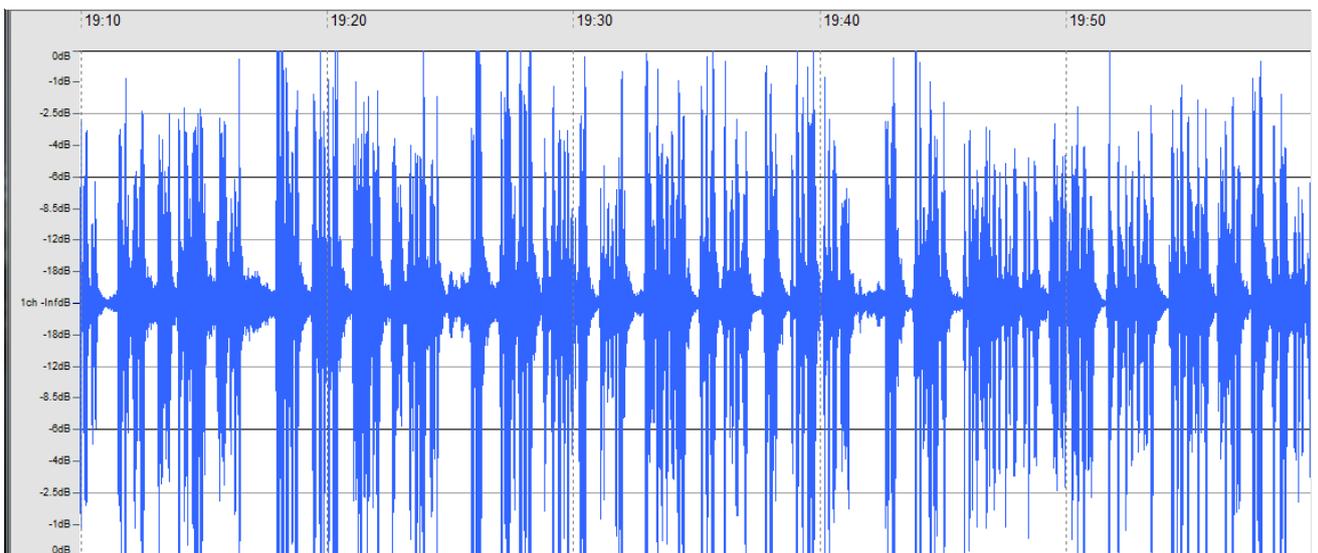
18:20~「国家の信用」が厳しく問われる今、「雪だるま」のように、債務が債務を呼ぶ財政運営をいつまでも続けることはできません。

18:30~声なき未来の世代に、これ以上の借金を押し付けてよいのでしょうか。今を生きる政治家の責任が問われています。

18:40~財政再建は決して一直線に実現できるような単純な問題ではありません。政治

18:50~と行政が襟を正す歳出削減の道。経済活性化と豊かな国民生活がもたらす

野田波形 24



19:00~増収の道。そうした努力を尽くすとともに、将来世代に迷惑をかけないために更なる国民負担をお願いする歳入

19:10~改革の道。こうした三つの道を同時に展望しながら歩む、厳しい道のりです。経済成長と

19:20~財政健全化は、車の両輪として同時に進めていかなければなりません。そのため、昨年策定された

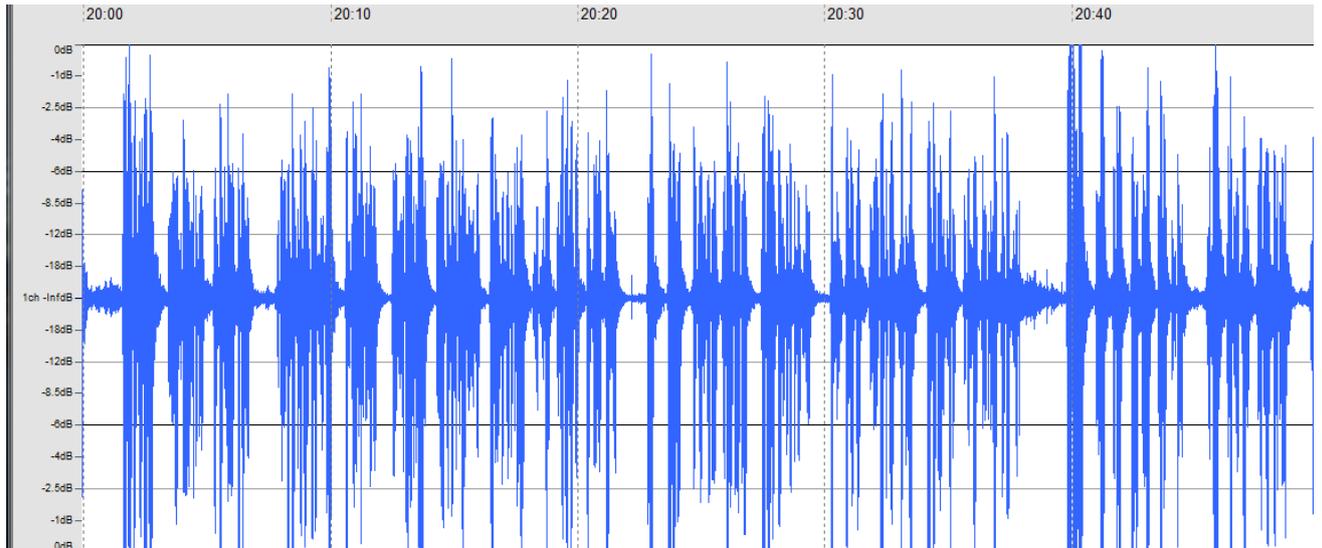
「新成長戦略」

19:30~の実現を加速するとともに、大震災後の状況を踏まえた戦略の再強化を行い、年内に日本再生の

19:40~戦略をまとめます。こうした戦略の具体化も含め、国家として重要な政策を統括する司令塔の

19:50~機能を担うため、産官学の英知を集め、既存の会議体を集約して、私が主宰する新たな会議体を創設します。

野田波形 25



20:00~経済成長を担うのは、中小企業を始めとする民間企業の活力です。地球温暖化問題の解決にもつながる

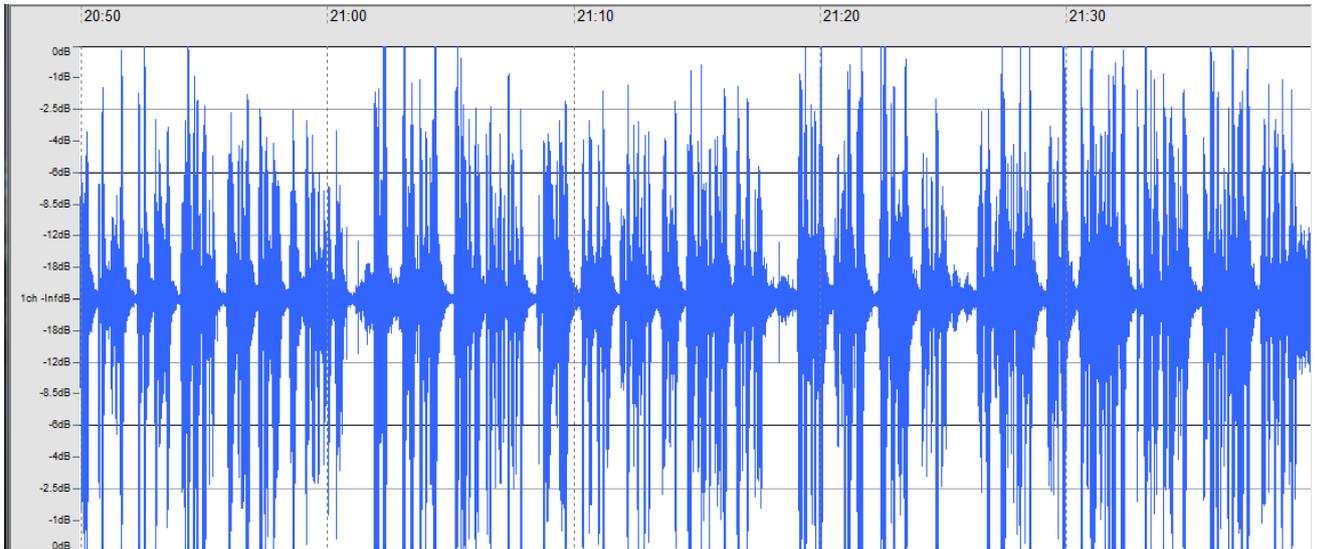
20:10~環境エネルギー分野、長寿社会で求められる医療関連の分野を中心に、新たな産業と雇用が次々と生み出されていく

20:20~環境を整備します。また、海外の成長市場とのつながりを深めるため、経済連携の戦略的な推進、

20:30~官民一体となった市場開拓を進めるとともに、海外からの知恵と資金の呼び込みも強化します。

20:40~「農業は国の本なり」との発想は、今も生きています。食は、いのちをつなぎ、いのちを育みます。

野田波形 26



20:50~消費者から高い水準の安全・安心を求められるからこそ、農林漁業は、新たな時代を担う

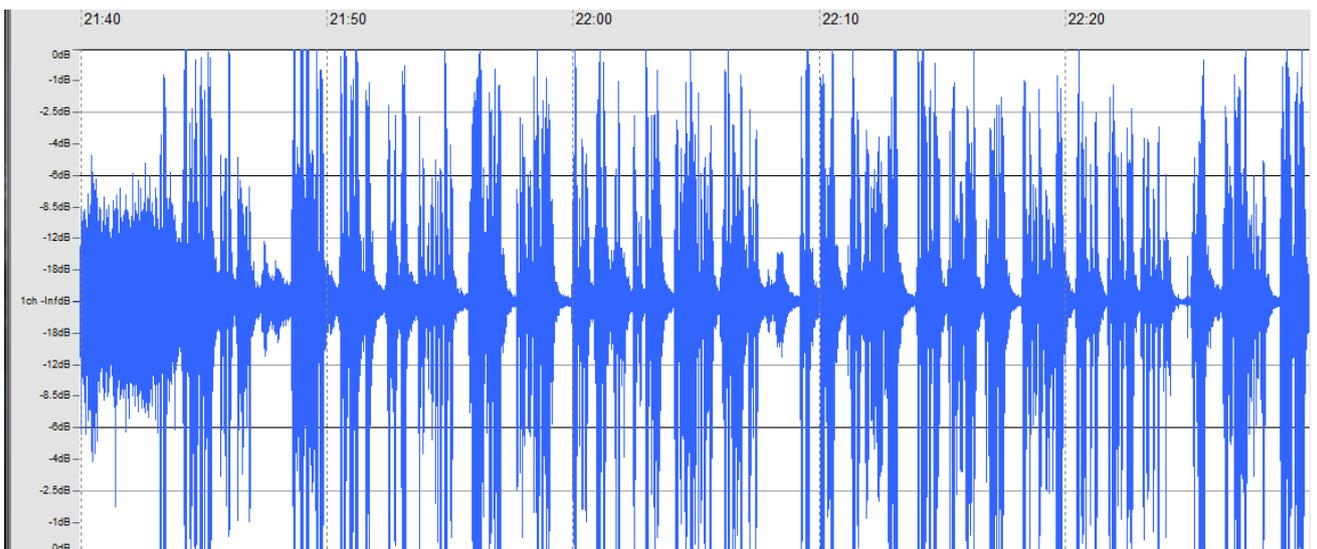
21:00~成長産業となりえます。東北の被災地の基幹産業である農業の再生を図ることを突破口として、「食と農林漁業の再

21:10~生実現会議」の中間提言に沿って、早急に農林漁業の再生のための具体策をまとめます。 農山漁村の

21:20~地域社会を支える社会基盤の柱に郵便局があります。地域の絆を結ぶ拠点として、郵便局が

21:30~三事業の基本的なサービスを一体的に提供できるよう、郵政改革関連法案の早期成立を図ります。

野田波形 27



21:40~また、地域主権改革を引き続き推進します。東日本大震災と

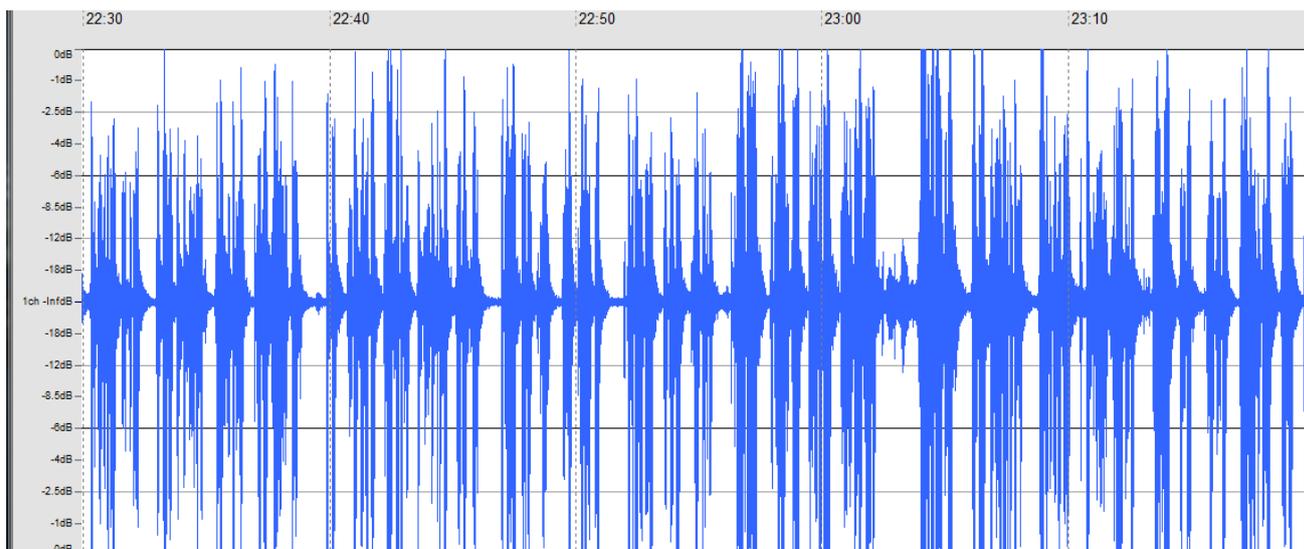
21:50~世界経済危機という「二つの危機」を克服することと併せ、将来への希望にあふれ、国民一人ひとりが誇りを持ち、

22:00~「この国に生まれてよかった」と実感できるよう、この国の未来に向けた投資を進めていかなければなりません。かつて

22:10~我が国は「一億総中流」の国と呼ばれ、世界に冠たる社会保障制度にも支えられながら、分厚い中間層の存在が

22:20~経済発展と社会の安定の基礎となってきました。しかしながら、少子高齢化が急速に進み、これまでの雇用や

野田波形 28



22:30~家族の在り方が大きく変わり、「人生の安全網」であるべき社会保障制度にも綻びが見られるようになりました。

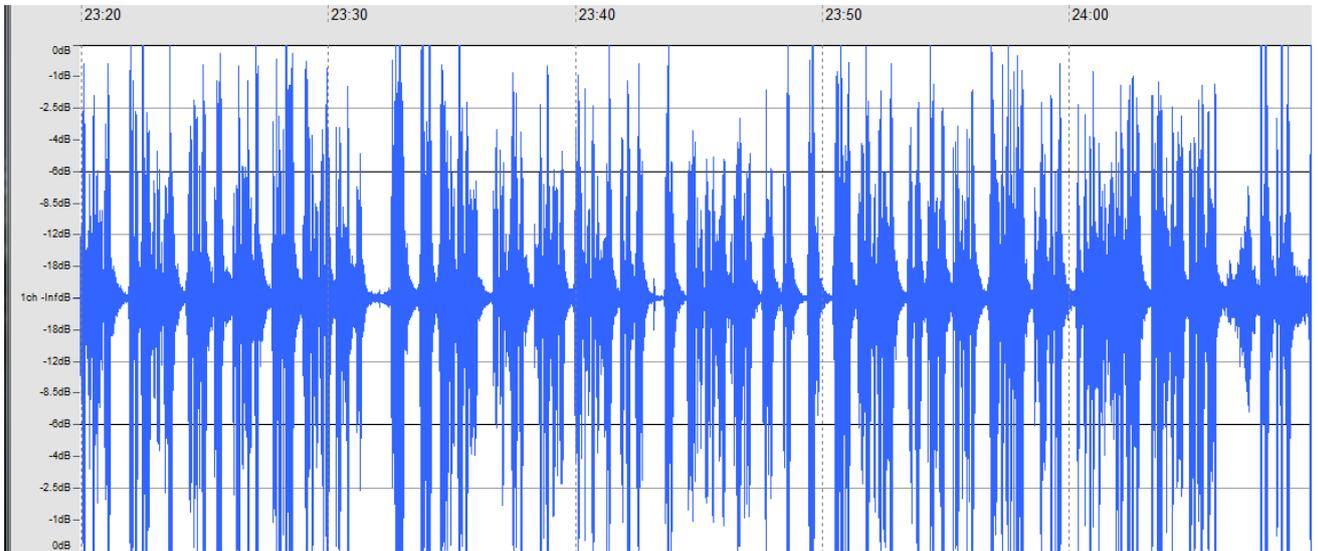
22:40~かつて中間層にあって、今は生活に困窮している人たちも増加しています。諦めはやがて、失望に、そして

22:50~怒りへと変わり、日本社会の安定が根底から崩れかねません。「失望や怒り」ではなく、「温もり」ある日本を取り戻さなければ、

23:00~希望」と「誇り」は生まれません。社会保障制度については、「全世代対応型」へと転換し、世代間の公平性を

23:10~**実感できるもの**にしなければなりません。具体的には、民主党、自由民主党、公明党の三党が合意した

野田波形 29



23:20~子どもに対する手当の支給や、幼保一体化の仕組みづくりなど、総合的な子ども・子育て支援を進め、若者世代への支援策の

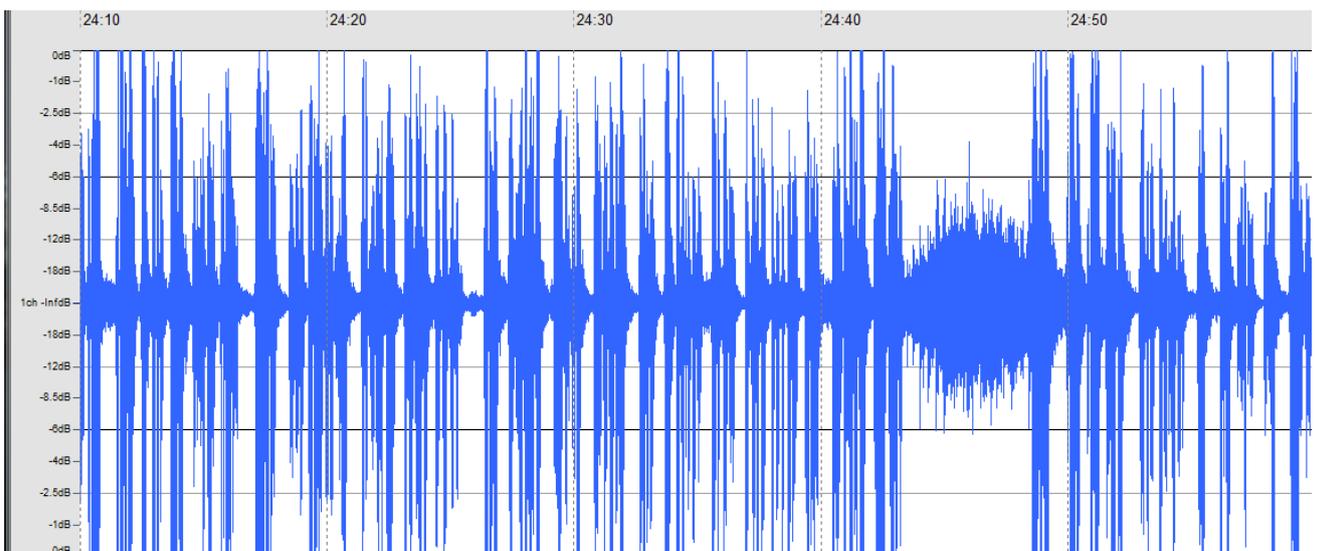
23:30~強化を図ることが必要です。医療や介護の制度面での不安を解消し、地域の実情に応じた、質の高いサービスを

23:40~効率的に提供することも大きな課題です。さらに、労働力人口の減少が見込まれる中で、若者、女性、高齢者、

23:50~障害者の就業率の向上を図り、意欲ある全ての人が働くことができる「全員参加型社会」の実現を進めるとともに、

24:00~貧困の連鎖に陥る者が生まれぬよう確かな安全網を張らなければなりません。本年六月に

野田波形 30



24:10~政府・与党の「社会保障・税一体改革成案」が熟議の末にまとめられました。これを土台とし、真

撃に与野党での

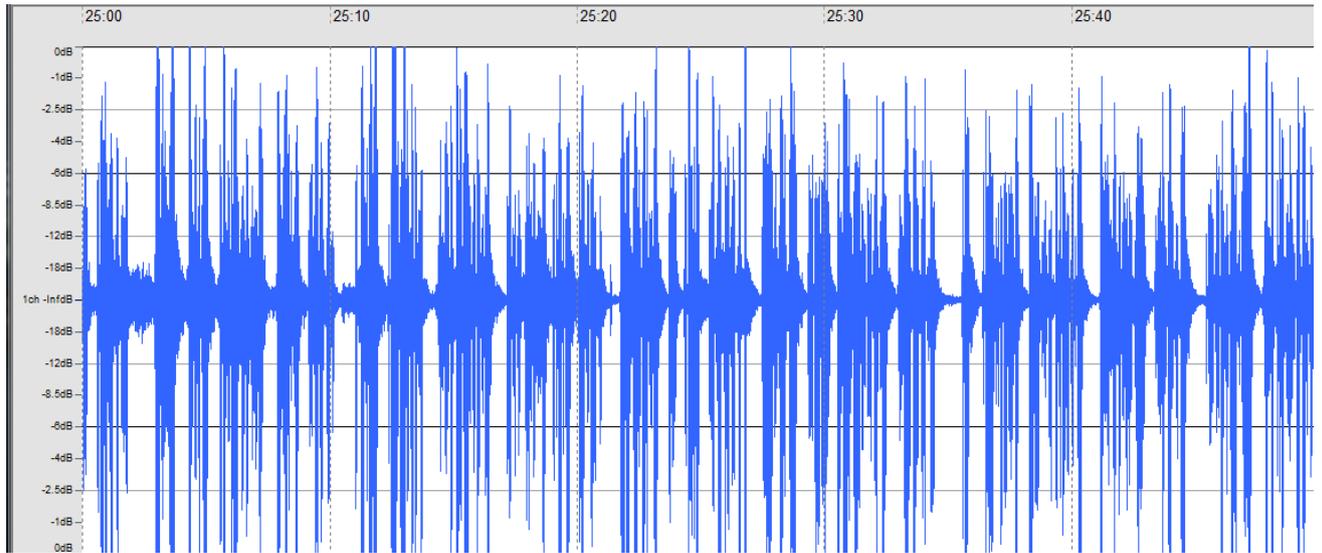
24:20~協議を積み重ね、次期通常国会への関連法案の提出を目指します。与野党が胸襟を開いて話し合い、
法案成立に

24:30~向け合意形成できるよう、社会保障・税一体改革に関する政策協議に各党・各会派の皆様

24:40~御参加いただきますよう、心よりお願いいたします。(拍手) 日本人が

24:50~「希望」と「誇り」を取り戻すために、もう一つ大事なことがあります。それは、決して「内向き」
に陥らず、世界に

野田波形 31



25:00~雄飛する志を抱くことです。明治維新以来、先人たちは、果敢に世界に挑戦することにより、繁栄
の道を切り拓いてきました。

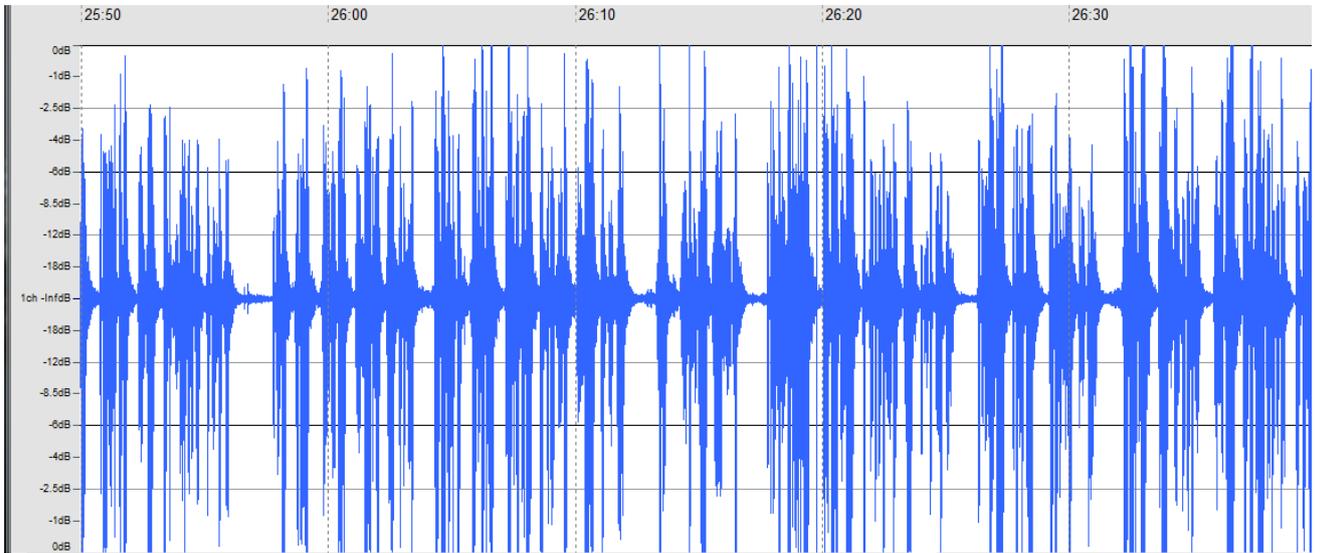
25:10~国際社会の抱える課題を解決し、人類全体の未来に貢献するために、私たち日本人にしかできない
ことが

25:20~必ずあるはずで。新たな時代の開拓者たらん、という若者の大きな志を引き出すべく、グローバ
ル人材の育成や

25:30~自ら学び考える力を育む教育など人材の開発を進めます。また、豊かなふるさとを目指した新たな
地域発展

25:40~モデルの構築や、海洋資源の宝庫と言われる周辺海域の開発、宇宙空間の開発・利用の戦略的な推
進体制の構築など、

野田波形 32



25:50~新しい日本のフロンティアを開拓するための方策を検討していきます。*国民の皆様*の政治・

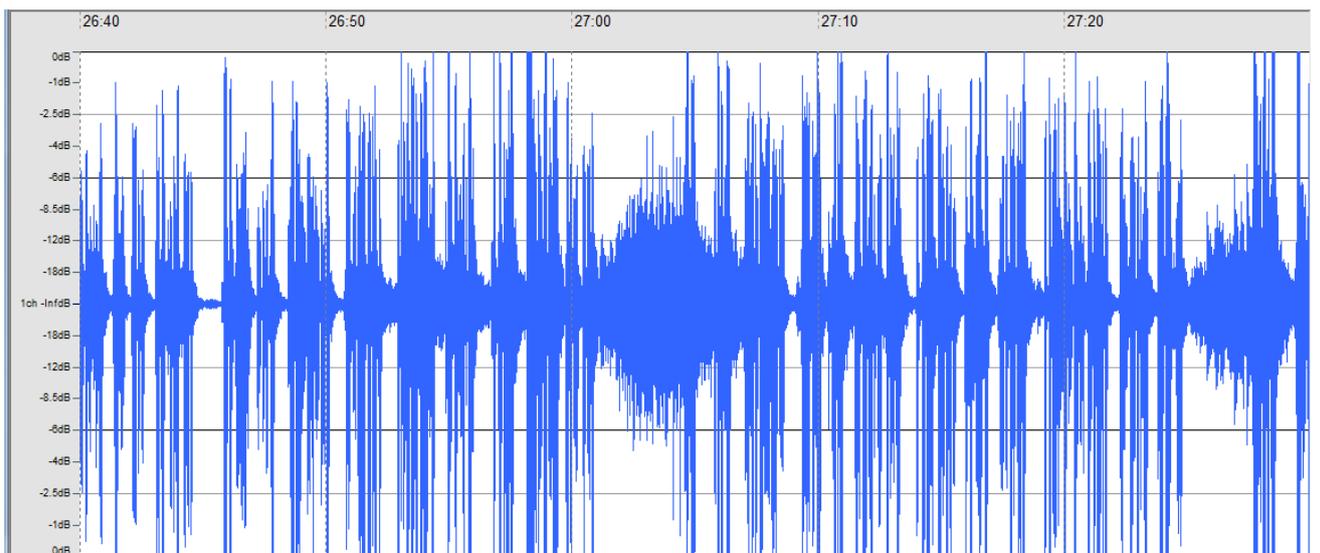
26:00~行政への信頼なくして、*国は成り立ちません*。行政改革と政治改革の具体的な成果を出すことを通じて、

26:10~**信頼の回復に努めます**。既に、終戦直後の昭和二十一年、「国民の信頼を高めるため、

26:20~行政の運営を徹底的に刷新する」旨の閣議決定がありました。六十年以上を経たにもかかわらず、行政刷新は

26:30~道半ばです。行政に含まれる無駄や非効率を根絶し、**真に必要な行政機能の強化に取り組む**。こうした

野田波形 33



26:40~行政刷新は、不断に継続・強化しなければなりません。政権交代後に取り組んできた「仕分け」の手法を深化させ、

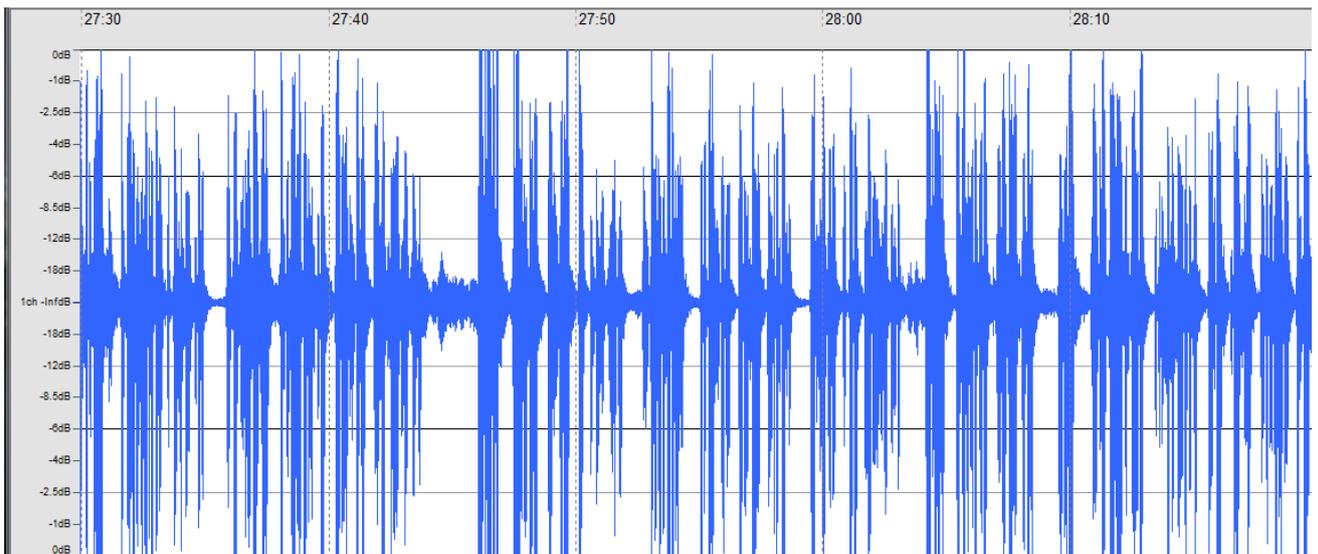
26:50~政府・与党が一体となって「国民の生活が第一」の原点に立ち返り、既得権と戦い、あらゆる行政分野の

27:00~改革に取り組みます。真に国民の奉仕者として能力を発揮し、効率的で

27:10~質の高い行政サービスを実現できるよう、国家公務員制度改革関連法案の早期成立を図り、国家公務員の

27:20~人件費削減と併せて、公務員制度改革の具体化を進めます。政治改革で最優先

野田波形 34



27:30~すべき課題は、憲法違反の状態となっている一票の較差の是正です。議員定数の問題を含めた選挙制度の在り方について

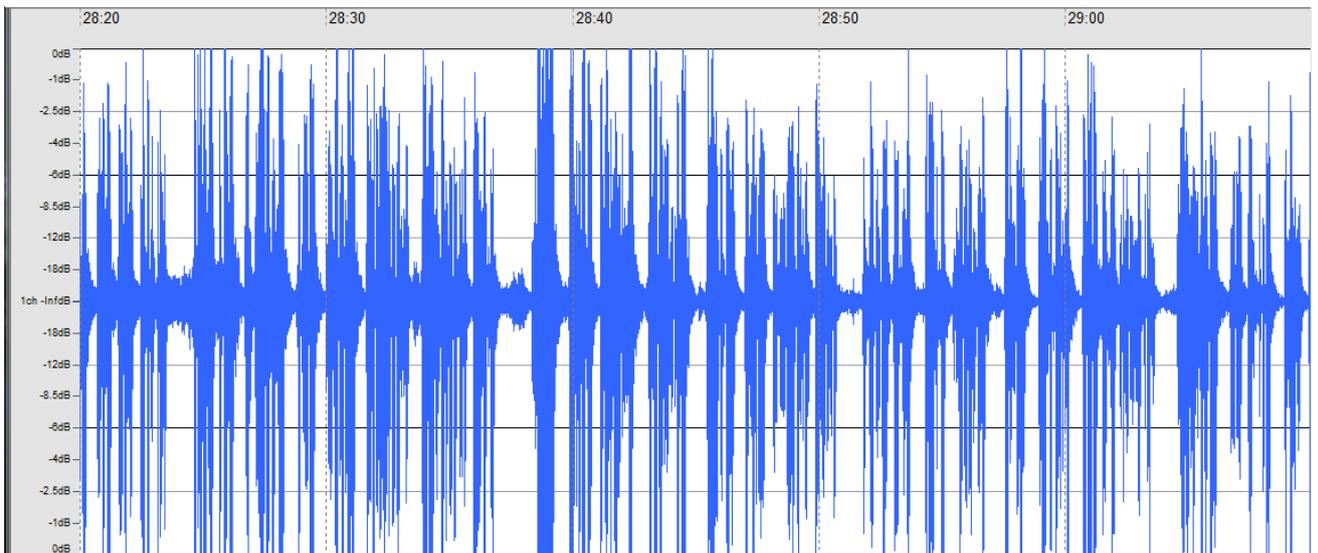
27:40~与野党で真剣な議論が行われることを期待します。我が国を取り巻く世界の情勢は、大震災後も、

27:50~日々、変動し続けています。新興国の存在感が増し、多極化が進行する新たな時代の呼び掛けに対して、我が国の

28:00~外交もしっかりと応えていかなければなりません。我が国を取り巻く安全保障環境も不透明性を増しています。そうした中で、

28:10~地域の平和や安定を図り、国民の安全を確保すべく、平時からいかなる危機にも迅速に対応する体制をつくることは、

野田波形 35



28:20~国として当然に果たすべき責務です。昨年末に策定した「新防衛大綱」に従い、即応性、

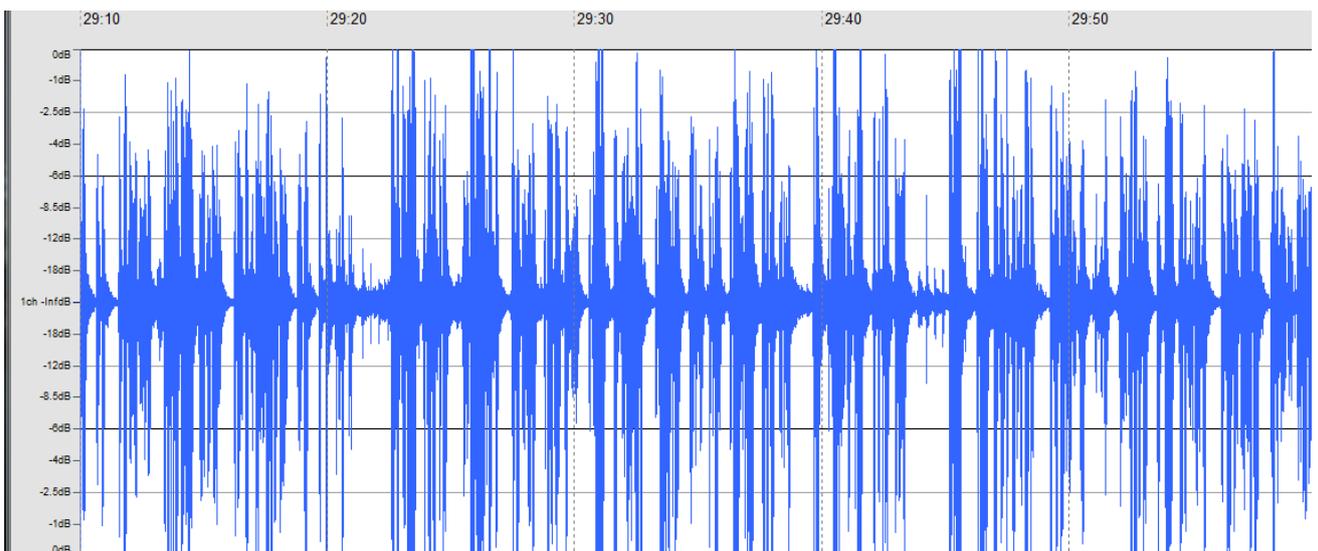
28:30~機動性等を備えた動的防衛力を構築し、新たな安全保障環境に対応していきます。日米同盟は、我が国の

28:40~外交・安全保障の基軸であり、アジア太平洋地域のみならず、世界の安定と繁栄のための公共財であることに変わり

28:50~はありません。半世紀を越える長きにわたり深められてきた日米同盟関係は、大震災での「トモダチ作戦」を始め、

29:00~改めてその意義を確認することができました。首脳同士の信頼関係を早期に構築するとともに、安全保障、経済、

野田波形 36



29:10~文化、人材交流を中心に、様々なレベルでの協力を強化し、二十一世紀にふさわしい同盟関係に深化・発展

29:20~させていただきます。普天間飛行場の移設問題については、日米合意を踏まえつつ、普天間飛行場の

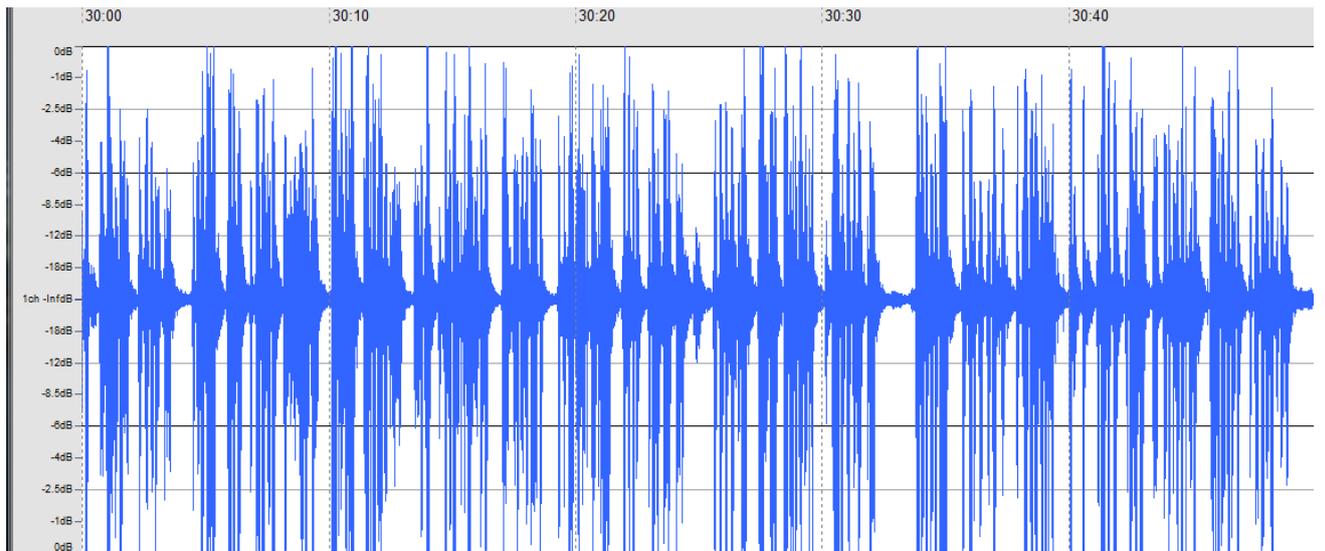
固定化を回避し

29:30~沖縄の負担軽減を図るべく、沖縄の皆様に誠実に説明し理解を求めながら、全力で取り組みます。

29:40~また、沖縄の振興についても、積極的に取り組みます。今後とも世界の成長センターとして期待できるアジア

29:50~太平洋地域とは、引き続き、政治・経済面での関係を強化することはもちろん、文化面での交流も深め、同じ地域に生きる者同士として

野田波形 37



30:00~信頼を醸成し、関係強化に努めます。日中関係では、来年の国交正常化四十周年を見据えて、

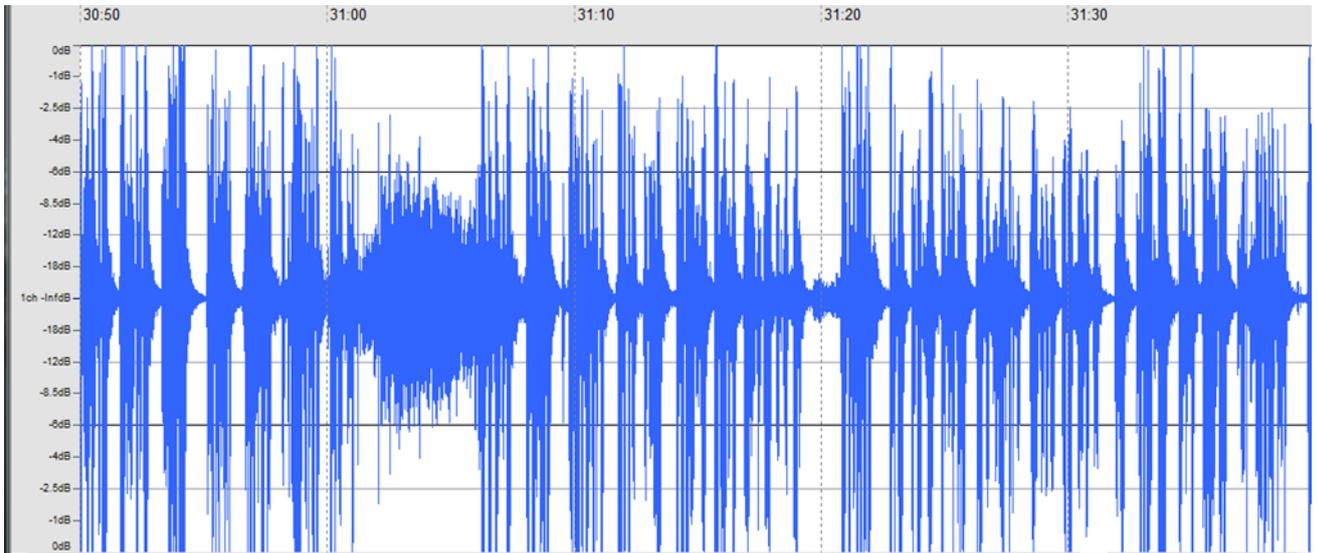
30:10~幅広い分野で具体的な協力を推進し、中国が国際社会の責任ある一員として、より一層の透明性を持って適切な

31:20~役割を果たすよう求めながら、戦略的互惠関係を深めます。日韓関係については、未来志向の新たな百年に向けて、

31:30~一層の関係強化を図ります。北朝鮮との関係では、関係国と連携しつつ、日朝平壤宣言に基づき、

31:40~拉致、核、ミサイルといった諸懸案の包括的な解決を図り、不幸な過去を清算して、国交正常化を追求します。

野田波形 38



30:50~拉致問題については、我が国の主権に関わる重大な問題であり、国の責任において、全ての拉致被害者の一刻も早い帰国に向けて

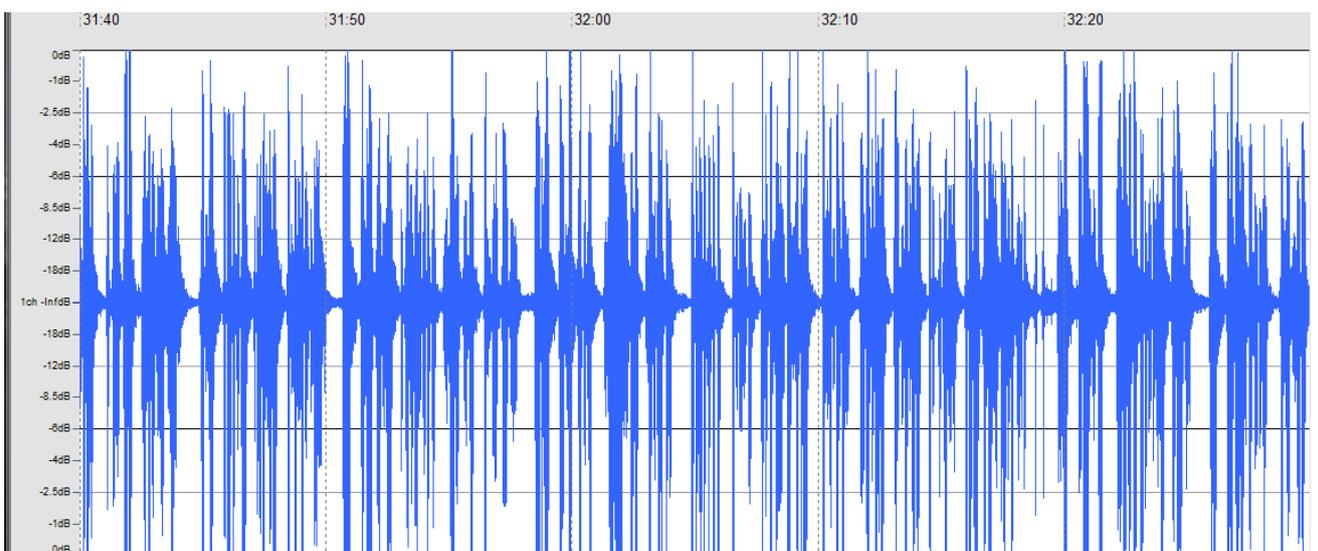
31:00~全力を尽くします。（拍手） 日露関係については、最大の懸案である北方

31:10~領土問題を解決すべく精力的に取り組むとともに、アジア太平洋地域のパートナーとしてふさわしい関係の構築に努めます。

31:20~多極化する世界において、各国との確かな絆を育んでいくためには、世界共通の課題の解決に共に挑戦する

31:30~大きな志が必要です。こうした「志ある絆」の輪を、官民の様々な主体が複層的に広げていかなければなりません。

野田波形 39



31:40~大震災からの復旧・復興も、そうした取組の一例です。被災地には、世界各国から温かい支援が数

限りなく寄せられました。

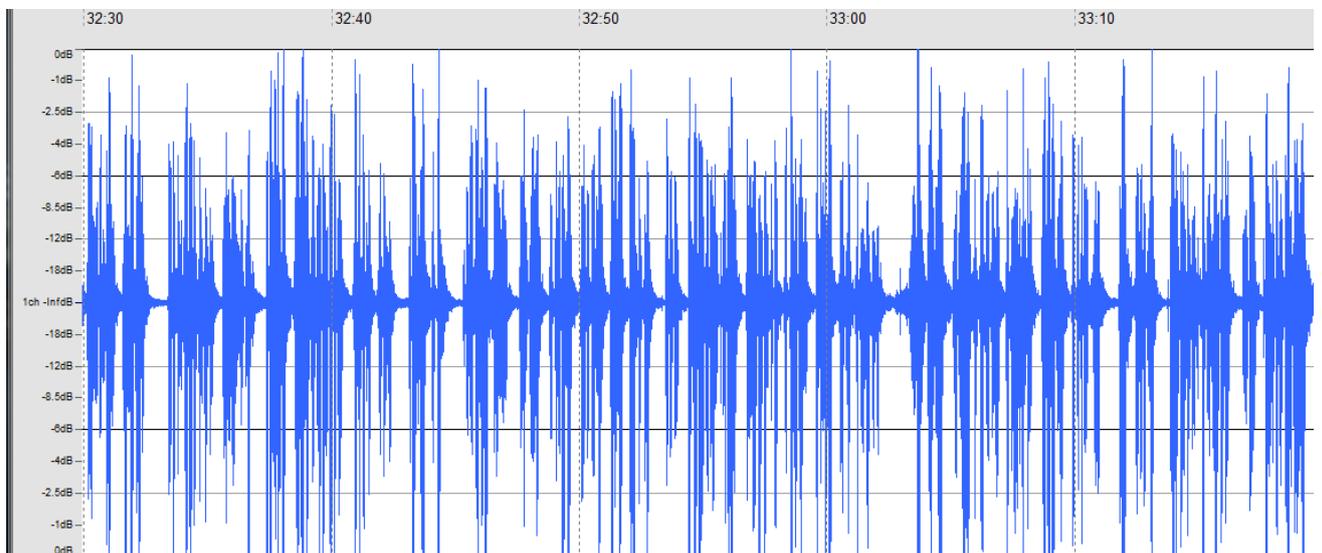
31:50~これは、戦後の我が国による国際社会への貢献と信頼の大きな果実とも言えるものです。我が国は、唯一の

32:00~「被爆国」であり、未曾有の大震災の「被災国」でもあります。各国の先頭に立って核軍縮・核不拡散を訴え続けるとともに、

32:10~原子力安全や防災分野における教訓や知見を他国と共有し、世界への「恩返し」をしていかなければなりません。国と

32:20~国との結びつきを**経済面で強化する取組が「経済連携」**です。これは、世界経済の成長を取り込み、産業空洞化を

野田波形 40



32:30~防止していくためにも欠かせない課題です。「包括的経済連携に関する基本方針」に基づき、高いレベルの経済連携協定の締結を

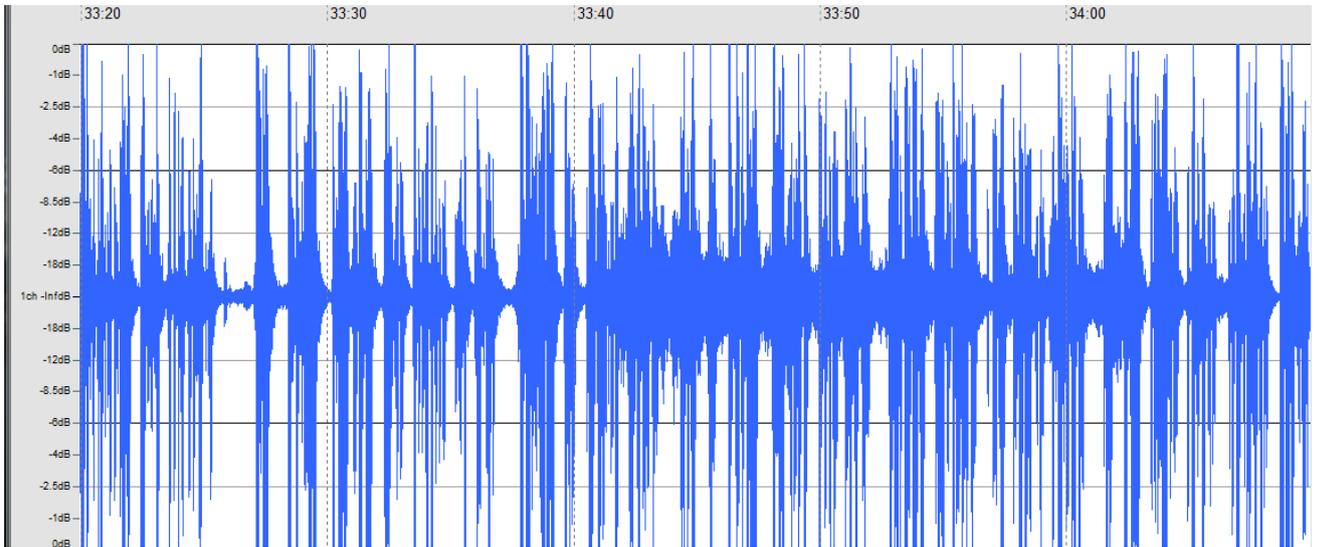
32:40~戦略的に追求します。具体的には、日韓・日豪交渉を推進し、日EU、日中韓の

32:50~早期交渉開始を目指すとともに、TPP、環太平洋パートナーシップ協定への交渉参加について、しっかりと議論し、

33:00~できるだけ早期に結論を出します。資源・エネルギーや食料の安定供給の確保などの面でも、経済外交を積極的に

33:10~進めます。また、途上国支援、気候変動に関する国際交渉への対応、中東・北アフリカ情勢への対応や、ぜい弱

野田波形 41



33:20~国家対策といった諸課題にも、我が国として積極的に貢献していきます。政治とは、相反する利害や

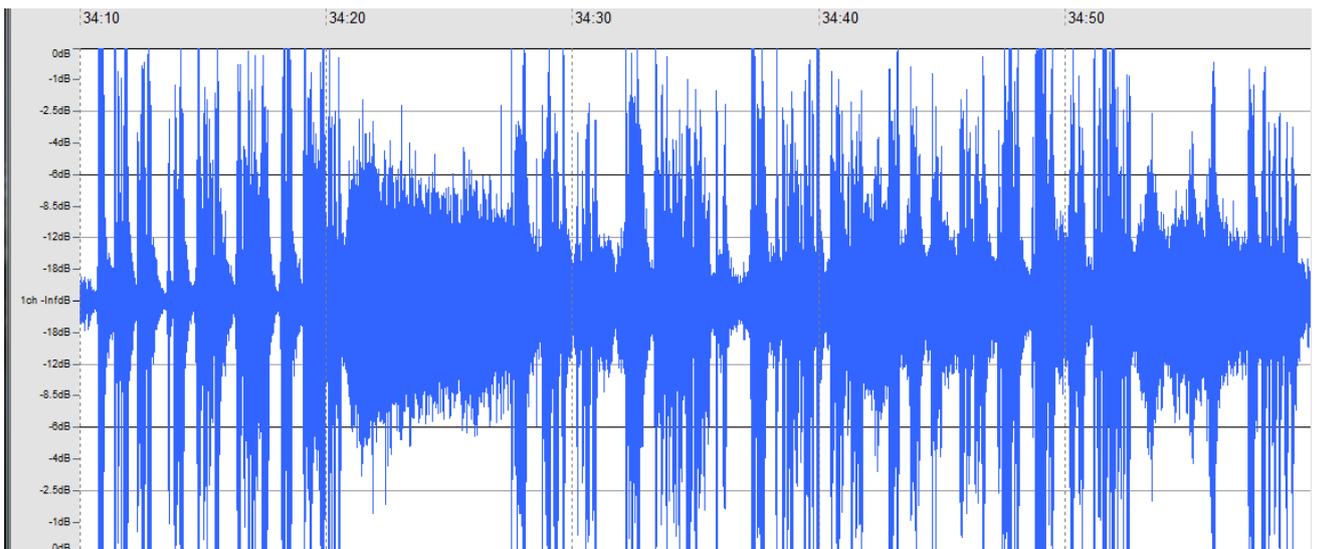
33:30~価値観を調整しながら、粘り強く現実的な解決策を導き出す営みです。議会制民主主義の要諦は、

33:40~対話と理解を丁寧に重ねた合意形成にあります。私たちは既に前政権の下で、対話の積み重ねによって、

33:50~解決策を見出してきました。ねじれ国会の制約は、議論を通じて合意を目指すという、立法府が本来あるべき姿に立ち返る好機でもあります。

34:00~ここにお集まりの、国民を代表する国会議員の皆様。そして、国民の皆様。改めて申し上げます。

野田波形 42



34:10~この歴史的な国難から日本を再生していくため、この国の持てる力の全てを結集しよう

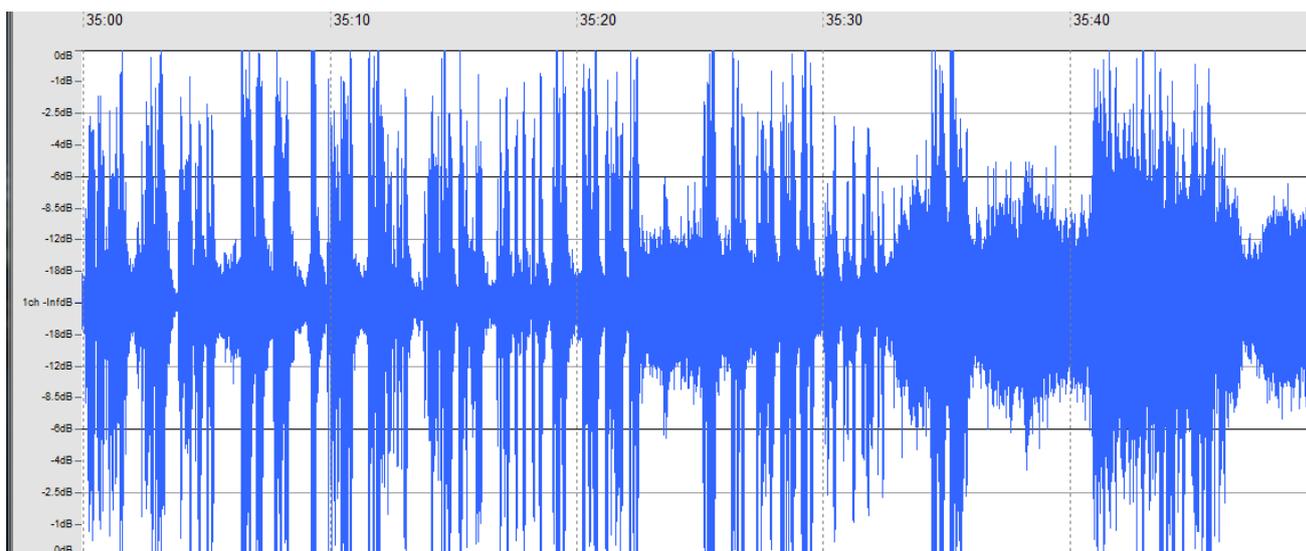
34:20~ではありませんか。(拍手) 関係は一丸となって

34:30~職責を果たす。官僚は専門家として持てる力を最大限に発揮する。与野党は、徹底的な議論と対話によって

34:40~懸命に一致点を見出す。政府も企業も個人も、全ての国民が心を合わせて、力を合わせて、

34:50~この危機に立ち向かおうではありませんか。私は、この内閣の先頭に立ち、

野田波形 43



35:00~一人ひとりの国民の声に、心の叫びに、真摯に耳を澄まします。「正心誠意」、行動します。ただ

35:10~国民のためを思い、目の前の危機の克服と宿年の課題の解決のために、愚直に一步一步、粘り強く、

35:20~全力で取り組んでいく覚悟です。皆様の御理解と御協力を改めてお願いして、私の

35:30~所信の表明といたします。

4-4 服装分析

本章では、比較対象演説にて、演説者の服装、特にネクタイに着目して比較を行っていく。それにあたり、演説当日のネクタイだけでは十分に比較できない。それは、普段から同じようなネクタイをしているという場合と、普段と演説の際のネクタイが違う場合があったならば考察が全く変わってくると予想できるからだ。

そのため、比較対象者が普段の様々な業務を行っている際には、どのようなネクタイを着用しているのかを時系列に追った上で比較していきたいと考える。それにより本章では演説が行われてからそれぞれの数か月間の、取得可能だったネクタイ着用シーンの資料をもとに、普段どのようなネクタイを着用しているかを図にて説明している。

また、今回の調査は、ネクタイの現物を見ることはできないためそれぞれの公式 HP からの画像を使って比較している。そのため光の加減で現物とは色の具合が多少異なっていることが予想される。

4-4-1 オバマ大統領

ホワイトハウスの HP にてオバマ大統領の就任後から定期的に動画がアップされている。それは公務の動画もあるが、ほとんどは Your Weekly Address という週に一回程度の市民に向けた主張を行う動画である。そのため着用ネクタイを追えた回数が少ないのはご容赦いただきたいと思う。

見方は、左の写真が実際にネクタイを着用して公務をしているところである。その横が動画のタイトル。そのタイトルの下にある色付きの四角がネクタイの写真から抽出した、ネクタイと同じ色の色見本であり、その色見本の横にある数字が色のコードである。



The Whistle Stop Train Tour January 17, 2009

918392

オバマ色見本 1



President Obama at the Lincoln Memorial Concert January 18, 2009

34304F

オバマ色見本 2

今回の比較対象である1月20日の就任演説



President Barack Obama's Inaugural Address January 20, 2009

9C445B

オバマ色見本 3



オバマ色見本 4

Your Weekly Address January 24, 2009



3B3245



オバマ色見本 5

President Obama Signs the Lilly Ledbetter Fair Pay Act January 29, 2009



7A94A1

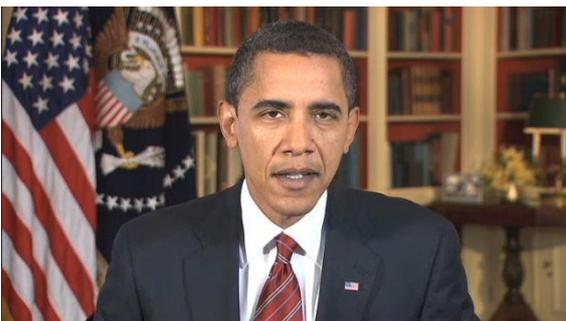


オバマ色見本 6

A Strong Middle Class = A Strong America January 30, 2009



6B3E48

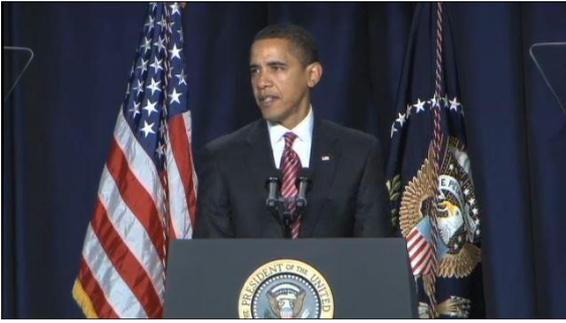


オバマ色見本 7

Your Weekly Address January 31, 2009



8B4542



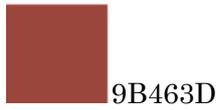
Working with Faith February 5, 2009



オバマ色見本 8



Your Weekly Address February 7, 2009



オバマ色見本 9



Your Weekly Address February 14, 2009



オバマ色見本 10



The First Foreign Trip February 19, 2009



オバマ色見本 11



President Obama Meets with Nation's Mayors February 20, 2009



オバマ色見本 12



Your Weekly Address February 21, 2009



オバマ色見本 13



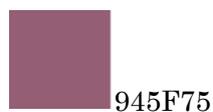
The President Addresses Joint Session of Congress February 24, 2009



オバマ色見本 14



Responsibly Ending the War in Iraq February 27, 2009



オバマ色見本 15



Your Weekly Address February 28, 2009



オバマ色見本 16



Your Weekly Address March 7, 2009



オバマ色見本 17



Your Weekly Address March 14, 2009



オバマ色見本 18



Your Weekly Address March 21, 2009



オバマ色見本 19



Online Town Hall March 26, 2009



オバマ色見本 20



Your Weekly Address March 28, 2009



オバマ色見本 21



Your Weekly Address April 4, 2009



オバマ色見本 22



Your Weekly Address April 11, 2009



オバマ色見本 23



Your Weekly Address April 18, 2009



オバマ色見本 24



Your Weekly Address April 25, 2009



オバマ色見本 25

4-4-2 野田元首相

本章では、研究対象となった所信表明演説の際に身に付けられていた、野田元首相のネクタイに注目して分析をする。以下は、野田元首相が首相就任から 3 か月の間に見つけていたネクタイである。資料は首相官邸ホームページに載せられた、首相の公務の様子を撮影した動画から引用している。

写真の上には日付が記載してある。そして写真の横にはその日の公務内容が示されており、そこに示してある内容の際にはすべて同じネクタイを着用している。

野田色見本 1 平成 23 年 9 月 2 日



内閣総理大臣就任記者会見



野田色見本 2 平成 23 年 9 月 5 日



初大臣政務官会合



E8DFE2

野田色見本 3 平成 23 年 9 月 6 日



各府省事務次官等に対する訓示、日印グローバル・パートナーシップサミット2011交流ディナー



474352

野田色見本 4 平成 23 年 9 月 7 日



連合・古賀会長表敬、日本商工会議所・岡村会頭表敬、政府税制調査会



584D4E

野田色見本 5 平成 23 年 9 月 11 日



拉致被害者家族との懇談、東日本大震災復興対策本部・緊急災害対策本部・原子力災害対策本部合同



504A40



858381

野田色見本 6 平成 23 年 9 月 12 日



日本経済団体連合会・米倉会長表敬、経済同友会・長谷川代表幹事表敬、日・コロンビア首脳会談、アコワイエ仏国民議会議長の表敬



A4A2A9



D8DBE2

野田色見本 7 平成 23 年 9 月 13 日



第 178 回国会（臨時会）における野田内閣総理大臣所信表明演説



72332C

野田色見本 8 平成 23 年 9 月 15 日



行政刷新会議



434453

野田色見本 9 平成 23 年 9 月 17 日



クラウス・シュワブ世界経済フォーラム（WEF）会長表敬



C6B7BA



7C6E6E

野田色見本 10 平成 23 年 9 月 20 日



予算編成に関する閣僚委員会、新型インフルエンザ対策閣僚会議、経済情勢に関する検討会合、福島県広野町議会による要望、東日本大震災復興対策本部



野田色見本 11 平成 23 年 9 月 21 日



第 6 6 回国連総会出席



野田色見本 12 平成 23 年 9 月 22 日



第 6 6 回国連総会出席、原子力安全及び核セキュリティに関するハイレベル会合総理演説



野田色見本 13 平成 23 年 9 月 23 日



第 6 6 回国連総会出席、第 6 6 回国連総会内外記者会見



野田色見本 14 平成 23 年 9 月 26 日



ティンレイ・ブータン首相及びペンジョール同上院議長らとの会談



野田色見本 15 平成 23 年 9 月 27 日



茨城県知事及び同県選出国會議員による要望、日・フィリピン共同声明等署名式及び共同記者発表



野田色見本 16 平成 23 年 9 月 29 日



アジア・ビジネス・サミット



野田色見本 17 平成 23 年 9 月 30 日



宇宙開発戦略本部、民間資金等活用事業推進会議、人事院勧告の手交、野田内閣総理大臣記者会見、原子力災害対策本部



野田色見本 18 平成 23 年 10 月 3 日



公務員宿舎朝霞住宅建設予定地視察、日本学術会議新会員
任命式、ルース駐日米国大使による表敬、東京電力に関する
経営・財務調査委員会、日本学術会議会員との懇談会



野田色見本 19 平成 23 年 10 月 4 日



会津総合開発協議会による要望、(社)千島歯舞諸島居住者
連盟小泉理事長の表敬、クマール・インド下院議長による
表敬、リファイ世界観光機関事務局長による表敬



野田色見本 20 平成 23 年 10 月 6 日



アティーヤ・カタール副首相兼首長府長官及びア
ルサダ・エネルギー工業大臣の表敬



野田色見本 21 平成 23 年 10 月 7 日



東日本大震災復興対策本部



野田色見本 22 平成 23 年 10 月 8 日



拉致被害者御家族との面会



野田色見本 23 平成 23 年 10 月 11 日



中央防災会議、政府・連合トップ会談、安全・安心なまちづくり関係功労者表彰



野田色見本 24 平成 23 年 10 月 14 日



高齢社会対策会議、G E A 国際会議 2 0 1 1、子育て支援施設等視察、被災地首長からの要望及び農林・水産復興の提言書の受取り



野田色見本 25 平成 23 年 10 月 15 日



自衛隊殉職隊員追悼式-「追悼の辞」



野田色見本 26 平成 23 年 10 月 16 日



自衛隊記念行事航空観閲式



E8DFE2

野田色見本 27 平成 23 年 10 月 18 日



予算編成に関する政府・与党会議



7E4842

野田色見本 28 平成 23 年 10 月 19 日



国立顕忠院訪問、日韓首脳共同記者会見



B5484F

野田色見本 29 平成 23 年 10 月 20 日



地域主権戦略会議、国と地方の協議の場、全国殉職警察職員・警察協力殉難者慰霊祭、食と農林漁業の再生実現会議、行政刷新会議



B2B0C5

野田色見本 30 平成 23 年 10 月 21 日



経済情勢に関する検討会合、東北 6 県旅館女将との
面会



C5A585

野田色見本 31 平成 23 年 10 月 22 日



東京国際映画祭オープニングセレモニー



120D0A

野田色見本 32 平成 23 年 10 月 23 日



日・仏首脳会談、日・仏共同記者発表



5B2E31

野田色見本 33 平成 23 年 10 月 24 日



タイン・ベトナム社会主義共和国国防大臣による表
敬、ヴルフ・ドイツ連邦共和国大統領との会談及び
晩餐会



414E6B

野田色見本 34 平成 23 年 10 月 25 日



パネッタ・アメリカ合衆国国防長官による表敬-平成、食と農林漁業の再生推進本部



DECCB3

野田色見本 35 平成 23 年 10 月 26 日



「東南アジア青年の船」参加者代表の表敬



773C38

野田色見本 36 平成 23 年 10 月 27 日



沖縄県軍用地転用促進・基地問題協議会による要請、APECビジネス諮問委員会日本委員による提言書の手交、連合による「G20、APECに向けた要請書」の手交



CCD8A9

野田色見本 37 平成 23 年 10 月 28 日



国家戦略会議、第179回国会（臨時会）における野田内閣総理大臣所信表明演説、防災対策推進検討会議



72332C

野田色見本 38 平成 23 年 10 月 31 日



日・ベトナム首脳会談及び署名式・共同記者発表、
野田総理主催ベトナム首相夫婦歓迎晩餐会



野田色見本 39 平成 23 年 11 月 2 日



福島県富岡町議会による要望



野田色見本 40 平成 23 年 11 月 3 日



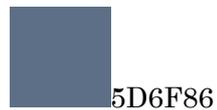
G 2 0 カンヌ・サミットー 1 日目ー (B 2 0 ビジネス・サミット)



野田色見本 41 平成 23 年 11 月 4 日



G 2 0 カンヌ・サミットー 2 日目ー (B 2 0 ビジネス・サミット)



野田色見本 42 平成 23 年 11 月 7 日



会計検査院平成 22 年度決算検査報告手交



野田色見本 43 平成 23 年 11 月 10 日



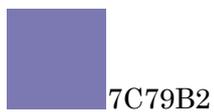
東日本大震災復興構想会議



野田色見本 44 平成 23 年 11 月 11 日



行政刷新会議、野田内閣総理大臣記者会見、キン
ンジャー元米国務長官の表敬、A P E C 首脳会議出
席等ー 1 日目



野田色見本 45 平成 23 年 11 月 12 日



A P E C 首脳会議出席等ー 2 日目



野田色見本 46 平成 23 年 11 月 13 日



A P E C 首脳会議出席等－ 3 日目、A P E C 首脳会議内外記者会見



野田色見本 47 平成 23 年 11 月 15 日



ブータン国王王妃両陛下への表敬訪問



野田色見本 48 平成 23 年 11 月 17 日



衆議院本会議（A P E C 会議出席等に関する報告）



野田色見本 49 平成 23 年 11 月 18 日



A S E A N 関連首脳会議（1 日目）



野田色見本 50 平成 23 年 11 月 19 日



ASEAN関連首脳会議（2日目）



D4C791

野田色見本 51 平成 23 年 11 月 21 日



参議院本会議（APEC及びASEAN会議出席等に関する報告）、全国都道府県知事会議、国家戦略会議、北方領土返還促進に関する政府要請



3A3128

野田色見本 52 平成 23 年 11 月 22 日



子ども若者育成・子育て支援功労者表彰式、「提言型政策仕分け」会場視察、マーリキー・イラク首相との会



8498D3

野田色見本 53 平成 23 年 11 月 24 日



総合科学技術会議、福島県知事による要請、JOC竹田会長ほかによる表敬



3F3629

野田色見本 54 平成 23 年 11 月 25 日



南スーダン国際平和協力隊司令部要員出国挨拶、地域主権戦略会議、西室新日中友好 21 世紀委員会座長他の表敬



野田色見本 55 平成 23 年 11 月 28 日



キティラット・タイ副首相兼商務相他の表敬、日・EU ビジネス・ラウンドテーブル (BRT) 共同議長による表敬



野田色見本 56 平成 23 年 11 月 29 日



地球温暖化問題に関する閣僚委員会、東日本大震災消防殉職者等全国慰霊祭、国と地方の協議の場・平成、東日本大震災復興対策本部



野田色見本 57. 平成 23 年 11 月 30 日



全国町村長大会、国家基本政策委員会両院合同審査会 (党首討論)、国家戦略会議 (第 3 回)、グルエフスキー・マケドニア旧ユーゴスラビア首相との会談



5. 考察

5-1 ジェスチャーに関する考察

まずは、ジェスチャーの項目では圧倒的にオバマ大統領の方が使用している回数は多かった。これは西欧文化の特色と言える。しかしながら、よく政治演説でイメージする頭の高さぐらいまで手をあげて、というほどのものはなく、高くても手を胸のあたりまで上げる、少し身体の横にスライドさせる程度の控えめなジェスチャーである。

オバマ大統領のジェスチャーでよく見られたのは大きく分けて 3 つある。まず 1 つ目は胸の高さで軽く拳を握る動作（図オバマ 2）である。ただ拳を胸の高さまで上げるだけの時があれば、話している言葉とともに拍子をとっている時もある。この軽く拳を握るというジェスチャーが最もよく使われているジェスチャーであり、93 回この動作を行っている。また、この動作は左右どちらの手でもしている動作であるが、その内訳を数えると右手が 71 回、左手が 21 回、両手が 1 回である。オバマ大統領が左利きということを加味すると、左手のほうが多く使っているのではないかと予想もできるが、実際にはその逆である。この理由は、強調はないかと考える。利き手である左のほうが自由自在に力を込めて動かすことが可能と考えると、より強調したいときにだけ利き手である左手でジェスチャーをして、それ以外は右手で軽くジェスチャーをする。そうすると、より重要なところを力強く伝えることができる。例えば図オバマ 37~43 を見てみる。ここでは左手で拳を握るというジェスチャーを連続で使っている。その際のセリフは以下である。

For us, they packed up their few worldly possessions and traveled across oceans in search of a new life. For us, they toiled in sweatshops and settled the West; endured the lash of the whip and plowed the hard earth. For us, they fought and died, in places like Concord and Gettysburg; Normandy and Khe Sahn.

“For us, ~” で始まる文章が 3 文続き、この For us の部分で左手の拳を使っているのだ。オバマ大統領はセリフの中で同じような言葉を繰り返し発言することが多いが、この例も同様に繰り返しを使い、かつ利き手である左手を使い聴衆の印象に残るようジェスチャーを使っていると考えられる。

続いて 2 つ目のジェスチャーは手の平を広げ（パーの状態）、拍子をとるように上下動させるという動きだ（図オバマ 6）。手の角度はほとんどが地面と垂直になるようなかたちだ。このジェスチャーは回数にすると 71 回使われている。左・右・両手の内訳は左手が 32 回、右手が 29 回、両手が 10 回である。このジェスチャーは先ほどの拳と違い、左右の使用頻度に大きな差はない。

この手の平を広げるというジェスチャーをすることには必ず拍子をとっている。この拍子（ビート）を取るということの意味は明らかになっていない部分も多いとのことだが「ビートは同期している発話が談話構造の観点から重要であることを示す」³という。つまり、

³ 喜多壮太郎著『ジェスチャー 考えるからだ』 2002.3 金子書房 p25

聴衆に対して伝えたい気持ちがそこにこもっていると見える。例えば図オバマ 76 を見てみる。この時のセリフは

Where the answer is yes, we intend to move forward.

であり、下線部で手のひらを広げ、上下動し拍子をとっている。オバマ大統領はこの演説の前に行っていた選挙の表裏演説にて、Yes, we can. というセリフが一躍有名となったことからオバマ大統領は“Yes”という言葉を含言葉かのように使用していたと考えられる。その為この一文でも“Yes”のところでは手のひらを広げて、言葉に同期させるかのように拍子をとっていたのではないかと考えられる。

また、この手のひらを広げるというジェスチャーの多くはほぼ聴衆に手のひらを見せるという格好のものが多かったが、数回自分の胸に手のひらを向ける動作が見られた。例えば図オバマ 73 と 187 である。73 のセリフは

The question we ask today is not whether our government is too big or too small, but whether it works.

であり、下線部で自分の胸に手のひらを向ける形で上下に拍子をとっている。セリフの内容を加味すると、自分自身に問うているような心境をジェスチャーで表現しているのではないかと考えられる。「手のひらは多くの社会で信頼の象徴となる。～中略～手のひらによって、信義、誠意、貞節などを表明しようとするのだ。」⁴ともあるように、聴衆に対してだけでなく、自分自身にも信義や誠意を尽くせるのかを自問自答しているようにも取れる。また図 187 でも

So let us mark this day with remembrance, of who we are and how far we have traveled. というセリフの中で下線部で自分の胸に手のひらを向ける形をとっている。ここでも、「我々が誰なのか」というまさに自問自答を伺われるセリフの際に使用している。ここでもし、手のひらを聴衆に向けていたら、we ではなく you という意味になりかねないのではないだろうか。オバマ大統領はこの演説の中で、We という主語を多用し、いい意味で国民と大統領に立場の差はない、ということを強調しているが、このジェスチャーからも聴衆や国民だけでなく大統領自身も同じ立場、目線に立ち自問自答しながら語っていることがわかる。

3 つ目に挙げられるのは指を差すジェスチャーである。回数では全部で 33 回、左手が 8 回、右手が 25 回であった。ジェスチャーを大きく分類した 3 つの中では一番頻度が少ない。さらには左手の指差しは本当に回数が少なく、他のジェスチャーの回数とは大きく差がついた。日本文化では人に向かって指を差すことはタブーとされる。オバマ大統領も具体的な聴衆に向かって差したものではないが、西欧的には指を差すことにはそこに特定の意味を持たせるという場合がある。そして利き手に関して、先にも考察をしたが利き手である左手での指差しが一番頻度が少なかったというのは、つまりは一番強調したい部分だった、

⁴ 野村雅一著『しぐさの人間学』 2004.2 河出書房新社 p19

特定の意味を持たせたかった部分だったのではないかと分析できるだろう。例えば図オバマ 24~26 である。セリフは

the God-given promise that *all are equal, all are free, and all deserve chance* to pursue their full measure of happiness.

である。一文の中で、斜体部分は右手で軽い拳を握り上下動、下線部分で左手で指を指す動作をしている。ここでも同じような言葉繰り返し使う技法を使っているが、このような場合、最後に来る言葉が最も強調したい言葉であることが多いとされる。つまり、*and all deserve chance* という部分が最も強調したかった部分と考え、左手で指を指すことで、より一層それを強めたと考えられる。

また、次のような例もある。図オバマ 131~137 を見てみる。文は 3 文ある。

・ *To those leaders* around the globe who seek to sow conflict, or blame their society's ills on the West - know that your people will judge you on what you can build, not what you destroy.

・ To those who cling to power through corruption and deceit and the silencing of dissent, know that you are on the wrong side of history; but that we will extend a hand if you are willing to unclench your fist.

・ To the people of poor nations, we pledge to work alongside you to make your farms flourish and let clean waters flow; to nourish starved bodies and feed hungry minds.

このように 3 文とも、文頭を *To ~* という言葉ではじめており、強調しておきたいところだと考えられる。そこを最初の一文は文頭の斜体部分を利き手ではない右手の指差し、そして 2 文目と 3 文目の文頭を利き手である左手で指を指して強めているのだ。一番使用頻度の少ない聞き手である左手の指差しが持つ意味が大きいということが分析できる。

また、これらの 3 つ以外にもセリフの内容に合わせてジェスチャーをも使い分けていることが見受けられる。例えば図オバマ 46・47 である。セリフは

They saw America as bigger than the sum of our individual ambitions; greater than all the differences of birth or wealth or faction.

で、下線部で同じジェスチャーを用いている。それは、両手を向い合せ（前倣えのような形）両手を外にスライドさせるようなジェスチャーである。*bigger* と *greater* という比較級をジェスチャーを使って表現したかったと分析できる。

また、もう一つ同じような例がある。図オバマ 135 で、セリフは以下である。

To those who cling to power through corruption and deceit and the silencing of dissent, know that you are on the *wrong side of history*; but that we will extend a hand if you are willing to unclench your fist.

斜体部分までは拳を握っていたのだが、下線部 *extend a hand*（手を広げる）というところで拳を広げるジェスチャーをしている。この例も、先の例同様、言葉の意味に合わせてジェスチャーをしている。

このように、オバマ大統領は多くのジェスチャーを使用しているが、彼が使うジェスチャーは特に内容を強調し、相手に伝える気持ちが表れたのだと結論付けることができるだろう。

次に、野田首相のジェスチャーは数回のお辞儀と1回の頷きに限られた。これはとても日本的ではないだろうか。国民やその場にいる国会議員に対し感謝の気持ちを込めたお礼や、お願いをする際に壇上に置かれた机（台本）から手を離し、丁寧なお辞儀をした。これは日本人であるならば納得できるジェスチャーであるだろう。また、その場にいた国会議員の拍手に応じて微動ではあったが一度だけ頷いた時があった。淡々と台本を読み上げているようにも見える演説ではあるが、聴衆に呼応していることがここでわかる。それをあまり表に出さないのがとても日本人的なものかもしれない。

では、なぜ日本人はアメリカ人に比べここまでジェスチャーが少ないのだろうか。それは文化的・言語的・歴史的なものが起因していると考えられる。「マルセス・モースは「身体技法」について、人間がそれぞれの社会で伝統的な流儀に従って、自分の身体を用いる仕方である」と定義している。⁵ ジェスチャーを身体技法のひとつと考えると確かに、その人の持つ伝統的な何かがジェスチャーの回数や種類をそうさせているのではないかと考えられる。それでは、日本で言う伝統的な部分とは何か。その一つは武士道やそれから派生した武道ではないかと考える。日本には江戸時代から武士道という侍の概念が存在し、それに派生して武道が明治維新のころに誕生した。当時の学者新渡戸稲造は自著『*Bushido*』（1899）の中で「勇」—いかにして肚（はら）を錬磨するか」と語っている。これは、勇気の精神的側面は落ち着きであり、勇気とは心の穏やかさや平静さによって表されるものであるということである。また、平静さというのは身体を静止させている状態のことだとも言っている。日本には江戸時代からこのような武士道が伝わり、これが美とされてきたバックグラウンドがある。また、武道では必ず間合いを重んじ、必ず静止している時間がある。また武道ではないが茶道や書道にも身体が静止している状態が必ずある。このように、静止状態が常に隣り合わせであった日本人は、それをよしとする傾向にある。このため、ジェスチャーを多用せず、平静さを静止の状態によって表現しているのではないかと考察する。

5-2 声調に関する考察

5-2-1 速度

まず、速度に関してはオバマ大統領のほうがはるかに変化があった。特に演説冒頭、オバマ波形図1~3部分を見てみる。セリフは以下のようにになっている。

I stand here today humbled by the task before us, grateful for the trust you have bestowed, mindful of the sacrifices borne by our ancestors. Thank President Bush for

⁵ 矢田部英正『たたずまいの美学—日本人の身体技法』（2004）pp10-11

his service to our nation, as well as the generosity and cooperation he has shown throughout this transition. Forty-four Americans have now taken the presidential oath. The words have been spoken during rising tides of prosperity and the still waters of peace. Yet, every so often the oath is taken amidst gathering clouds and raging storms. 歴代の大統領や建国の文書に対する誓いのような内容であるが、ここでは演説全体の中でも最もゆっくりと話している。これは、約 20 分の演説で最初に聴衆の心をつかみたいという意図があり、聴衆に対してただ一方的に上から話すという印象ではなく、対等な関係である聴衆・国民に対して語りかけているという印象を与えるためだと考えられる。例えば 1930 年代にアメリカのルーズヴェルト大統領はラジオ演説をたびたびおこなった。その際、同時代のどの政治家よりもはるかに話すペースが遅かったという。これは国民に親しみをもってほしかったなど、意図的になされたものであったとの記録が残っている。これからわかるように、まずゆっくりと語りかけるように話すことで国民の心をつかもうとしたというオバマ大統領の意図が感じられる。また、ゆっくり話すことにより威厳を感じさせることもできる。アメリカの歴代の大統領は 50 代～60 代の年齢で就任しており、47 歳で就任したオバマ大統領は比較的若い大統領と言えるだろう。また、前任のブッシュ大統領は退任する際に 62 歳だったことを考えると 15 歳の差がある。このことから、若いがために冒頭でゆっくり話すことにより威厳や、平静さを表現したかったのではないかと考えられる。

一方で、早口で話しているところもある。オバマ波形図 8・9 の部分である。

We must pick ourselves up, dust ourselves off, and begin again the work of remaking America. For everywhere we look, there is work to be done. The state of the economy calls for action, bold and swift, and we will act - not only to create new jobs, but to lay a new foundation for growth. We will build the roads and bridges, the electric grids and digital lines that feed our commerce and bind us together. We will restore science to its rightful place, and wield technology's wonders to raise health care's quality and lower its cost. We will harness the sun and the winds and the soil to fuel our cars and run our factories. And we will transform our schools and colleges and universities to meet the demands of a new age. All this we can do. And all this we will do.

ここは先に説明した演説冒頭に続く部分であるが国内の経済・雇用状況などからどのような対策が必要かなどの少し具体的な話をするセリフである。速く話すと、知識があり信頼できるという印象を与える。そのようなことから、演説冒頭、国民の心をつかんだところから一気に速度を上げ、自分が政治家としてどんな政策を打ち出していくかなどを知的にアピールしたと考えられる。

そして、早口で話していたかと思えば、いきなり速度を落とすところも見受けられる。オバマ波形 9 で見られる。セリフは以下だ。

And we will transform our schools and colleges and universities to meet the demands of

a new age. All this we can do. And all this we will do.

という連続した2文があり最初の1文（囲い線部分）は先ほどの事例に引き続き政策を話しているの速度を上げている。しかし2文目（網掛け部分）の“All this we can do. And all this we will do.”というところで速度が遅くなる。政策を話した直後に、「このすべてを私たちは実現するぞ」という意味のセリフを速度を落として言うことにより、念押しのような印象を与えることが可能だったのではないだろうか。また、これは日本でも流行ったオバマ大統領の代名詞とも言える“**Yes, we can.**”にととても似ており、特に、国民の心に訴えたかった、印象に残らせたかったセリフだったので、いきなりゆっくりと語りかけるように話した。重要なところ、伝えたいところは簡単な言葉をキャッチーに使うオバマ大統領であるが、それにプラスしてこのように速度を変えるというノンバーバルコミュニケーションを使うことにより、よりその言葉が頭に残るよう演説を行っているのではないかと考えられる。

続いて、野田首相であるが、彼はほとんど速度に変化は見られなかった。強いて言えば、政策などの具体的な内容を話すときは少し速度があがる。しかし、これは意図的にやっているものとはあまり考えられない。その理由としては、まず、政策に対してなどのその場にいる国会議員のヤジに反応に少し動揺して速度が上がってしまっているのではないかと考えられる。また、野田首相は、台本を聴衆にも見えるところにセティングし、それを読み上げるという形で演説を行っている。台本からあまり目を離すことがなく、台本に書かれたセリフを一字一句間違えないように読んでいるため、あまり速度を変えられなかったのではないかとということが考えられる。

5-2-2 強弱

強弱に関しては、野田首相のほうが顕著に違いが表れた。野田首相の演説では強弱の違いが多くみられた。強めて話しているときの演説の内容として共通しているのは、感情に訴えかけるような内容である。例えば野田波形図7・8部分である。福島の高校生が劇で演じたセリフを引用した部分である。

「福島に生まれて、福島で育って、福島で働く。福島で結婚して、福島で子どもを産んで、福島で子どもを育てる。福島で孫を見て、福島でひ孫を見て、福島で最期を過ごす。それが私の夢なのです。」

と読み上げる場所である。東日本大震災における被災者に対する話の中でも、特に声を強めたところで、聴衆だけではなく、実際に福島の高校生に伝えたいとも思えるような大きな声で話しており、感情に訴えるという意図があったと考えられる。

また、演説終盤での、政治家や国民に対するお願いに関しても、強めていっている。野田波形図41～43部分である。セリフは以下である。

「ここにお集まりの、国民を代表する国会議員の皆様。そして、国民の皆様。改めて申し上げます。この歴史的な国難から日本を再生していくため、この国の持てる力の全てを結

集しようではありませんか。(拍手) 閣僚は一丸となって職責を果たす。官僚は専門家として持てる力を最大限に発揮する。与野党は、徹底的な議論と対話によって懸命に一致点を見出す。政府も企業も個人も、全ての国民が心を合わせて、力を合わせて、この危機に立ち向かおうではありませんか。私は、この内閣の先頭に立ち、一人ひとりの国民の声に、心の叫びに、真摯に耳を澄まします。「正心誠意」、行動します。ただ国民のためを思い、目の前の危機の克服と宿年の課題の解決のために、愚直に一步一步、粘り強く、全力で取り組んでいく覚悟です。」

この部分では、声を荒げていると言ってもいいほどに声を強めている。日本では物事を話すときに起承転結を意識し、最後の結びの部分を最も重要視する。それがこの強弱の使い方にも表れており、ここが最も伝えなかった部分だったのではないかということが考えられる。

また、以上の 2 つの事例からもわかるように、一貫して言えるのは抽象的な内容のときには比較的強く発音しているということだ。これももちろん先の考察のように強調のために強くしたとも考えられる。しかし、周りの国会議員に呼応しているとも考えられないだろうか。当時は東日本大震災から半年後、未曾有の危機と言われるほどの国難の状況だったため、国民が聞いたかったのは具体的な政策だと推測できる。また、実際に首相の前で演説を聞いている国会議員も同じ感覚でいた。その為、抽象的なことや、感情的なことを発言している際にはそのニーズと合わず、国会議員からヤジが飛ぶこともあった。それもあり、野田首相も感情を高ぶらせ声を大きくしたということも考えられる。

一方で、明らかに弱めているとわかる場所は東日本大震災など様々な災害の被災者へのお悔やみの部分である。これは野田首相や一般的な感情がそのまま出ている。例えば野田波形 1、

「東日本大震災、そしてその後も相次いだ集中豪雨や台風の災害によって亡くなられた方々の御冥福をお祈りします。また、被害に遭われ、不自由な暮らしを余儀なくされている被災者の方々に、改めてお見舞いを申し上げます。」

斜体部分を弱めている。

また、野田波形 4 では、

「南三陸町の防災職員として、住民に高台への避難を呼び掛け続けた遠藤未希さん。防災庁舎の無線機から流れる彼女の声に、勇気づけられ、救われた命が数多くありました。**恐怖に声を震わせながらも、最後まで呼び掛けをやめなかった彼女は、津波に飲まれ、帰らぬ人となりました。**生きておられれば、今月、結婚式を迎えるはずでした。」

斜体部分が弱めている箇所、太字部分は強めている箇所である。彼女が成し遂げたことは強めて強調しているが、結果として亡くなられたという悲しい事実は弱めている。また、特定の名前も弱めて控えめに発言している。ここでは強弱を巧みに使い防災職員の方を称え、そして悲しい気持ちを伝えようとしていることがわかる。

また、弱めるまではいかなくとも、相対的に小さな声で話しているところは、経済・雇

用などに対する政策に関する部分である。つまり、具体的な政策を言うときである。政策を言う際は多少スピードも上がるので、大きな声は出せなかったと考えられる。または、野田首相の緊張が伝わってくるような話し方でもあるように感じる。そのためこれは意図してこういう話し方にしたというよりは、時間の都合上や強めて話したところと抑揚をつけるためだったのではないかと考えられる。

次に、オバマ大統領のほうだが、彼はあまり強弱を出して話してはいない。先にも書いたように彼は、速度を変える手法を頻繁にとるが、強弱が変わるのはほとんどの場合は速度が速くなった時と遅くなった時である。速度が速い時は強く、遅い時は弱めている場合が多い。中間の速度で話しているときはほとんど強弱を変えない。つまり、彼が話すときに一番用いるのは速度を変えるという手法だということがわかる。

その中でも、強く発する時がある。それは繰り返しの表現を用いるときである。例えば、”This is ~~~. This is *****. This is ++++.” というような英語特融ともいえるような繰り返し表現の場合に”This is”の部分必ず強く発音する。このような言葉の表現は多く見られ、ここではジェスチャーも使いながら声も巧みに使っている。繰り返しの表現も強調のためや、頭に残りやすくするために用いられるが、ここでジェスチャーと声調を使いさらに強調度を高めていると考えられる。

5-2-3 沈黙

オバマ大統領の演説には多くの沈黙（ポーズ）が見られる。沈黙の意味するものはたくさんある。話す速度を遅くするためや、または注目をあつめる効果、相手に対し落ち着いた印象を与える効果や、単なる呼吸ということも考えられる。今回の一連の演説の中で、沈黙の前と後で話すスピードや強さが変わっているのがところが多い。その為、一呼吸おいて勢いよく話し始めたということも考えられる。しかしながら沈黙後の内容がこのスピーチでの根幹ともいえるような話であることが多く、注目を集めるためのものだったと考えるのが正しいかもしれない。

例えばオバマ波形図 4 にそれが見られる。

Less measurable but no less profound is a sapping of confidence across our land - a nagging fear that America's decline is inevitable, and that the next generation must lower its sights. **沈黙** Today I say to you that the challenges we face are real. They are serious and they are many. They will not be met easily or in a short span of time.

一呼吸を置いた後に「今日、皆さんに申し上げる」というメッセージを放っている。これはただの呼吸ではなく、沈黙することで聴衆の注目を集めてから発したかった重要なメッセージであったと沈黙と言葉の意味から窺える。

一方で野田首相のほうは、沈黙はほとんどない。それも、ヤジが飛んでくるため、沈黙してはらちがあかなくなってしまうことが予想されるからではないだろうか。この様

な原因があるので、今回の演説では野田首相の沈黙の取り方に関しては正しい結果は得られなかった。

5-3 服装に関する考察

服装に関しては、両者ともスーツ姿にネクタイと決まった服装をしているので、違いの出やすい着用ネクタイの色を比較した。当日着用していたネクタイは両者とも赤系のネクタイであった。まず、アメリカに関してはオバマ大統領就任からおよそ半年間 24 日分の着用ネクタイの色を調査したところ、赤系のネクタイを着用していたのは 9 回であった。このことから普段は、赤系ではないネクタイを着用していることのほうが多いことが分かった。アメリカでは歴代の大統領が就任演説では必ず赤か青のネクタイを着用している。それはアメリカの国旗の色（赤・青・白）をイメージしてのことだという説がある。まさに今回は赤（ネクタイ）・濃紺（スーツ）・白（Y シャツ）で国旗そのものである。オバマ大統領は初の黒人系大統領と話題になり、多くの黒人アメリカ人の歓喜があったということもあり、なおさら「アメリカ」というものを服装でも表現したかったのではないかと考えられる。また、赤という色は一般的に「その活力、力強さ、華やかさによって、広く生命原理の基本的シンボルとみなされる⁶⁾」。特にアメリカでは喜びを表す色であると言われている。このことからアメリカの国旗と、アメリカの革新・国民の歓喜を表すために意図的に赤色のネクタイを着用したのではないかと考えられる。

次に野田首相は普段、青系のネクタイを着用することが多い。野田首相の就任後から約 2 か月間 57 日分の着用ネクタイの色を調査したところ、赤系のネクタイを着用していたのは 18 回だけであった。このことから、今回の所信表明演説では意図的に赤色のネクタイを着用したのではないかと考えられる。青という色は色彩の中で最も冷たい色とされる。また、真実・知性・冷静さなどを表す色でもある。一方で、今回の演説で着用したネクタイの赤という色は、先にも述べたように活力・力強さなどを連想させる力がある。つまり、野田首相は震災から半年が経ち、大きな混乱を来していた状況で、国民に対して、青色が持つ知性や冷静さというよりは国民の感情に訴えかけるような力強さや情熱を伝えたかったのではないかと考えられる。

6. インタビュー調査結果

6-1 インタビューの概要

6-1-1 調査の目的

これまでに動画・音声と文献を使用して比較考察を行ってきたものをもとに実際にその結果のように受容者には受け取られるのか、そのノンバーバルコミュニケーションが聞き手にもたらす実際の影響は何かを調査する。また、聞き手が特定のノンバーバルコミュニ

⁶⁾ 世界シンボル辞典 訳者 金光仁三郎(1996) p7

ケーションを受け取った時に、なぜそのよう感じるのかを、その人の持つ属性などから導き出すことを目的とする。

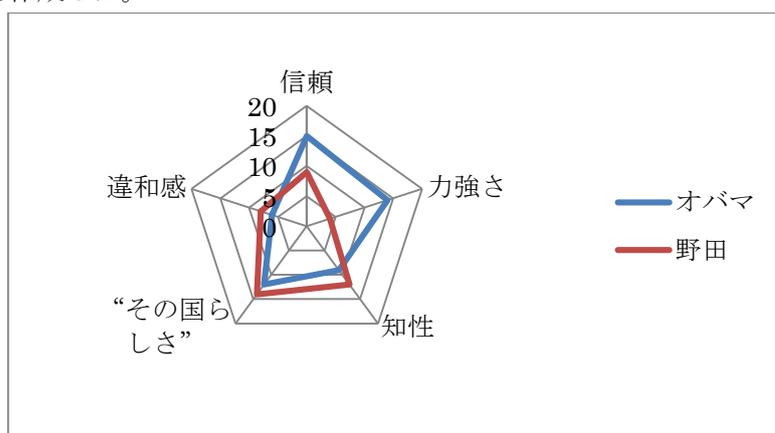
6-1-2 調査対象・方法

調査対象は慶應義塾大学湘南藤沢キャンパスに在籍する18歳～24歳までのランダムに選んだ学部生（以下、SFC生）19名。特にSFC生は海外での居住経験や留学経験のある学生が他大学などに比べて多い傾向がある。そのため、アメリカのノンバーバルコミュニケーションを見慣れているなど、特有の言語的・文化的な経験や考え方を加味して考察を進める。

調査は演説の必要な部分を抽出した動画と音声とアンケート調査票を使用する。被験者に動画と音声を見聞きしてもらい、深く考えず直感でアンケートに答えていってもらう方法を取る。なお、アンケート調査の際には、あらかじめ政治家本人や政策内容を一切無視して行ってもらよう注意を促している。

6-2 ジェスチャーに関する結果・考察

本調査では、オバマ大統領によく見られたジェスチャーの映像を被験者に見せアンケートに答えてもらった。アンケートでは①信頼を感じたか、②力強さを感じたか、③知性を感じたか、④あなたの思う“アメリカ人らしさ”を感じたか、⑤何か違和があったかという5項目を挙げ、大いに感じた・少し感じた・あまり感じない・全く感じない、のどれかを選択してもらった。まず以下が全被験者19名のジェスチャーに関する印象調査の結果である。各項目に対して「大いに感じた・少し感じた」という回答をもとにグラフを作成した。

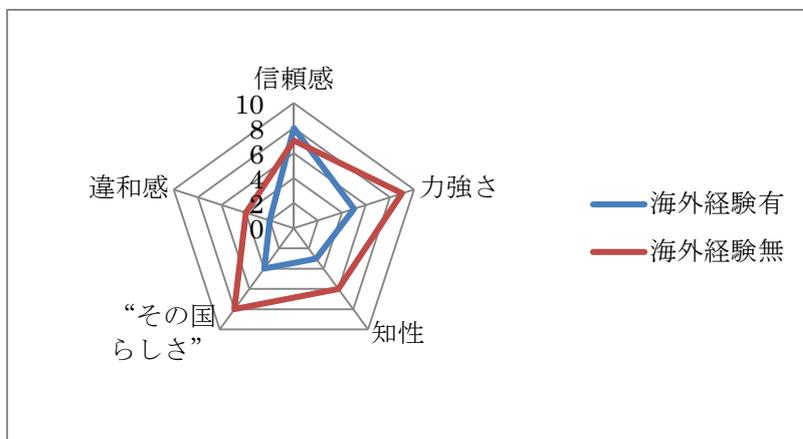


グラフ 1 被験者全体のジェスチャーに関する結果

この結果から、オバマ大統領の演説には信頼感や力強さを感じる人が多かった。それは目線の左右への転換の多用や指をさすジェスチャーが説得力をもたらしたという回答が多かった。次に野田首相のジェスチャーにはオバマ大統領よりも知性を感じられたという回答が多かった。それは、ジェスチャーの回数が少ないことにより、物事に動じないという

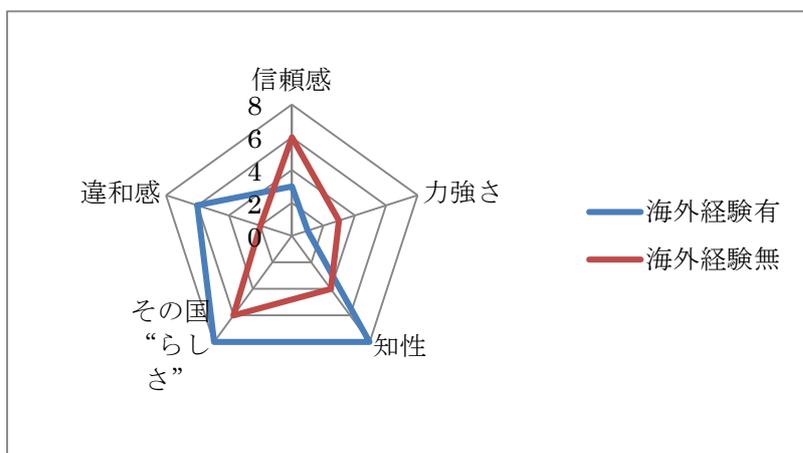
印象を与えたことが要因になっているようだ。

続いてのグラフはアメリカ滞在経験（1年以上）の有無により集計したオバマ大統領のジェスチャーに対する印象の調査結果である。



グラフ 2 海外経験の有無によるオバマ大統領のジェスチャーに対する印象の違い

特に大きな違いが出た項目の一つ目は、力強さである。海外経験の無い被験者は、あまり見慣れていない多用されるジェスチャーに対して“なんとなく”力強さを感じたという回答が目立った。何度も振り下ろされる拳や、言葉と共に同期する手が言葉の力を一層強めているかのように感じていることがうかがえる。一方で、海外経験が有る被験者は力強さを感じる人は少なかった。アメリカの政治家ではよりジェスチャーを多用する人がいるため、この演説を見ても特別力強さを感じることはなかったという回答だ。このような回答が、“その国らしさ”を感じたかという項目の大きな相違につながっているのではないかと分析する。海外経験の無い被験者は、オバマ大統領でも十分ジェスチャーを多用して、自分の思うアメリカ人らしさを体現していると感じたようだ。しかしながら、アメリカの文化やそこに暮らす人のジェスチャーがどのようなものかを知っている被験者は、オバマ大統領のジェスチャーは頻度が少なく、動作も小さいと感じたようだ。

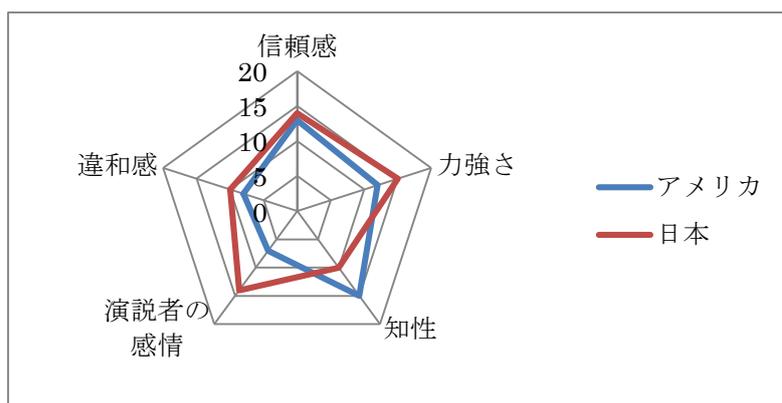


グラフ 3 海外経験の有無による野田首相のジェスチャーに対する印象の違い

まず、大きな違いが出たのは知性の項目だ。海外経験有の被験者のほうがより知性を感じたという結果が出た。これは、先の全体の結果の時にも考察したが、身動きせずに動かない所によって物怖じしないというようなイメージを与えているようだ。そうとは言ってもやはり、ジェスチャーが少ないことに対しては違和感を抱いている。もっとジェスチャーを使ったほうが伝わることが多いと感じるという回答があった。また、海外経験無の被験者の多くも物足りなさを感じてはいたが、共通して違和感はなく日本人らしいなと感じているという結果が出た。

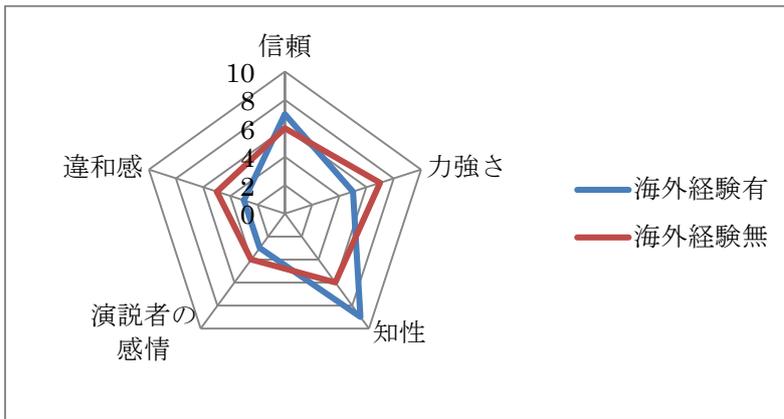
6-3 声調に関する結果・考察

続いてジェスチャー同様に、演説の音声聞いて感じた印象を5項目（信頼を感じたか・力強さを感じたか・知性を感じたか・演説者の感情を感じたか・違和感があったか）を設定し大いに感じた・少し感じた・あまり感じない・全く感じない、のどれかを選択してもらった。



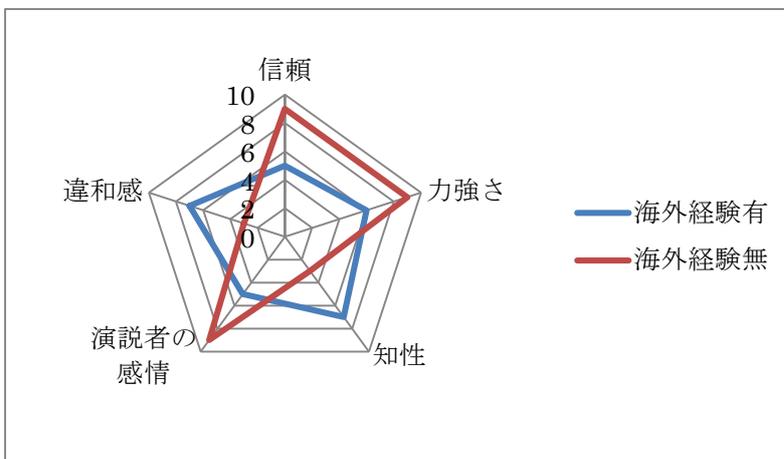
グラフ 4 被験者全体の声調に関する結果

このグラフから読み取れるのは、オバマ大統領の演説には知性を感じ、野田首相の演説では野田首相自身の感情が感じられたという相違である。オバマ大統領が速度を上げて話すところに知性を感じ、野田首相が強弱に大きな違いがあるというところに感情を感じたという回答が目立った。



グラフ 5 海外経験の有無によるオバマ大統領の声調に対する印象の違い

続いて、海外経験の有無によるオバマ大統領の声調に対して抱く印象の違いを見ていく。一つ前のグラフでオバマ大統領の演説には野田首相の演説と違って知性を感じるとの回答が多く、その点に着目してみる。海外経験の有る被験者は無い被験者よりもより、知性を感じたという結果となった。これは落ち着いて話しているという印象を与える一方で、海外経験の無い被験者にとってはもう少し抑揚があることを期待していたため、あまり知性には繋がらなかったようだ。



グラフ 6 海外経験の有無による野田首相の声調に対する印象の違い

最後に海外経験の有無による野田首相の声調に対して抱く印象の違いである。ここでは特に、海外経験の無い被験者は信頼・力強さ・感情を大いに感じたという結果が出た。特に演説の内容によって強弱をつけているところにすごくノンバーバルコミュニケーションとしての声調の効果を感じたとの回答が目立った。しかしながら、海外経験の有る被験者にとっては、その強弱の変化がわざとらしく聞こえてしまい、違和感があったという。それは、野田首相の演説はオバマ大統領の演説とは違い、台本を読み上げるという形で行われており、強弱の違いが出やすかったために、そのような印象を与えてしまったのではないかと考察する。

6-4 インタビューに関するまとめ

本インタビュー調査では、海外（欧米）での滞在経験の有無により、ノンバーバルコミュニケーションに対する印象に大きな差異が出るのが明らかになった。滞在していた地域に根付く文化や言語的特徴などがどのような印象を抱かせるのかに大きく関わっているということのヒントも多く、被験者から得ることができた。

7. 今後の展望

ノンバーバルコミュニケーションを使う場面は政治演説だけに限られない。一般企業でのビジネス交渉でのスピーチや、就職活動の面接であってもノンバーバルコミュニケーションは日常的に使われている。また、そのようなハウツー本などは多く出版されているということは前述したとおりであるが、その多くは日本人のために書かれているにも拘らず欧米的な内容である。というのも、ジェスチャーを駆使するように書かれているからだ。しかし、本研究では文化的、言語的特徴により、ノンバーバルコミュニケーションの使い方や、感じ方に相違が出るということを考察した。つまり、バックグラウンドの違いにより、ノンバーバルコミュニケーションを使い分けなければ、何の意味も持たない、また、逆効果を与えてしまいかねないモノがノンバーバルコミュニケーションであると言えるだろう。このことを加味して、ではこのような特徴のバックグラウンドを持った受容者にはどのようなノンバーバルコミュニケーションが効果的であるのかがデータベース化されていくと、例えば、バックグラウンドが違うもの同士でもより伝えたい事をスムーズに伝えることが可能になるのかもしれない。

8. 参考文献

- アン・カープ 『「声」の秘密』 草思社 2008
金光仁三郎 『世界シンボル辞典』 大修館書店 1996
喜多壮太郎 『ジェスチャー 考えるからだ』 金子書房 2002
解説/沢田博、鶴田知佳子、高井真知子 翻訳/池村千秋、津吉翼、藤原朝子、村井裕美 『オバマ大統領演説』 コスモピア編集部コスモピア株式会社出版 2009
J・B・ベンジャミン 『コミュニケーション—話すことと聞くことを中心に—』 二瓶社 1990
鈴木松美 『日本人の声』 洋泉社 2003
J・C・クーパー 『世界シンボル辞典』 三省堂 1992
中西雅之 『なぜあの人とは話が通じないのか？ 非・論理コミュニケーション』 光文社 2005
永淵道彦、中村萬里、播磨桂子、荻野千砂子、安保博史 『音声言語とコミュニケーション』 双文社出版 2001
野村雅一 『しぐさの人間学』 河出書房新社 2004

福島英『声のしくみ 「人を惹きつけつる声」のメカニズム』ヤマハミュージックメディア 2011

ペーター・E・プル『姿勢としぐさの心理学』北大路書房 2001

マジョリー・F・ヴァーガス『非言語コミュニケーション』新潮社 1987

レイ・D・ケント、チャールズ・リード 『音声学の音響分析』海文堂出版社 1996

9. 参考 Web サイト

WEB 色見本原色大辞典 <http://www.colordic.org/> (閲覧日 2014 年 1 月 19 日)

首相官邸ホームページ <http://www.kantei.go.jp/> (閲覧日 2014 年 1 月 19 日)

the WHITE HOUSE <http://www.whitehouse.gov/> (閲覧日 2014 年 1 月 19 日)

youtube オバマ大統領就任演説動画

<http://www.youtube.com/watch?v=vp1iCII4xVc>

http://www.youtube.com/watch?v=Sj--KbsAC_Y&feature=related (閲覧日 2012 年 7 月 1 日)

付録

図・グラフリスト

図 オバマ 1	6
図 オバマ 2 図 オバマ 3	6
図 オバマ 4	6
図 オバマ 5	7
図 オバマ 6	7
図 オバマ 7	7
図 オバマ 8 図 オバマ 9	8
図 オバマ 10 図 オバマ 11	8
図 オバマ 12	8
図 オバマ 13	8
図 オバマ 14	9
図 オバマ 15 図 オバマ 16	9
図 オバマ 17 図 オバマ 18	9
図 オバマ 19	10
図 オバマ 20 図 オバマ 21	10
図 オバマ 22 図 オバマ 23	10
図 オバマ 24 図 オバマ 25 図 オバマ 26	11
図 オバマ 27 図 オバマ 28 図 オバマ 29	11
図 オバマ 30 図 オバマ 31	11

㊦ オバマ 32				12
㊦ オバマ 33	㊦ オバマ 34	㊦ オバマ 35	㊦ オバマ 36	12
㊦ オバマ 37	㊦ オバマ 38			12
㊦ オバマ 39	㊦ オバマ 40	㊦ オバマ 41	㊦ オバマ 42	13
㊦ オバマ 43				13
㊦ オバマ 44	㊦ オバマ 45			13
㊦ オバマ 46	㊦ オバマ 47			13
㊦ オバマ 48				14
㊦ オバマ 49	㊦ オバマ 50			14
㊦ オバマ 51				15
㊦ オバマ 52	㊦ オバマ 53			15
㊦ オバマ 54	㊦ オバマ 55	㊦ オバマ 56		15
㊦ オバマ 57				16
㊦ オバマ 58	㊦ オバマ 59			16
㊦ オバマ 60				16
㊦ オバマ 61				16
㊦ オバマ 62	㊦ オバマ 63			17
㊦ オバマ 64	㊦ オバマ 65			17
㊦ オバマ 66				17
㊦ オバマ 67				18
㊦ オバマ 68	㊦ オバマ 69			18
㊦ オバマ 70	㊦ オバマ 71	㊦ オバマ 72		18
㊦ オバマ 73	㊦ オバマ 74			19
㊦ オバマ 75				19
㊦ オバマ 76	㊦ オバマ 77			19
㊦ オバマ 78				20
㊦ オバマ 79				20
㊦ オバマ 80	㊦ オバマ 81			20
㊦ オバマ 82	㊦ オバマ 83	㊦ オバマ 84		21
㊦ オバマ 85	㊦ オバマ 86	㊦ オバマ 87	㊦ オバマ 88	21
㊦ オバマ 89	㊦ オバマ 90			22
㊦ オバマ 91	㊦ オバマ 92	㊦ オバマ 93		22
㊦ オバマ 94				22
㊦ オバマ 95	㊦ オバマ 96	㊦ オバマ 97		23
㊦ オバマ 98	㊦ オバマ 99			23
㊦ オバマ 100	㊦ オバマ 101	㊦ オバマ 102		23

☒ オバマ 103	☒ オバマ 104	24		
☒ オバマ 105	☒ オバマ 106	24		
☒ オバマ 107		24		
☒ オバマ 108		25		
☒ オバマ 109	☒ オバマ 110	25		
☒ オバマ 111	☒ オバマ 112	25		
☒ オバマ 113	☒ オバマ 114	26		
☒ オバマ 115	☒ オバマ 116	☒ オバマ 117	26	
☒ オバマ 118	☒ オバマ 119	☒ オバマ 120	26	
☒ オバマ 121	☒ オバマ 122	27		
☒ オバマ 123	☒ オバマ 124	☒ オバマ 125	27	
☒ オバマ 126		27		
☒ オバマ 127	☒ オバマ 128	28		
☒ オバマ 129	☒ オバマ 130	28		
☒ オバマ 131	☒ オバマ 132	28		
☒ オバマ 133	☒ オバマ 134	☒ オバマ 135	☒ オバマ 136	29
☒ オバマ 137		29		
☒ オバマ 138	☒ オバマ 139	29		
☒ オバマ 140	☒ オバマ 141	30		
☒ オバマ 142		30		
☒ オバマ 143	☒ オバマ 144	☒ オバマ 145	☒ オバマ 146	30
☒ オバマ 147	☒ オバマ 148	☒ オバマ 149	31	
☒ オバマ 150	☒ オバマ 151	☒ オバマ 152	31	
☒ オバマ 153	☒ オバマ 154	☒ オバマ 155	31	
☒ オバマ 156	☒ オバマ 157	32		
☒ オバマ 158	☒ オバマ 159	32		
☒ オバマ 160	☒ オバマ 161	☒ オバマ 162	☒ オバマ 163	32
☒ オバマ 164	☒ オバマ 165	33		
☒ オバマ 166	☒ オバマ 167	33		
☒ オバマ 168	☒ オバマ 169	33		
☒ オバマ 170	☒ オバマ 171	☒ オバマ 172	34	
☒ オバマ 173	☒ オバマ 174	☒ オバマ 175	34	
☒ オバマ 176	☒ オバマ 177	34		
☒ オバマ 178		35		
☒ オバマ 179	☒ オバマ 180	☒ オバマ 181	☒ オバマ 182	35
☒ オバマ 183	☒ オバマ 184	☒ オバマ 185	☒ オバマ 186	35

図 オバマ 187	36
図 オバマ 188 図 オバマ 189	36
図 オバマ 190 図 オバマ 191	36
図 オバマ 192 図 オバマ 193 図 オバマ 194 図 オバマ 195.....	37
図 オバマ 196	37
図 オバマ 197 図 オバマ 198 図 オバマ 199	37
図 オバマ 200 図 オバマ 201	38
図 オバマ 202 図 オバマ 203 図 オバマ 204	38
図 野田 1	39
図 野田 2	39
図 野田 3	39
図 野田 4	40
図 野田 5	40
図 野田 6	40
図 野田 7	41
図 野田 8	41
図 野田 9	41
オバマ波形 1	42
オバマ波形 2	43
オバマ波形 3	44
オバマ波形 4	45
オバマ波形 5	46
オバマ波形 6	47
オバマ波形 7	48
オバマ波形 8	49
オバマ波形 9	50
オバマ波形 10	51
オバマ波形 11	52
オバマ波形 12	53
オバマ波形 13	54
オバマ波形 14	55
オバマ波形 15	56
オバマ波形 16	56
オバマ波形 17	57

オバマ波形 18.....	58
オバマ波形 19.....	59
オバマ波形 20.....	60
オバマ波形 21.....	61
オバマ波形 22.....	62
オバマ波形 23.....	63
オバマ波形 24.....	64
野田波形 1.....	65
野田波形 2.....	66
野田波形 3.....	66
野田波形 4.....	67
野田波形 5.....	67
野田波形 6.....	68
野田波形 7.....	68
野田波形 8.....	69
野田波形 9.....	70
野田波形 10.....	70
野田波形 11.....	71
野田波形 12.....	72
野田波形 13.....	72
野田波形 14.....	73
野田波形 15.....	73
野田波形 16.....	74
野田波形 17.....	75
野田波形 18.....	75
野田波形 19.....	76
野田波形 20.....	77
野田波形 21.....	77
野田波形 22.....	78
野田波形 23.....	79
野田波形 24.....	79
野田波形 25.....	80
野田波形 26.....	81
野田波形 27.....	81
野田波形 28.....	82

野田波形 29	83
野田波形 30	83
野田波形 31	84
野田波形 32	85
野田波形 33	85
野田波形 34	86
野田波形 35	87
野田波形 36	87
野田波形 37	88
野田波形 38	89
野田波形 39	89
野田波形 40	90
野田波形 41	91
野田波形 42	91
野田波形 43	92
オバマ色見本 1	93
オバマ色見本 2	93
オバマ色見本 3	93
オバマ色見本 4	94
オバマ色見本 5	94
オバマ色見本 6	94
オバマ色見本 7	94
オバマ色見本 8	95
オバマ色見本 9	95
オバマ色見本 10	95
オバマ色見本 11	95
オバマ色見本 12	96
オバマ色見本 13	96
オバマ色見本 14	96
オバマ色見本 15	96
オバマ色見本 16	97
オバマ色見本 17	97
オバマ色見本 18	97
オバマ色見本 19	97
オバマ色見本 20	98

オバマ色見本 21.....	98
オバマ色見本 22.....	98
オバマ色見本 23.....	98
オバマ色見本 24.....	99
オバマ色見本 25.....	99
野田色見本 1 平成 23 年 9 月 2 日	99
野田色見本 2 平成 23 年 9 月 5 日	100
野田色見本 3 平成 23 年 9 月 6 日	100
野田色見本 4 平成 23 年 9 月 7 日	100
野田色見本 5 平成 23 年 9 月 11 日	100
野田色見本 6 平成 23 年 9 月 12 日	101
野田色見本 7 平成 23 年 9 月 13 日	101
野田色見本 8 平成 23 年 9 月 15 日	101
野田色見本 9 平成 23 年 9 月 17 日	101
野田色見本 10 平成 23 年 9 月 20 日	102
野田色見本 11 平成 23 年 9 月 21 日	102
野田色見本 12 平成 23 年 9 月 22 日	102
野田色見本 13 平成 23 年 9 月 23 日	102
野田色見本 14 平成 23 年 9 月 26 日	103
野田色見本 15 平成 23 年 9 月 27 日	103
野田色見本 16 平成 23 年 9 月 29 日	103
野田色見本 17 平成 23 年 9 月 30 日	103
野田色見本 18 平成 23 年 10 月 3 日	104
野田色見本 19 平成 23 年 10 月 4 日	104
野田色見本 20 平成 23 年 10 月 6 日	104
野田色見本 21 平成 23 年 10 月 7 日	104
野田色見本 22 平成 23 年 10 月 8 日	105
野田色見本 23 平成 23 年 10 月 11 日	105
野田色見本 24 平成 23 年 10 月 14 日	105
野田色見本 25 平成 23 年 10 月 15 日	105
野田色見本 26 平成 23 年 10 月 16 日	106
野田色見本 27 平成 23 年 10 月 18 日	106
野田色見本 28 平成 23 年 10 月 19 日	106
野田色見本 29 平成 23 年 10 月 20 日	106
野田色見本 30 平成 23 年 10 月 21 日	107

野田色見本 31 平成 23 年 10 月 22 日	107
野田色見本 32 平成 23 年 10 月 23 日	107
野田色見本 33 平成 23 年 10 月 24 日	107
野田色見本 34 平成 23 年 10 月 25 日	108
野田色見本 35 平成 23 年 10 月 26 日	108
野田色見本 36 平成 23 年 10 月 27 日	108
野田色見本 37 平成 23 年 10 月 28 日	108
野田色見本 38 平成 23 年 10 月 31 日	109
野田色見本 39 平成 23 年 11 月 2 日	109
野田色見本 40 平成 23 年 11 月 3 日	109
野田色見本 41 平成 23 年 11 月 4 日	109
野田色見本 42 平成 23 年 11 月 7 日	110
野田色見本 43 平成 23 年 11 月 10 日	110
野田色見本 44 平成 23 年 11 月 11 日	110
野田色見本 45 平成 23 年 11 月 12 日	110
野田色見本 46 平成 23 年 11 月 13 日	111
野田色見本 47 平成 23 年 11 月 15 日	111
野田色見本 48 平成 23 年 11 月 17 日	111
野田色見本 49 平成 23 年 11 月 18 日	111
野田色見本 50 平成 23 年 11 月 19 日	112
野田色見本 51 平成 23 年 11 月 21 日	112
野田色見本 52 平成 23 年 11 月 22 日	112
野田色見本 53 平成 23 年 11 月 24 日	112
野田色見本 54 平成 23 年 11 月 25 日	113
野田色見本 55 平成 23 年 11 月 28 日	113
野田色見本 56 平成 23 年 11 月 29 日	113
野田色見本 57. 平成 23 年 11 月 30 日	113
グラフ 1 被験者全体のジェスチャーに関する結果.....	123
グラフ 2 海外経験の有無によるオバマ大統領のジェスチャーに対する印象の違い	124
グラフ 3 海外経験の有無による野田首相のジェスチャーに対する印象の違い.....	124
グラフ 4 被験者全体の声調に関する結果	125
グラフ 5 海外経験の有無によるオバマ大統領の声調に対する印象の違い	126
グラフ 6 海外経験の有無による野田首相の声調に対する印象の違い	126

アンケート調査票

政治演説におけるノンバーバルコミュニケーションの影響に関する調査

慶應義塾大学藁谷郁美研究会にて、【政治演説の日米比較—ノンバーバルコミュニケーション研究—】という研究をしています。そこで、演説におけるノンバーバルコミュニケーション（ジェスチャーや声調など）を実際に受け手が見聞きしたときにどのような印象を受けるのかという動画や音声を用いたアンケート調査を行うことになりました。

この調査は無記名で、回答は統計的に処理し、この調査・研究のためだけに利用します。従って、あなたのプライバシーが他に漏れたり、ご迷惑をおかけしたりすることはありません。

また、ノンバーバルコミュニケーションから受ける印象を調査するものですので、深く考えず、直感でお答えいただくようお願いいたします。

ご協力よろしくようお願いいたします。

慶應義塾大学 環境情報学部 4年

藁谷郁美研究会

葛 綾乃

連絡先：t10233ak@sfc.keio.ac.jp

問1 あなた自身についてお答えください。

(選択式の設定以外は無ければ空欄で構いません)

・性別 (男性 ・ 女性)

・年齢 () 歳

・学部 (総合政策 ・ 環境情報) 学部

・所属研究会 () 研究会

・専攻分野・テーマ ()

例 言語学、政治学、経済学、社会学、デザイン、医療、物理学 など

・所属サークル ()

例 テニスサークル、サッカーサークル、英語ディベートサークル など

・政治への興味関心の有無 (有 ・ 無)

・就職活動の経験の有無 (有 ・ 無)

<海外経験について>

・海外に半年以上、滞在または居住したことはありますか? (はい ・ いいえ)

・「はい」と答えた方へ

期間 () 例 1年6ヵ月

国名 () 例 アメリカ
いつ頃か () 例 小学校1～2年 大学2年時

次の設問からは動画・音声を見聞きしてからお答えください。

※なおこの調査は、政治家本人や演説内容に関する調査ではありません。ノンバーバルコミュニケーションだけを見て感じたことをお答えいただくようお願いいたします。

問2 日本の政治家によるジェスチャーや目線について。

【動画1を見て】

・動画全体を通してどのように印象を受けたか○をつけてください。

	大いに 感じた	少し 感じた	あまり 感じない	全く 感じない
①信頼を感じたか	1	2	3	4
②力強さを感じたか	1	2	3	4
③知性を感じたか	1	2	3	4
④あなたの思う“日本人らしさ”を感じたか	1	2	3	4
⑤何か違和感を感じたか	1	2	3	4

その他、感じたことがあれば自由に記述してください。

問3 日本の政治家による声調について。

【音声1を聞いて】

・音声1を聞いてどのように印象を受けたか○をつけてください。

	大いに 感じた	少し 感じた	あまり 感じない	全く 感じない
①信頼を感じたか	1	2	3	4
②力強さを感じたか	1	2	3	4
③知性を感じたか	1	2	3	4
④演説者の感情を感じたか	1	2	3	4
⑤何か違和感を感じたか	1	2	3	4

問4 アメリカの政治家によるジェスチャーや目線について。

【動画 2 を見て】

・動画全体を通してどのように印象を受けたか○をつけてください。

	大いに 感じた	少し 感じた	あまり 感じない	全く 感じない
①信頼を感じたか	1	2	3	4
②力強さを感じたか	1	2	3	4
③知性を感じたか	1	2	3	4
④あなたの思う“欧米人らしさ”を感じたか	1	2	3	4
⑤何か違和感を感じたか	1	2	3	4

その他、感じたことがあれば自由に記述してください。

問5 アメリカの政治家による声調について。

【音声 2 を聞いて】

・音声 2 を聞いてどのように印象を受けたか○をつけてください。

	大いに 感じた	少し 感じた	あまり 感じない	全く 感じない
①信頼を感じたか	1	2	3	4
②力強さを感じたか	1	2	3	4
③知性を感じたか	1	2	3	4
④演説者の感情を感じたか	1	2	3	4
⑤何か違和感を感じたか	1	2	3	4

その他、感じたことがあれば自由に記述してください。

設問は以上となります。
ご協力ありがとうございました。